# CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection ebook

X87n1614

# 禪苑蒙求瑶林

金 志明撰 元 遮諫注

# 目次

- 編輯說明
- 童節目次
  - 。 禪苑蒙求目錄
  - No.\_1614-A
  - No.\_1614-B 雪堂和尚注禪苑瑤林引
  - No.\_1614-C
  - 。 No.\_1<u>614-D 禪苑蒙求引</u>
  - 。 釋迦七步
  - 。達磨九年
  - 。靈山密付
  - 。 少室單傳

  - 。 南岳磨磚
  - 。大雄創寺
  - 。 百丈開田
  - 。為仰體用
  - 。曹洞正偏
  - 。雲門數句
  - 。臨濟三玄
  - 。世尊良久
  - 。 維摩默然
  - 。帝釋插草
  - 。 布袋乞錢
  - 。黃蘗一堂
  - 。大愚三拳
  - 。李翱問道
  - 。陳操論禪
  - 。靈雲見花
  - 。 香嚴擊竹
  - 。 沙彌尋思
  - 。道者覓宿
  - 。鳥窠吹毛

  - 。 孚公搖頭

- 。 居士翹足
- 。三角禾豆
- 。 <u>南華稻栗</u>
- 。 甘贄設粥
- 。 灌溪劈箭
- 天鉢花開
- 。九峰麥熟
- 。亞子延僧
- 。則天賜浴
- 。尚書打録
- 。大夫雙陸
- 。行者失咲
- 。陸百合哭
- 。大寂吹耳
- 。塞山群串
- 。解脫粥篦
- 。庫耂落群
- 。悟太纸缀
- 。法眼香匙
- 。半仁廿子
- 。玄則童兒
- 八峰搜撤
- 。 保福扶犁
- 。玄焘布納
- 。 克符紙衣
- 。艮缘盡知
- 。堂佳擲玺
- 。 太傅過泥
- 。工栖生色
- 。本勃懷疑
- 。工學進戸
- 。 禾山打皷
- 。歸宗拽石

- 。木平般土
- 言鑒斫牌
- 。 白雲搖艫
- 。 <u>迦葉作舞</u>
- 涌泉騎生
- 。徑山蟭螟
- 。 <u>地藏鸚鵡</u>
- 。石霑佳師
- 。 慈譽養母
- 。 谷泉配役
- 。長興漕虜
- 。宣老為男
- 。 信公作女
- 。 四醫問道
- 。 三佛下語
- 。 直際庭柘
- 。守初麻斤
- 。浮石豐卜
- 。王老賣身
- 。 香嚴原夢
- 。 普化描真
- 。 <u>婆子偷笋</u>
- 行者施銀
- 船子得縣
- 。<u>趙州狗子</u> 短流声!
- <u>品消具人</u>
- 華林二虎
- 。道吾裝鬼
- 0 <u>1百1守四1年</u> 1. 63 79 12
- 。興教墮薪
- 。三師行說
- 。二老踈親
- 文殊白棉

- 。百丈捲席
- 。大達妄想
- 。洛缸消息
- 。藥山曲調
- 。 夾山揮劍
- 。 隱峰飛錫
- 。 <u>洞山寒暑</u>
- 。 谷山聲色
- 。元祐迥牒
- 。 <u>鹿門辭勑</u>
- 。華亭藏身
- 。雲門閩頞
- 。 <u>北禪烹牛</u>
- 。 三角喝賊
- 保寧据
- 。 洪英掐膝
- 。恭語不反
- 。 玄言上石
- 。<u>滿號銀川</u>
- 。 秀名鐵壁
- 。龍牙禪板
- 長慶蒲團
- 盤山肉案
- 。 <u>蜆子臺盤</u>
- 。 <u>巴陵銀椀</u>
- · <u>雲巖寶冠</u>
- 。 荊門犢鼻
- <u>踈山布單</u>芭萑拄村
- 資福創室
- <u>操清紅莧</u>
- 。惠稜牡丹
- <u>南泉翫月</u> 保福遊川
- 。韶陽熱謾
- 。 <u>乾峯一路</u>

- 。兜率三關
- 。 谷泉逐遇
- 。圓照戲端
- 。 六祖難塑
- 。 章敬辍空
- 。雲門抽顧
- 。大禪呌悟
- 。義存歸庵
- 。老觀閉戶
- 師伯見免
- 。明教薑杏
- 。馬祖鹽醋
- 。竹林麻鞋
- 。 <u>木</u>平草屨
- 。地藏種田
- 。懶瓚煨芋
- 工学沙克
- 。老諗四門
- 。彦從不會
- 。法遗不去
- 。道吾舞笏
- 。 秘魔擎杈
- 录出增量
- 。南泉指花
- 。曹川白洒
- 。直際清茶
- 。懸泉皂角
- 。 洞山 学麻
- 。祐耀拈柿
- 。 從展度瓜
- 。導師金鎻
- 。 象骨銕枷
- 。 相心 叫狗

- 。 靈祐餵鵶
- 。元珪放戒
- 。竈墮翻邪
- 。 <u>玄沙指虎</u>
- <u>歸宗斬蛇</u>
- 。 <u>古德火抄</u>
- 。 靈樹風車
- 能仁雙趺
- 。 達磨隻履
- <u>盧能賣薪</u>
- 。懶融負米
- 。畫蘗叶舌
- 丹霞播耳
- 。龍牙行拳
- 。俱胝竪指
- 。提婆赤幡
- 。茂源掩鼻
- 。 石霜咬齒
- 。汾陽六人
- 。 洞山三子
- 。 招慶煎茶
- 。 雲岩拂地
- <u>禪鑑符讖</u>

- 。明安宗旨
- 。 法華朴齋
- <u>德晋镇社</u>
- 白丈野狐

- 。二型瞎賭
- 。懶安白牯
- 。佛嶼花奴
- 。 南川鼈鼻

- 。東海鯉魚
- 。國師塔樣
- 。 資福韈模
- 。 鹽官索扇
- 。 <u>仰嶠呈珠</u>
- 。 長慶淘金
- 。 伏牛下書
- 。 惠然透網
- 希運将鬚
- 。傳明散眾
- 。 慈受棄徒
- 。三峰玉琯
- 。 大哥金鋤
- 。德山行棒
- 。臨濟下喝
- 。 趙州布衫
- 。 普化直裰
- 。佛日茶籃
- 。道者洒榼
- 。香林一熔
- 。賢士三物
- 。石頭碌磚
- 。雲門屎橛
- 。二僧卷簾
- 。三类新日
- 。惠滿二針
- 、士徳二賹
- 。演師禮字
- 。行者唾佛
- 。東坡解帶
- 。韭休納第
- 。舜老民衣
- 田七天佛
- 。老盧幡動
- 。僧伽鈴鳴

- 。 普什搖鈴
- · 隱山晦迹
- 。洞山除名
- 。盧陵米價
- 。 <u>偃溪水聲</u>
- 。 <u>大十側坐</u>
- 。 道者橫行
- 。 智岩懸囊
- <u>黒黒掛錨</u>
- 。佛日豆爆
- 。曲座蟲牛
- 。惠可了了
- 。瑞岩惺惺
- 。 慈道罐破
- 。文悅盆傾
- 。 <u>官人千眾</u>
- 。惠安單丁
- 。清凉十願
- 。達壓兀行
- 。長髮功德
- 。盖梅佛性
- 。善財採藥
- 。大慈識病
- 。馬祖展足
- 。 大覺引頸
- 。露祐陽瓶
- 。寂子撲鏡
- 。 <u>烏臼杓柄</u>
- 。 良禪破關
- 。 女子出定
- 。墨照呌苦
- 。广僧索命
- 。大容林帽
- 。古德爛杏
- 。 翠岩把梢
- 。風穴據今
- 。 石鞏 
  郡鹿

- 。 南泉斬猫
- 。 <u>祇林揮</u>劒
- 。 藥嶠抽刀
- 。 實際頂笠
- <u>惠圓腰包</u>
- 。<u>上座鼻孔</u>
- 。翠岩眉毛
- 。 杉山拈尺
- 。義存斫槽
- 。座主鬼窟
- 。夾嶺鳳巢
- 。香林甜桃
- 。義支柱鑺
- 。 惠寂插鍬
- 。靈源直告
- 玄泰[[謠
- 。福國壯橋
- 。六組鱼全
- 。油平僧倩
- 。洛浦投師
- 沙壩求戒
- 。蕗口三暗
- 。華藏四旱
- 4世紀 黄
- 。並作生艺
- . 永青一定
- 。零美坐畫
- 。王岳四玄
- 。选们三昧
- 。桐峯虎聲
- 。

  小

  小

  上

  大
- かまはて
- 。趙州下載
- 。陰字坛珊
- 。興什擲柺
- 。清豁歸山

- 。性空沒海
- 。黃龍二關
- 。浮山九帶
- 。 <u>青州正座</u>
- 。普明不拜
- 。仁儉短偈
- 水嘉長歌
- 老廳及第
- <u>慶諸登科</u>
- 。陳操驗僧
- 。直際勘婆
- 。道十皆坐
- 。 踈口倒局
- 義存漆桶
- 。師備飯籮
- 。安國折筋
- 鹿門破鍋
- 。季男虫黄
- 。每子搀禾
- 。雪門だ耀
- 。陆百缸舱
- 。万字蹈碓
- 。大日摧羅
- 。雪醫按翻
- 、 如 小 西 七
- 一意地は
- 。從鈴洪開
- **丰林**亚岭
- 、洲漕迁华
- 。专沙三病
- 。天巫而錯

- → 『旦父父日<del>】</del>
- 。唐亚构奏
- 。白米烷聿
- 。書待洪針
- 。飮光坐渭

- 。布袋落魄
- 。推倒回頭
- 。 耀翻不托
- 。 道者休休
- 。 <u>塔主莫莫</u>
- 。 大守病痊
- 。 君王臂落
- <u>耕馬索樂</u>
- 。 隱峯倒化
- 。領眾坐亡
- 。歸宗拽杖
- 普化踢床
- 。 雪峰渦嶺
- 洛浦環鄉
- 。 法猿繡毬
- 。文篆香臺
- ~ 能知上齢
- 。佛日抑提
- 。岑圭登子
- 。守芝石罐
- 。羅山麨飯
- 。 <u>白雲蒿湯</u>
- 。 法華佯狂
- 万曾驾军
- 。 <u>倚遇煙房</u>
- 。 僧被蛇傷
- 。 古紹雲門
- 。 <u>青續大陽</u>
- 。 多羅轉經
- 俱胝誦呪
- 7 話古町
- (M) (A) (T) (A)
- 。李讓問肠

- 。道符縮手
- 。豐干饒舌
- 。憩鶴多口
- 。 雲岳殘羹
- 谷泉巴鼻
- 。直歇筋斗
- 。惠可斷臂
- 。油觀字頭
- 。中吕獼猴
- 。茱苗紅橱
- 象骨輯報
- 。龍漕送餅
- 。投子活油
- 嚴陽能度
- 。惠藏牧牛
- 。言獎出巡
- 。師県登樓
- 。承宏套度
- 。淨昭隨白
- 。岡師三晩
- 。大陰芸錦
- 、口小邸眶
- 、肆山壹松
- 。百命不命
- 。法法不法
- 。 坦陆八楼
- 。臨濟川県
- 。扁頭被置
- 。 水溶漕縣
- 。死心下火
- 日種掛塔
- 。天然口啞
- · 十五小浬

- 。曉聰栽松
- 。禾山亲虔
- 。瑞岩臥龍
- 。翠岩睡地
- 。寶壽紅空
- 。 一城人瞎
- 。三日耳聾
- 。東山餕餡
- 。揚岐栗蓬
- 。惠南主法
- 。居魶抹完
- 。洪濟師子
- 。滾陽大中
- 。 趙州探水
- 。百丈夾火
- 。全峰行餅
- 左代計用
- 本山場心
- 日日十刀 口 日小
- 。季門脚時
- . 加虑温人
- 。二新麻腐
- 立刀尺耳、十十十

- 。徳山小焱
- 。党宏方巡
- 一种点点。
- 。洞山·目影
- , 藏場燃料
- 部 加太。
- 、 禾器 上樹

- 。仰山出井
- 。趙州接客
- 。价老看病
- 。 <u>南泉油餈</u>
- 。 <u>德山托鉢</u>
- 象骨覆盆
- 。 <u>婆子眷屬</u>
- 。王老兒孫
- 。雪居镁袴
- 。道吾得視
- 。九峰丽星
- 。 洞山功動
- 。楊岐七事
- 。元靜十門
- 。老字作田
- 。 馬祖勞倦
- 。籍洁雨磬
- 。 靡公雪片
- 。雪竇靈喜
- 。誠口聖籍
- 。銕面退席
- 。 <u>克賓出院</u>
- 。 佛陀三勸
- 。 天然刻草
- 。 提婆投針
- 。藥山長嘯
- 。 般若狂吟
- <u>師備果子</u>
- · 智勤林檎
- · <u>婆千點小</u>
- <u>轉五/犯</u>
- 。 本寂滲漏
- 。克符料揀
- 。 佛日體盆

- 。國師水枕
- 。相心皆觸
- 。道一長短
- 。 石樓無耳
- 。貞溪具眼
- 。可真點胸
- 。 昌禪擔板
- 。德山招扇
- 。珈華新空
- 。佛光绾帳
- 。逐级海順
- 。高陽而山
- 。大道松妖
- 。 黃龍赤斑
- 。師子遇去
- 。五頭敗海

- . 少定臼番
- 。法渖冗戒
- 。守初三頓
- 。 成禪一喝
- 。太宗十問
- 。耽章寶鏡
- 。 南衙題辭
- 。 新開鷄鴨
- 。 石門鈎錐
- 無餘喝道
- 。 <u>萬卦題詩</u>
- 。 蚊鑽鐵牛
- 。 踞解秤槍
- 。 麗蘊是非
- 。清平豐儉
- 。 大顛佛光
- 。雪峰火焰
- 。 大惠還僧

- 。 <u>寂音遭</u>貶
- 。首山竹篦
- 。玄冥木劒
- 卷目次
- 1,○ 2○ 3.◆ 贊助資訊

# 編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2023.Q1」為資料來源。
- 漢字呈現以 Uni code 3.0 為基礎,不在此範圍的字則採用<u>組</u>字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字, 如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示。
- 若有發現任何問題,歡迎來函 service@cbeta..org 回報。
- <u>版權所有</u>,歡迎自由流通,但禁止營利使用。

#### 禪苑蒙求目錄

## 卷上(千八百四十二則一百八十六人)

- 釋迦七步
- 達磨九年
- 靈山密付
- 少室單傳
- 青原與斧
- 南岳磨磚
- 大雄創寺
- 百丈開田
- 溈仰體用
- 曹洞正徧
- 雲門數句
- 臨濟三玄
- 世尊良久
- 維摩默然
- 帝釋插艸
- 布袋乞錢
- 黄蘗一掌
- 大愚三拳
- 李翱問道
- 陳操論禪
- 靈雲見花
- 香嚴擊竹
- 沙彌尋思
- 道者覔宿
- 鳥窠吹毛
- 龍潭滅燭
- 孚公搖頭
- 居士翹足
- 三角禾豆
- 南華稻粟
- 婆子作齋 廿贄設粥
- 灌溪劈箭

- 疎山囓鏃
- 天鉢花開
- 九峯麥熟
- 啞子延僧
- 則天賜浴
- 尚書打毬
- 大夫雙陸
- 行者失笑
- 陸亘合哭
- 大寂吹耳
- 尊者撥眉
- 寒山茄串
- 解脫粥篦
- 陳老蒲鞋
- 龐蘊漉籬
- 悟本紙撚
- 法眼香匙
- 光仁女子
- 玄則童兒
- 九峯捜擺
- 保福扶犂
- 玄泰布衲
- 克符紙衣
- 菴主不顧
- 良邃盡知
- 常侍擲筆
- 太傅過泥
- 于頔失色
- · 子初 依然 - 工學非己
- 石革張与
- 禾山打皷
- 歸宗搜石
- 木平搬土京鉄延伸
- 白雪搖鱅
- 道吾起拜
- 迦葉作舞
- 涌泉騎牛

- 牧菴跨虎
- 徑山蟭螟
- 地藏鸚鵡
- 石霜侍師
- 慈覺養母
- 谷泉配役
- 長興遭虜
- 宣老為男
- 信公作女
- 四賢問道
- 三佛下語
- 真際庭栢
- 守初麻斤
- 浮石鬻卜
- 王老賣身
- 香嚴原夢
- 普化描真
- 婆子偷筍
- 行者施銀
- 壯示待費
- 船子獲鱗
- 趙州狗子
- 臨濟真人
- 華林二虎
- 青原一麟
- 道吾裝鬼
- 拾得呵神
- 大覺潑水
- 興教墮薪
- 二即行記
- 二老 味親
- 文殊白槌
- 白丈捲席
- 人足女心公安沙白
- 洛瓶消息
- 藥山曲調
- 青原階級
- 夾山揮劍

- 隱峰飛錫
- 洞山寒暑
- 谷山聲色
- 元祐迴牒
- 鹿門辭勑
- 華亭藏身
- 雲門聞頞
- 北禪烹牛
- 三角喝賊
- 保寧摑□
- 洪英掐膝
- 恭語不灰
- 玄言上石
- 滿號銀山
- 秀名銕壁
- 龍牙禪版
- 槃山肉案
- 蜆子臺盤
- 巴陵銀椀
- 雲岩寶冠
- 荊門犢鼻
- 疎山布單
- 芭蕉拄杖
- 祿清紅莧
- 思核牡汁
- 南泉翫月
- 保福遊山
- 質朴/令关
- 韶陽熱謾
- 乾峰一路
- 兜率三關谷泉逐遇

- 章敬撥空

- 雲門抽顧
- 悟本稱奇
- 大禪呌悟
- 義存歸菴
- 老觀閉戶
- 尚座觀魚
- 師伯見兔
- 明教薑杏
- 馬祖鹽醋
- 竹林麻鞋
- 木平草履
- 地藏種田
- 懶瓚煨芋
- 天盖浴室
- 侍者巡鋪
- 老諗四門
- 師備三句
- 彦從不會
- 法達不去
- 道吾舞笏
- 秘魔擎权
- 雲岩摸枕
- 南泉指花
- 曹山白酒
- 真際清茶
- 懸泉皂角
- 洞山苧麻
- 祐禪拈柿
- 從展度瓜 導師金鎖
- 象骨銕枷
- 祖心叱狗
- 短心吃奶 靈祐餵鴉
- 元珪放戒
- 竈墮飜邪
- 玄沙指虎
- 歸宗斬虵
- 古德火抄

#### • 靈樹風車

## 卷中(千九百二十則一百九十二人)

- 能仁雙趺
- 達磨隻履
- 盧能賣薪
- 懶融負米
- 黄蘗吐舌
- 丹霞掩耳
- 龍牙行拳
- 俱胝竪指
- 提婆赤幡
- 玄沙白紙
- 茂源掩鼻
- 石霜咬齒
- 汾陽六人
- 洞山三子
- 招慶煎茶
- 雲岩掃地
- 禪鑑符讖
- 青州應記
- 首山綱要
- 明安宗旨
- 法華赴齋
- 德普預祀
- 長沙猛虎
- 百丈野狐
- 汾陽師子
- 江西馬駒 • 紫胡獰狗
- 三聖瞎驢 • 懶安白牯
- 佛嶼花奴
- 南山鼈鼻
- 東海鯉魚
- 國師塔樣
- 資福韈模

- 鹽官索扇
- 仰嶠呈珠
- 長慶淘金
- 伏牛下書
- 惠然透網
- 希運捋鬚
- 傳明散眾
- 慈受棄徒
- 一峰玉琯
- 大哥金鋤
- 德山行棒
- 臨濟下喝
- 趙州布衫
- 普化直裰
- 佛日茶籃
- 道者酒榼
- 香林一燈
- 賢女三物
- 石頭碌磚
- 雲門屎橛
- 二僧捲簾
- 二老翫月
- 惠滿二針
- 古德三韈
- 演帥禮字
- 行者睡佛
- 果圾件市
- 装体納勿
- 舜老民衣
- ▼ 大谷木安田 上 天 曲
- 忠大吞佛
- 人工研經老盧幡動
- 僧伽鈴鳴
- 麻谷振錫
- 普化搖鈴
- 隱山晦迹
- 洞山除名

- 盧陵米價
- 偃溪水聲
- 大士側坐

- 惠忠掛鐺
- 佛日豆爆
- 典座蟲生
- 惠可了了
- 慈道罐破
- 文悅盆傾
- 宮人千眾
- 清涼十願
- 達磨四行
- 黃梅佛性
- 善財採藥
- 大慈識病
- 馬祖展足
- 靈祐踢瓶

- 烏臼杓柄 良禪破關
- 女子出定
- 曇照呌苦 亡僧索命

- 翠岩把梢
- 風穴據令
- 南泉斬猫
- 祇林揮劍
- 藥嶠抽刀

- 實際頂笠
- 惠圓腰包
- 上座鼻孔
- 翠岩眉毛
- 杉山拈尺
- 義存斫槽
- 座主鬼窟
- 夾嶺鳳巢
- 泐潭苦瓜
- 香林甜桃
- 義玄拄钁
- 惠寂插鍬
- 靈源真告
- 玄泰山謠
- 紹銑設舘
- 福國戕橋
- 六
  相
  自
  全
- 神光償債
- 洛浦投師
- 沙彌求戒
- 蔣山三障
- 華藏四礙
- 鎮州蘿蔔
- 普化生菜
- 。 · 永夏一定
- 雲盖半載
- 土岳四玄
- 為仰三昧
- 桐峯虎聲
- 鏡清矢利
- 趙州下載
- 興化擲柺
- /月酚師山
- 性空沒海黃龍三關
- 浮山九帶

- 青州正座
- 普明不拜
- 仁儉短偈
- 永嘉長歌
- 老龐及第
- 慶諸登科
- 陳操驗僧
- 真際勘婆
- 道士背坐
- 疎山倒屙
- 義存漆桶
- 師備飯籮
- 安國折筯
- 鹿門破鍋
- 雲岩出糞
- 寂子擔禾
- 雲門花欄
- 陸亘瓶鵝
- 石室蹈碓
- 天目撞羅
- 雪竇按劍
- 韶山亞戈
- 古靈揩背
- 從諗洗脚
- 青林死蛇 泐潭活雀
- 玄沙三病
- 天平兩錯
- 滏水蓮池
- 趙州略约
- 太陽錢財
- 清平杓索
- 白犬浴聿
- 青猿洗鉢
- 飲光坐禪
- 布袋落魄
- 推倒回頭
- 趯翻不托

- 道者休休
- 塔主莫莫
- 太守病痊
- 君王臂落
- 次公點眼
- 駙馬索藥

## 卷下(千八百四十則一百七十六人)

- 隱峰倒化
- 領眾坐亡
- 歸宗拽杖
- 普化踢床
- 雪峯過嶺
- 洛浦還鄉
- 法遠繡毬
- 文邃香囊
- 鵝湖比較
- 佛日抑揚
- 崇壽登子
- 守芝石幢
- 羅山麨飯
- 白雲蒿湯
- 慈明詐病
- 法華佯狂
- 方會雪屋
- 倚遇煙房
- 平終虎嚙
- 僧被蛇傷古紹雲門
- 青續大陽
- 多羅轉經
- 俱胝誦呪
- 神會義解
- 石頭真吼
- 惟儼不為
- 從諗仍舊
- 老讓開胸

- 道符縮手
- 豐干饒舌
- 憩鶴多口
- 雲岳殘羹
- 泐潭酸酒
- 谷泉巴鼻
- 真歇筯徒
- 惠可斷臂
- 神觀安頭
- 王老水牯
- 中邑獼猴
- 茱萸釘橛
- 象骨輥毬
- 龍潭送餅
- 投子沽油
- 嚴陽飼虎
- 惠藏牧牛
- 宣鑒出浴
- 師鼐登樓
- 雲菴奪席
- 浮照隨舟
- 國師三喚
- 趙州一掐
- 大隋蓋龜
- 百丈野鴨
- 曹嶠靈衣
- 疎山壽塔
- 百會不會
- 法達不達
- 楊岐八棒
- 臨濟四喝匾頭被罵
- 水潦遭踏
- 死心下火
- 自禪掛塔
- 天然口啞
- 大耳心通
- 文益書字

- 曉聰栽松
- 禾山義虎
- 瑞岩臥龍
- 翠岩唾地
- 寶壽釘空
- 一城人瞎
- 三日耳聾
- 東山餕餡
- 楊岐衆逢
- 惠南主法
- 居訥扶宗
- 洪濟師子
- 遼陽大虫
- 趙州掬水
- 百士本业
- 金峰行餅
- 並轉门別 布袋拈果
- 中邑鳴哪
- 青山骨剉
- 明招目眇
- 雲門脚跛
- 四處謾人
- 三翻懷耀
- 韶陽九九
- 金牛飯桶
- 靈照菜籃
- 丹霞爇佛
- 婆子焚庵
- 雲盖論議
- 德山小參
- 芙蓉妙唱
- 常察玄談
- 二祖安心洞山見影
- 病因児息藥嶺榮枯
- 夾山人境
- 香嚴樹上

- 仰山出井
- 趙州接客
- 价老看病
- 南泉油餈
- 韶陽胡餅
- 德山托鉢
- 象骨覆盆
- 婆子眷屬
- 王老兒孫
- 雲居送袴
- 道吾得裩
- 九峯頭尾
- 洞山功勳
- 楊岐七事
- 元靜十門
- 老安作用
- 馬衵 挙 倦
- 鏡清雨聲
- 龐公雪片
- 雪豆靈臺
- 鼓山聖箭
- 銕面退席
- 克賓出院
- 池陽百門
- 佛陀三勸
- 天然剗草
- 提婆投針
- 藥山長嘯
- 般若狂吟
- 師備果子
- 智勤林檎
- 佛果[口\*敕]口
- 婆子點心
- 蠱毒之鄉
- 荊棘之林
- 本寂滲漏
- 克符料揀
- 佛日骰盆

- 國師水椀
- 祖心背觸
- 道一長短
- 石樓無耳
- 貞溪具眼
- 可真点胸
- 昌禪擔版
- 德山招扇
- 迦葉剎竿
- 佛光錦帳
- 祐國金襴
- 滑終海嶋
- 亮隱西山
- 大道松妖
- 黃龍赤斑
- 黄牛拒戒
- · 師子馮姦
- 石頭路滑
- 五祖機峻
- 明招虎尾
- 老宿鼠糞
- 法演四戒
- 守初三頓
- 成禪一喝
- 太宗十問
- 耽章寶鏡
- 南衙題辭
- 新開雞鴨
- 石門鈎錐
- 無餘唱道
- 萬卦題詩
- 鋸解秤槌
- 龐蘊是非 清平豐儉
- / 月平豆饭 大顛佛光
- 雪峰火焰
- 大惠還僧

- 寂音遭貶
- 首山竹篦
- 玄冥木劍

禪苑蒙求目錄(終)(總計五千六百二則考合五百六十二祖)

禪苑瑤林注卷上

燕京大萬壽寺 無諍 德諫 注 少林樂真子 志明 撰

No. 1614-A

嵩山少林錯庵志明禪師。字伯昏。雅號樂真子。安州郝氏子。性忽繩墨。外簡朴而內精慜。始為糠禪四祖。作貫花標月集。有潔首座者激礪。乃雉髮。師香林淨公受具。日夕咨參咨扣勝靜普之室。後徹證於東林。甞懸木槌拭手謂之槌巾。拄一拐去留自適。人莫能親疎之。東林遷超化。眾請補少林。師打籌自誓。長歌而去。歌曰。五乳峯前飰店開。饅頭如斗餅如篩。洛陽城裏多檀信。墮珥遺簪競作齋。窮跛子。淡淵才。老來因甚舞三臺。拄笻徑上嵩陽道。笑指青山歸去來。挽留不可。諸方咸仰其高致。

#### No. 1614-B 雪堂和尚注禪苑瑤林引

吾萬松老師以無上機。讀盡天下書。甞謂余曰。記事者必提其要。 纂言者必鉤其玄。韓子之云。良有以也。 嗣子雪堂諫公和尚以玉 溪老取樂真禪苑瑤林欲板行之。公為之注釋焉。幾六萬言。或者恠 其繁。以師言告之。公喝云。東風吹落杏花枝。箇裡紅香在何處。

乙卯年二月二日龍山居十鴈門呂伯 [魚\*毘]夫 書

No. 1614-C

禪苑蒙求。錯庵所製。錯庵者即比丘中李瀚王令也。此書貫串二千言。發明五百事。其言辨而載。其學淵而博。可以為禪門節事。法海聯題。使後學省十載之勞。成半藏之記。公慈悲足見。以夫錯庵謂誰。乃不搽紅紛拂袖於小林者也。

正大乙酉臘前五日友人幅巾男子樗軒居士題後

#### No. 1614-D 禪苑蒙求引

樂真禪師為初機後學而設也。師以正法眼作文字禪。駢以對偶。諧以韻語。凡五百餘則。以使學者觀覧。予且讀且笑曰。師把定要津。不通凡聖。何區區乎此書。無廼為蛇畫足耶。師曰。子言誠是。雖然。童稚無識未能參叩。使成誦在口粗知問津。則吾此書不為助。譬猶教[土\*(虍-七+子)]雷大使作舞。雖非本色。且要兒孫不墜素業耳。於是咲謝而為引。

No. 1614 禪苑蒙求卷之上

#### 釋迦七步

(普曜經)世尊降生。一手指天。一手指地。周行七步。目顧西方云。天上天下。唯我獨尊。○和補曰。普曜經云。佛初生剎利王家。放大智光明。照十方界。地湧金蓮華自捧双足。東西及南北各行於七步。分手指天地。作師子吼聲。上下及四維能尊我者。

#### 達磨九年

(傳燈三)初祖於嵩山少林寺面壁九年。人莫測之。時謂之壁觀婆羅門。〇和補曰。傳燈第三云。師自梁涉魏。至洛陽少林面壁而

坐。經九年方得二祖傳法。

#### 靈山密付

(會元一)世尊在靈山會上拈華示眾。是時皆默。然唯迦葉尊者破顏微笑。世尊曰。吾有正法眼藏。涅槃妙心。實相無相。微妙法門。不立文字。教外別傳。付屬摩訶迦葉。世尊至多子塔前。命摩訶迦葉分座令坐。以僧伽梨圍之。遂告曰。吾以正法眼藏密付於汝。汝當護持。傳付將來。

#### 少室單傳

(傳燈三)傳法諸祖初以三藏教乘兼行。後達磨祖師單傳心印。破執顯宗。所謂教外別傳。不立文字。直指人心。見性成佛也。〇和補曰。傳燈三云。達磨於少林顧惠可。告之曰。昔如來以正法眼藏方付迦葉。展轉而至我。我今付汝。

#### 青原與斧

(六祖法嗣 會元五)吉州青原行思禪師令石頭馳書往南岳讓和尚處。 乃云。回來與汝鈯斧子去。石頭到彼便問。不慕諸聖。不重己靈 時如何。岳曰。子問太高生。何不向下問。頭曰。寧可永劫沈 淪。不求諸聖解脫。便回。原曰返何速乎。頭曰。書亦不達。信 亦不通。去時蒙許鈯斧子住山。便請。思垂下一足。頭便禮拜。 歸南岳住菴。

#### 南岳磨磚

(會元三)懷讓禪師居南岳時。馬祖在彼住菴。日唯坐禪。因往問曰。在此何為。祖曰坐禪。何所圖。曰圖作佛。讓一日將磚一片於菴前磨。祖曰磨此何為。岳曰要作鏡。祖曰磨磚豈得成鏡。曰

坐禪豈得成佛。祖曰如何即是。曰。如人駕車。車若不行。打車即是。打牛即是。祖於是悟旨於言下。遂印心傳法。符西祖之 讖。馬駒踏殺天下人之語。南宗闡於江西。

### 大雄創寺

(馬祖法嗣 傳燈六)洪州百丈懷海禪師一日以禪宗肇自少室。至曹溪已來多居律寺。雖云別院。然於說法住持未合規度。故常爾介懷。乃曰。佛祖之道欲誕布化。元冀來際不泯者。豈當與諸部阿笈摩教為隨行邪。遂制叢林清規。禪門獨行自百丈始。今略敘其大要。徧示後學令不忘本也。其諸軌度山門備焉。大雄者。大雄山以居處。岩戀嵕檖。故號之百丈。

### 百丈開田

(懷海法嗣 另元四)百丈山涅槃和尚一日謂眾曰。汝等與我開田。我 與汝說大義。眾開田了。歸請說大義。師乃展兩手。眾罔措。

## 為仰體用

(百丈法嗣 傳燈九) 溈山與仰山摘茶次。溈曰。終日只聞子聲。不見子形。仰遂撼茶樹。溈曰。子只得其用。不得其體。仰曰。和尚如何。溈良久。仰曰。和尚只得其體。不得其用。溈云。放子三十棒。仰曰。和尚棒某甲喫。某甲棒教誰喫。溈曰。放子三十棒。玄覺云。且道過在甚麼處。

## 曹洞正偏

(人天眼目)曹洞家有五位君臣。謂○正中偏。○偏中正。○正中來。○偏中至。○兼中到。

# 雲門數句

(雪峰法嗣 人天眼目)韶州雲門文偃禪師示眾曰。人人自有光明在。看時不見暗昏昏。作麼生是諸人自己光明。自代云。厨庫三門。又云。好事不如無。又示眾云。聞聲悟道。見色明心。觀世音菩薩將錢買胡餅。放下手元來却是饅頭。○僧問如何是祖師西來意。師云日裏看山。○僧問如何是透法身句。師云北斗裏藏身。○僧問如何是諸佛出身處。師云東山水上行。○僧問如何是正法眼藏。師云普。○僧問不起一念還有過也無。師云須彌山。○僧問如何是啐啄之機。師云響。○僧問如何是學人自己。師云遊山玩水。○僧問如何是吹毛劒。師云祖。○僧問。殺父殺母佛前懺悔。殺佛殺祖向什麼處懺悔。師云露。○僧問佛法如水中月是否。師云清波無透路。○僧云和尚從何得。師云再問復何來。僧云便恁麼去時如何。師云重疊關山路。

### 臨濟三玄

(黃檗法嗣 傳燈十二)鎮州臨濟義玄禪師曰。夫一句語須具三玄。一玄門須具三要。有權有用。汝等諸人作麼生會。三玄者。體中玄。玄中玄。句中玄。

## 世尊良久

(另元一)外道問佛。不問有言。不問無言。世尊良久。外道讚歎云。世尊大慈大悲。開我迷雲。令我得入。外道去後。阿難問佛。外道有何所證而言得入。佛言。如世良馬。見鞭影而行。

# 維摩默然

(會元二)維摩會上三十二菩薩各說不二法門。文殊曰。我於一切法無言無說。無示無識。離諸問答。是為菩薩入不二法門。於是文殊問維摩詰。我等各自說已。仁者當說何等是菩薩入不二門。時

維摩詰默然無言。文殊歎曰。善哉善哉。乃至無有文字語言。菩 薩真入不二法門。

### 帝釋插草

(僧寶傳中)佛以手指地曰。此處宜建梵剎。天帝釋將一莖草插其處 曰建梵剎竟。佛乃微笑。

#### 布袋乞錢

(傳燈二十七佛祖統紀有傳)明州奉化縣布袋和尚者。未詳氏族。自稱名契此形裁。腲(烏罪反)脮(奴罪反)蹙額皤腹。出語無定。寢臥隨處。常以杖荷一布囊。凡供身之具盡貯囊中。入廛肆聚落見物則乞。或醠[醢-右+(乞-乙+口)]魚葅。才接入口分。少許投囊中。時號長汀子布袋師也。有一僧在師前行。師乃拊背一下。僧回頭。師曰乞我一文錢。曰道得即與汝一文。師放下布囊叉手而立。

## 黄蘗一掌

(傳燈十二)見百丈野狐處(在卷之中)。

# 大愚三拳

(歸宗常法嗣 傳燈二)臨濟初在黃蘗斷際禪師會中。第一座勉令問話。濟迺上問曰。如何是佛法的的大意。黃蘗便打。如是三問。三回被打。將辭往諸方。第一座告黃蘗曰。義玄上座雖是後生。却甚奇特。來辭和尚願更垂提誘。來日濟上辭。黃蘗指往高安見大愚。濟到大愚。愚問曰什麼處來。濟曰黃蘗來。愚曰黃蘗有何言句。濟曰。義玄三度問西來的的意。三度蒙賜棒。不知過在什麼處。愚曰。黃蘗恁麼老婆心為汝得徹。猶覔過在。濟於言下大

悟云。元來黃蘗佛法無多子。愚忸住濟曰。者尿床鬼子。適道過在什麼處。如今却道黃蘗佛法無多子。你見箇什麼道理。速道道。濟於大愚肋下築三拳。大愚托開云。汝師黃蘗。非干我事。濟辭大愚回黃蘗。蘗云汝回太速生。濟云祇為老婆心切。便人事了。侍立次。黃蘗云。大愚有何言句。濟遂舉前話。蘗云這大愚老漢待見痛與一頓。濟云。說什麼待。即今便與。隨後便打黃蘗一掌。黃蘗云。這風顛漢却來這裏捋虎鬚。濟便喝。蘗云。侍者引這風顛漢參堂去。

### 李翱問道

(傳燈十四)唐李翱。字習之。參藥山問道。山以手指上下曰會麼。 翱曰不會。山云雲在青天水在缾。翱乃述偈云。鍊得身形侣鶴 形。千株松下兩承經。我來問道無餘說。雲在青霄水在缾。

#### 陳操論禪

(陳尊宿弟子傳燈九)睦州刺史陳操尚書飯雲門偃而問曰。儒書即不問。三乘十二分教自有講師。如何是衲僧行脚事。曰曾問幾人來。曰即今問上座。偃曰。即今且置。作麼生是教意。曰黃卷赤軸。偃曰。此是文字語言。作麼生是教意。曰。口欲談辭喪。心欲緣而慮忘。偃曰。口欲談辭喪。為對有言。心欲緣而慮忘。為對妄想。作麼生是教意。尚書無以酬之。偃曰。聞公常看法華經是否。曰不敢。曰。經曰治生產業皆與實相不相違背。且道非非想天有幾人退位。又無以酬之。偃呵譏之而去。

# 靈雲見花

(為山法嗣 傳燈十一)福州靈雲志勤禪師初在為山。因見桃花啟悟。 迺曰。三十季來尋劒客。幾逢落葉又抽枝。自從一見桃花。後直 到如今更不疑。為山一日曰。從緣得入永無退轉。後玄沙聞曰。 諦當甚諦當。敢保老兄未徹在。

## 香嚴擊竹

(傳燈十一)鄧州香嚴智閑禪師初參溈山不契。辭抵南陽忠國師遺跡 憩焉。一日因山中<mark>芟</mark>除草木。以瓦礫擊竹作聲。俄失笑間。廓然 自省。乃述偈曰。一擊忘所知。更不假修治。處處無蹤跡。聲色 外威儀。諸方達道者。盡言上上機。

### 沙彌尋思

(傳燈五)石頭希遷禮六祖為師。未受具屬。祖將示滅。遷曰和尚百年後希遷當何所依。祖曰尋思去。及祖順世。遷每於靜處端坐。寂若忘生。第一座問曰。汝師已逝。空坐奚為。遷曰。我稟遺誠。故尋思爾。座曰。汝有師兄行思在青原。汝當依焉。師言甚直。汝自迷爾。遷遂詣靜居。即嗣青原之道。

## 道者覓宿

(會元一)五祖弘忍大師者。蘄州黃梅人也。先為破頭山中载松道者。甞請於四祖曰。法道可得聞乎。祖曰汝已老脫。有聞其能廣化耶。儻若再來。吾尚可遲汝。廼去行水邊。見一女子浣衣。揖曰寄宿得否。女曰我有父兄可往求之。曰。諾我即敢行。女首肯之。遂回策而去。女周氏季子也。歸輙孕。父母大惡逐之。女無所歸。日傭紡里中。夕止於眾館之下。已而生一子以為不詳。因拋濁港中。明日見之泝流而上。氣體鮮明。大驚。遂舉之成童。隨母乞食。里人呼為無姓兒。逢一智者歎曰。此子缺七種相不逮如來。後遇信大師得法嗣。化於破頭山。

# 鳥窠吹毛

(道欽法嗣 會元二)杭州鳥窠道林禪師。因棲樹上時為鳥窠。有侍者會通辭去。師謂曰。汝今何往。曰諸方學佛法去。師曰。若是佛法。吾此間亦有少許。曰如何是和尚佛法。師於身上拈起布毛吹之。會通便悟。

#### 龍潭滅燭

(天皇道吾法嗣 傳燈十五)德山因造龍潭崇信禪師。即時辭去。龍潭留之。一夕於室外默坐。龍問何不歸來。山對曰黑。龍潭乃點燭與山。山擬接。龍便吹滅。山乃禮拜。龍曰見什麼。曰從今向去不疑天下老和尚舌頭也。至明日便發。龍潭謂諸徒曰。可中有一箇漢。牙如劍樹。口似血盆。一棒打不迴頭。他時向孤峯頂上立吾道在。

### 孚公搖頭

(會元七)太原孚上坐徧歷諸方。名聞宇內。甞遊淅中。登徑山法會。一日於大佛殿前有僧問上座曾到五臺否。師曰曾到。曰還見文殊麼。師曰見。曰什麼處見。師曰徑山佛殿前見。其僧後適閩川。舉似。雪峯曰何不教伊入嶺來。師聞乃趨裝而邁。初上雪峯廨院憩錫。因分甘子與僧。長慶稜和尚問什麼處將來。師曰嶺外將來。曰遠涉不易擔負得來。師曰。甘子甘子。方上參雪峯。禮拜訖立于座右。雪峯才顧視。師便下看主事。異日雪峯見師乃指日示之。師搖手而出。雪峯曰汝不肯我。師曰和尚搖頭某甲擺尾。什麼處不肯和尚。曰到處須諱却。師不出世。諸方目為太原孚上座。

## 居士翹足

# 三角禾豆

(馬祖法嗣 會元三)潭州三角山德印禪師。僧問如何是三寶。師曰禾 麥豆。曰學人不會。師曰大眾欣然奉持。

### 南華稻粟

### 婆子作齋

(會元六)龐行婆入鹿門寺設齋。維那請意旨。婆拈梳子插向髻後曰 回向了也。便出去。

### 甘贄設粥

(南泉弟子傳燈十)池州甘贄行者入寺設粥。仍請南泉念誦。泉乃白 槌曰。請大眾為狸奴白牯念摩訶般若波羅蜜多。甘拂袖便出。南 泉粥後問典座。行者在甚麼處。座曰當時便去也。泉便打破鍋 子。

### 灌溪劈箭

(臨濟法嗣 傳燈十二)魏府灌溪志閑禪師。因僧問久響灌溪。到來只見遍麻池。師曰。汝只見漚麻池。不見灌溪。僧曰如何是灌溪。師曰劈箭急。

# 踈山嚙鏃

(傳燈十七)撫州踈山圓照匡仁禪師。身相短陋。精辨冠眾。洞山門下時有嚙鏃之機。激揚玄奧。咸以仁為能詮量者。諸方三昧可以詢乎矮師叔。

## 天鉢花開

# 九峰麥熟

(延壽法嗣)九峯道詮禪師。僧問承聞和尚親見延壽來是否。詮曰山 前麥熟未也。

#### 亞子延僧

### 則天賜浴

(事苑一)唐武則天皇后。嵩山老安·北宗神秀入襟中供養。因澡浴次。宮姫給侍。獨安怡然無他。后歎曰。入水始知有長人(云云)。

# 尚書打毬

(禪林類聚一)和補曰。王常侍睦州蹤禪師。一日師問今日何放入院追。王云。為看馬打毬。所以來追。師云。人打毬馬打毬。王云人打毬。師云。人困麼。云困。師云馬困麼。師云露柱困麼。王恤然無對。歸至私第中。夜間忽然省得。明日見師云。某會得昨日事也。師云露柱困麼。王云困。師遂許之。

## 大夫雙陸

(傳燈八)唐陸亘大夫與南泉見人双陸。遂拈起骰子云。恁麼不恁麼。只與麼信彩去時如何。泉曰臭骨頭十八。

## 行者失咲

(明安玄法嗣 僧寶傳中)雪竇初在大陽玄禪會中典客。與僧夜語雌黃古今。至趙州栢樹子因緣爭辨不已。有行者立其傍失咲而去。客退雪竇呼至。數之曰。對賓客敢笑耶。對曰。知客有古今之辨。無定古今之眼。故敢笑。曰且趙州意你作麼生會。因以偈對曰。一兔橫身當古路。蒼鷹纔見便生擒。後來獵犬無靈性。空向枯椿

舊處尋。雪竇大驚。乃與結友。或云即承天宗禪師也。予謂聞此可以想見當時法席之盛也。

### 陸亘合哭

(傳燈+)陸亘大夫因南泉示寂。院主問曰大夫何不哭先師。亘曰道 得即哭。主無語。長慶代云。合笑不合哭。

### 大寂吹耳

(馬祖法嗣 會元三)洪州泐潭惟建禪師。一日在馬祖法堂後坐禪。祖 見乃吹建耳。兩吹建起定。見是和尚却復入定。祖歸方丈令侍者 持一椀茶與建。建不顧便自歸堂也。

### 尊者撥眉

(傳燈七)賓頭盧尊者赴阿育王宮大會。王問承聞尊者親見佛來是 否。尊者以手撥開眉毛曰會麼。王曰不會。尊者曰阿耨達池龍王 請佛齋時。貧道亦預其數。賓頭盧指吾身曰如何是。

# 寒山茄串

(會元二)天台山寒山子因眾僧炙茄次。將茄串向一僧背上打一下。僧回首。山呈起茄串云。是甚麼。僧曰這風顛漢。山向傍僧曰。你道這僧費却我多少鹽醋。

# 解脫粥篦

(牛頭忠法嗣 會元二)古清凉傳。大隋五臺縣昭果寺解脫禪師自文殊 示心印之後。乃謙卑自牧。專精侍眾。厥後文殊躬臨試驗。解脫 每清旦為眾營粥。文殊忽見於前。脫殊不顧視。文殊警之曰。吾 是文殊。脫以攪粥篦便打曰。文殊自文殊。解脫自解脫。殊乃說偈曰。苦瓠連根苦。甜瓜徹蒂甜。修行三大劫。却被老僧嫌。

### 陳老蒲鞋

(黃蘗法嗣)睦州龍興寺道蹤禪師。即陳尊宿也。見黃蘗造悟。住高安米山寺。以母老東歸。鬻草屨以給侍。後住龍興寺。

#### 龐蘊漉籬

(馬祖弟子傳燈)襄州龐蘊居士。一女名靈照。常隨製竹漉篱令鬻之。以供朝夕。

### 悟本紙撚

(雲岩晟法嗣 會元十五)和補曰。洞山守初禪師。僧問如何是正法 眼。師曰紙撚無油。初嗣雲門。洞山悟本傳中無紙撚之事。

## 法眼香匙

(桂琛法嗣 傳燈廿四)昇州清涼院文益大法眼禪師與悟空禪師向火拈 起香匙。問悟空云。不得喚作香匙。兄喚作什麼。空云香匙。師 不肯。悟空却後二十餘日方明此語。

## 光仁女子

(良价法嗣 傳燈十七) 踈山握木虵。有僧問手中是什麼。師提起曰曹家女。

## 玄則童兒

(天益法嗣 傳燈廿四)金陵報恩院玄則禪師。初問青峰如何是佛。青峰曰丙丁童子來求火。師得此語藏之於心。及謁淨惠詰其悟旨。

師對曰。丙丁是火而更求火。亦似玄則將佛問佛。淨惠曰。幾放 過。元來錯會。師雖蒙開發。頗懷猶豫。復退思既殆。莫曉玄 理。乃投誠請益。淨惠曰。汝問我與汝道。師乃問如何是佛。淨 惠曰丙丁童子來求火。師豁然知歸。後住報恩院。

### 九峰拽擺

(智門祚嗣僧寶傳下)九峯長老勤公曰。揚岐牽犁。九峯拽把。

## 保福扶犁

(雪峰法嗣 傳燈十)潭州保福院從展禪師。因舉盤山道光境俱忘復是何物。洞山道。光境未忘復是何物。師曰。據此二尊宿商量猶未得勦絕。乃問長慶如今作麼生道得勦絕。慶良久。師曰情知和尚向鬼窟裏作活計。慶却問作麼生。師云兩手扶犁水過膝。

### 玄泰布衲

(石霜諸嗣傳燈十六)南嶽玄泰上坐。不知何許人也。沈靜寡言。未甞 衣帛。眾謂之泰布衲。

## 克符紙衣

(臨濟法嗣 會元十一)涿州紙衣克符和尚也。

## 庵主不顧

(臨濟法嗣 傳燈十二)蓮華峰祥庵主。拈拄杖示眾云。古人到這裡為什麼不肯住。眾無語。自代云。為他途路不得力。復云。畢竟如何。又自云。楖[木\*栗]橫擔不顧人。直入千峰萬峰去。(楖[木\*栗]。拄杖也)。

## 良篴盡知

(會元四)壽州良邃座主參麻谷。蒙印可。返都城講肆。散席告諸徒 曰。諸人知處良镓總知。良镓知處諸人不知。

#### 常侍擲笔

(為山弟子會元九)襄州王敬初常侍視事次。米和尚至。常侍廼舉 筆。米曰還判得虗空否。常侍擲筆入廳更不出。米致疑。至明日 憑鼓山供養主入探其意。米隨之潛立屏蔽間傎伺。供養主纔坐便 問。昨日米和尚有甚麼言句便不得見。常侍曰。師子咬人。韓獹 逐塊。米師聞得即省前謬。遽出即笑曰。我會也我會也。侍曰。 會即不無。你試道。米曰。請常侍舉。侍乃竪起一隻筯。米曰這 野狐精。公曰這漢徹也。

## 太傅過泥

(會元九)和補曰。為山因泥壁次。李軍容來具公裳直至。至師背後端笏而立。師回首見便側泥盤作接泥勢。李便轉笏作進泥勢。師便拋下泥盤。同歸方丈。

# 于頔失色

(會元三)于頔相公問紫玉山道通禪師。如何是黑風吹其船舫漂墮羅 剎鬼國。師云。于頔客作漢。問恁麼事恁麼。于公失色。師乃指 云遮箇是漂墮羅剎鬼國。于又問如何是佛。師喚于頔。頔應諾。 師云更莫別求。

## 李勃懷疑

(傳燈七)江州<mark>刺</mark>史李勃問歸宗。甞聞須彌納芥子則不疑。芥子納須彌莫是妄談否。宗云。人傳史君李萬卷是否。刺曰不敢。宗以手

摩頂至踵乃曰。都如椰子大。萬卷詩書向甚處著。刺俛首而已。

### 石鞏張弓

(傳燈十四)撫州石鞏惠藏禪師常以弓箭接人。三平到。師作挽弓勢 云看箭。三平作避勢。師云平生架一張弓一隻箭。只射得半箇聖 人。

#### 禾山打皷

(九峰度法嗣 碧岩九)禾山澄源無殷和尚垂語云。習學謂之聞。絕學謂之隣。過此二者是為真過。僧出問如何是真過。師云解打鼓。 又問如何是真諦。師云解打鼓。又問。即心即佛不問。如何是非心非佛。師云解打鼓。又問上人來時如何接。師云解打鼓。

## 歸宗拽石

(馬祖法嗣 傳燈 事苑二)雲門所謂雪峯輥毬。歸宗拽石。

## 木平般土

(蟠龍可文法嗣 傳燈)表州善道木平和尚。凡有新到未容參禮。先令般土三擔。示與頌曰。東山路側西山低。新到莫辭三擔泥。嗟汝 在途經日久。明明向道却成迷。

# 宣鑒斫牌

(會元七)德山卓牌於鬧市。牌上書字曰。佛來也打。祖來也打。傳燈。巖頭卓牌。岩頭廢教後。在鄂州湖邊作渡子。兩岸立板牌一所。書云。如有渡者請擊此牌一下。凡有擊者師乃舞橈而渡之。 然德山卓牌未見所出。〇和補曰。祖庭事苑會元云。雪峰一日見 玄沙來三箇木毬一齊輥。玄沙便作斫牌勢。雪峰深肯之。故宣鑑 作玄沙。

#### 白雲搖艫

### 道吾起拜

(關南道掌法嗣 傳燈十一)襄州關南道吾和尚。僧問如何是和尚深深處。師下禪床作女人拜云。謝子遠來。無可祇對。

### 迦葉作舞

(會元一)世尊因乾闥婆王献樂。其時山河大地盡作琴聲。迦葉起作舞。王問迦葉豈不是阿羅漢諸漏已盡。何更有餘習。佛曰實無餘習。莫謗法也。王又撫琴三徧。迦葉亦三度作舞。王曰迦葉作舞豈不是。佛曰實不曾作舞。王曰世尊何得妄語。佛曰。不妄語。汝撫琴。山河大地木石盡作琴聲。豈不是。王曰是。佛曰。迦葉亦復如是。所以實不曾作舞。王乃信受。

# 涌泉騎牛

(石霜諸嗣傳燈十六)台州涌泉景欣禪師。有疆德二禪客到。於路次見師騎牛。不識師。曰。蹄角甚分明。爭奈騎者不識。師驟牛而去。二禪客憩於樹下煎茶。師迴下牛。近前不審與坐喫茶。師問二禪客近離什麼處。曰離那邊。師曰那邊事作麼生。彼提起茶盞。師曰此猶是遮邊。那邊事作麼生。二人無對。師曰莫道騎者不識好。

# 牧庵跨虎

(佛眼法嗣 普燈十六)隆興府黃龍牧庵法忠禪師。居南嶽。每跨虎出游。儒釋望塵而拜。

#### 徑山蟭螟

(為山法嗣 傳燈十一)杭州徑山洪諲禪師(徑山第三祖)。僧問如何是 長。師云千聖不能量。問如何是短。師云蟭螟眼裏著不滿。其僧 不肯。便去。舉似石霜。霜云只為太近實頭。僧云如何是長。霜 云不屈曲。云如何是短。霜云双六盤中不喝采。

### 地藏鸚鵡

(玄沙法嗣 會元八)障州羅漢院桂琛禪師。障牧王公請於閩城西之石 山建精舍曰地藏。請師駐錫焉。僅逾一紀。後遷止障州羅漢院。 大闡玄要。學徒臻湊。師問僧什麼處來。曰秦州來。師曰將得什 麼物來。曰不將得物來。師曰汝為什麼對眾漫語。其僧無語。師 却問秦州豈不是鸚鵡。僧曰鸚鵡出在隴西。師曰也不較多。

### 石霜侍師

(道吾法嗣 傳燈十五)潭州石霜慶諸禪師。道吾將捨眾順世。以師為嫡嗣。躬至石霜而就之。師日勤侍。全于師禮。暨道吾歸寂。學 侶雲集。盈五百眾。

## 慈覺養母

## 谷泉配役

(僧寶傳)衡嶽谷泉禪師。嘉祐中男子冷清夭言誅。師坐清曾經由庵中決杖。配郴州牢城。盛暑負土經通衢。放擔說偈曰。今朝六月六。谷泉被氣[祝/土]。不是上天堂是入地獄。言訖微笑。泊然如蟬蛻。

# 長興遭虜

(泉仁法嗣 會元十三)和補曰。重雲智暉禪師。歸終南圭峯舊居建 寺。後唐明宗賜額曰長興。上坐。僧問如何是隨照失宗。師云家 遭劫賊。

### 宣老為男

(耶耶覺法嗣 會元十二)歸宗宣禪師。漢州人。瑯琊廣照之嗣。與郭功甫厚善。忽一日南康守以事臨之。宣令人馳書與功甫。且祝送書者云。莫令縣君見。功甫時任南昌尉。書云。某更有六年世緣未盡。今日不奈抑逼何。欲託生君家。望君相照。乃化去。功甫得書驚喜盈懷。中夜某妻夢寐髣髴見宣入臥內。不覺失聲云。此不是和尚來處。功甫問其故。妻答所見。功甫呼燈以宣書示之。果有娠。及生即名宣光。纔周歲記問如昔。逮三歲白雲端和尚過其家。功甫喚出相見。望見便呼師姪。端云與和尚相別幾年耶。宣屈指云四年也。端云在甚處相別。宣云白蓮莊。端云以何為驗。宣云爹爹媽媽明日請和尚齋。忽門外推車過。端云門外什麼聲。宣作推車勢。端云過如何。宣云平地一條溝。甫及六歲無疾而化。

# 信公作女

(天皇法嗣 傳燈十四)海印信和尚。嗣瑯瑯。桂府人也。住蘇州定惠 寺。年八十餘。平日受朱防禦家供養。屢到其宅。一日朱問曰。 和尚後世能來弟子家中託生否。師微咲諾之。及歸寺得病。數日 而化。其遷化日。朱家生一女子。圓照本禪師時住瑞光。聞其事 往訪之。方出月。抱出一見便笑。圓照云。海印儞銷了也。女子 哭數聲。化去。

# 四賢問道

(會元十九)于迪相公見紫玉。裴休相國問黃蘗高僧。 楊億內翰參 透廣惠。李遵勗太尉見石門大悟。

### 三佛下語

(會元十九)三佛在五祖時甞於一亭上夜話。歸方丈燈已滅。五祖乃於暗中日各人下轉語。佛鑑對云彩鳳舞丹霄。佛眼曰銕虵橫古路。佛果云看脚下。五祖曰。滅吾宗者乃克勤(圓悟也)爾。

## 真際庭栢

(會元四)趙州觀音院(亦曰東院)從諗禪師。曹州郝鄉人也。姓郝氏。 諡真際大。師僧問如何是祖師西來意。師云庭前栢樹子。僧云和 尚莫將境示人。師云我不將境示人。僧云如何是祖師西來意。師 云庭前栢樹子。

### 守初麻斤

(雲門法嗣 傳燈廿三)洞山守初禪師。僧問如何是佛。師云麻三斤。

## 浮石鬻卜

(子湖蹤法嗣 傳燈十一)障州浮石和尚。因上堂云。山僧開箇卜鋪。 能斷人貧富。定人生死。時有僧出云。離却生死貧富。不落五 行。請師直道。師云金木水火土。

## 王老賣身

(王南泉俗姓傳燈八)池州南泉普願禪師示眾云。王老師賣身去也。還有人買得麼。有僧出云某甲買。泉云。不作貴不作賤。作麼生買。酧價僧無對。

### 香嚴原夢

(傳燈九)為山臥次。仰山問訊。為山轉面覷後。仰云。某甲是和尚弟子。何用形跡。為山作起勢。仰山便出。為山喚回云。我適來得一夢。汝試原看。仰山將一盆水并手巾度與為山。為山遂洗面。香嚴至。為云。我適來與寂子作一上禪通。不同小小。嚴云某甲下面一一知得。為云試道看。嚴点一椀茶與為山。為云二子神通過於鶖子(舍利弗也)。

## 普化描真

(會元三)普化和尚。幽州盤山寶積和尚法嗣。山臨遷化謂眾云。還有人描得吾真麼。眾皆寫真呈山。山皆叱之。普化出云某甲描得。山云何不呈似老僧。普化便打筋斗而出。山云這漢向後如風狂接人去在。山乃奄化。

# 婆子偷笋

(會元四)趙州路逢一婆子。問曰甚處去。婆云偷趙州笋去。忽遇老僧又作麼生。婆便與一掌。州休去。

## 行者施銀

(傳燈十四)藥山令供養主化。甘贄行者問什麼處來。僧曰藥山來。 甘曰來作麼。僧曰教化。甘曰還將藥來麼。僧曰行者有什麼病。 甘便捨銀兩挺曰若有人即送來。無人即休。山恠其僧回急。僧曰 佛法相當得兩挺銀。山令舉其語。舉了。山令僧速送銀還行者 家。行者見僧迴。云。猶來。遂添銀施之。

# 莊宗得寶

(傳燈十二)後唐莊宗車駕幸河北。回至魏府行宮。詔興化存獎禪師問云。朕収中原獲得一寶。未曾有人酬價。獎曰請陛下寶看。帝以兩手舒幞頭脚。獎曰君王之寶誰敢酬價。(玄覺徵曰。且道興化肯莊宗。若肯莊宗。興化眼在甚麼處。若不肯莊宗。過在甚麼處)龍顏大悅。賜紫衣師號。獎皆不受。乃賜馬與師乘騎。馬忽驚。師墜傷足。帝復賜藥救療。師喚院主與我做箇木棒拐子。主做了將來。師接得遶院行。問僧曰汝等還識老僧麼。曰爭得不識和尚。師云。[跳-兆+戾]脚法師說得行不得。

#### 船子得鱗

(藥山儼法嗣 會元五)透州華亭船子德誠禪師。節操高邈。度量不 群。自印心於藥山。與道吾雲岩為同道交。泊離藥山乃謂二同志 曰。公等應各據一方建立藥山宗旨。予率性踈野。唯好山水。樂 情自遣。無所能也。他後知我所止之處。若遇靈利座主指一人 來。或堪雕琢。將牛平所得以報先師之恩。遂分携至绣州華亭。 泛一小舟隨緣度日。以接四方往來之者。時人莫知其高蹈。因號 船子和尚。一日泊船岸邊閑坐。有官人問如何是和尚日用事。師 竪起橈子曰會麼。官人曰不會。師云棹撥清波金鱗罕遇。師有偈 曰。三十年來坐釣臺。鈎頭往往得黃能。金鱗不遇空勞力。収取 絲綸歸去來。道吾後到京口。遇夾山上堂。僧問如何是法身。山 曰法身無相。曰如何是法眼。山云法眼無瑕。道吾不覺失笑。山 便下座請問道吾。某甲滴來祇對這僧話必有不是。致今上座失 笑。望上座不吝慈悲。吾曰。和尚一等是出世。未有師在。山曰 某甲甚處不是望為說破。吾云。某甲終不說。請和尚却往華亭船 子處去。山云此人如何。吾曰此人上無片瓦下無卓錐。和尚若去 須易服而往。山乃散眾束裝直造華亭。船子纔見便問大德住甚麼 寺。山云寺即不住住即不似。師云。不似似箇甚麼。山曰不是目 前法。師曰甚處學得來。山云非耳目之所到。師云。一句合頭

語。萬劫繫驢橛。師又問。垂絲千尺意在深潭。離鈎三寸子何不道。山擬開口。被師一橈打落水中。山纔上船。師又曰道道。擬開口。師又打。山豁然大悟乃點頭三下。師云竿頭絲線從君弄。不犯清波意自殊。山遂問拋綸擲釣師意如何。師云絲懸淥水浮定有無之意。山云。語帶玄而無路。舌頭談而不談。師云。釣盡江波。金鱗始遇。山乃掩耳。師云如是如是。遂屬云。汝向去直。須藏身處沒蹤迹。沒蹤迹處莫藏身。吾二十年在藥山祇明斯事。汝今既得。他後莫住城隍聚落。但向深山裏钁頭邊。覔取一箇半箇。無令接續斷絕。山乃辭行。頻頻回顧。師遂喚闍梨。山乃回首。師竪起橈子曰。汝將謂別有。乃覆船入水而逝也。○和補曰。三十年來海上遊。水清魚現不吞鈎。釣竿斫盡重栽竹。不計功程得便休。(船子誠之頌)

### 趙州狗子

(南泉法嗣 大惠書)趙州僧問狗子還有佛性也無。州云無。又問。一切眾生皆有佛性。因甚狗子却無。州云有業識在。

## 臨濟真人

(傳燈十二)臨濟上堂云。赤肉團上有一無位真人。常從汝等諸人面門出入。未證據者看看。時有僧問如何是無位真人。師下禪床把住云道道。其僧擬議。師托開云。無位真人是什麼乾屎橛。便歸方丈。

## 華林二虎

(馬祖法嗣 傳燈八)潭州華林善覺禪師。常持錫夜出林麓間。七步一振錫。一稱觀音名號。一日觀察使裴休訪之問云。師還有侍者否。師云有一兩箇。裴曰在甚麼處。師乃喚大空小空。時二虎自庵後而出。裴休視之驚悸。師語之云有客且去。二虎哮吼而去。

裴問云。師作何行業感得如此。師良久曰會麼。曰不會。師云山 僧常念觀音。

#### 青原一麟

(會元五)石頭遷問青原思禪師。曹溪大師還識和尚不。思曰汝今識 吾否。曰識亦爭識得。思曰。眾角雖多。一麟足矣。

### 道吾裝鬼

三聖到道吾。吾預知以緋抹額持神杖於門下立。聖曰小心祇候。 吾應喏。聖參堂了再上人事。吾具威儀方丈內坐。聖纔近前。吾 曰有事相借問得麼。聖曰。也是適來野狐精。出去。

### 拾得呵神

(傳燈廿七)天台拾得者。不言名氏。因豐干禪師山中經行。至赤城 道側聞兒啼聲遂尋之。見一子可數歲。初謂牧羊子。及問之云孤 棄于此。豐干乃名為拾得。携至國清寺付典座僧曰。或人來認必 可還之。有護伽藍神庿。每日僧厨下食。為鳥所有。拾得以杖扶 之曰。汝食不能護。安能護伽藍乎。此夕神附夢于合寺僧曰。拾 得打我。詰旦諸僧說夢符同。一寺紛然。牒申州縣。群符至云。 賢士隱遁菩薩應身。宜用旌之。號拾得為賢士。隱石而逝。

## 大覺潑水

(泐潭法嗣 會元十五)明州育王山懷璉大覺禪師。障州龍溪陳氏子。 誕生之夕夢僧伽降室。因小字泗州。既有異兆。僉知祥應。齠齓 出家。丱角圓頂。篤志道學。寢食無廢。一日洗面潑水于地。微 有省發。即慕參尋。遠造泐潭法席。投機印可。

# 興教墮薪

(韶國師法嗣 會元十)杭州興教洪壽禪師。同國師普請次。聞墮薪有省。作偈曰。撲落非佗物。縱橫不是塵。山河及大地。全露法王身。

### 三師行說

杭州大慈寰中禪師(嗣百丈海)示眾曰。說得一丈不如行取一尺。說得一尺不如行取一寸。洞山曰。我不恁麼道。僧曰作麼生。洞山曰說取行不得底。行取說不得底。○雲居曰。行時無說路。說時無行路。不說不行時。合行什麼路。

#### 二老踈親

(傳燈七)夾山與定山同行言話次。夾山云生死中有佛即不迷生死。 定山云生死中無佛即無生死。二人往返不決。上山參禮。夾山便 舉前話問大梅。未審那箇親。梅云一親一踈。夾山云那箇親。梅 且去明日來。夾山明日再上問。梅云。親者不問。問者不親。

## 文殊白槌

(會元一)世尊陞座。文殊白槌曰。諦觀法王法。法王法如是。世尊便下座。

## 百丈捲席

(會元三)百丈海一日與馬祖遊山見野鴨子。祖問曰是甚麼。丈曰野鴨子。曰甚處去。丈云飛過去。祖遂引手扭百丈鼻頭。丈作痛聲。祖曰何曾飛過。丈於是大悟。至明日祖陞座。丈出卷却面前禮拜席。祖便下座。

# 大達妄想

(馬祖法嗣 傳燈八)汾州無業禪師。<mark>諡</mark>大達國師。凡有學者致問。答 曰莫妄想。

### 洛缻消息

(會元五)洛缻到天仙。仙問甚處來。缻云南溪來。仙云還將得南溪 消息來麼。缻云消即消息則未息。仙云最苦是未息。缻云且道未 息箇什麼。仙云一回見面千載不忘名。缻拂袖便出。仙云弄死蛇 手有甚限。

# 藥山曲調

(石頭法嗣 傳燈十四)高沙彌住庵後。雨裏來相看。藥云你來也。師云是。藥云是藥云可殺濕。師云不打遮箇鼓笛。雲岩云皮也無打什麼皷。道吾云皷也無打什麼皮。藥云今日大好曲調。

### 青原階級

(傳燈五) 青原往曹溪作禮問曰。當何所務即不落階級。祖云汝曾作 什麼來。原曰。聖諦亦不為。何階級之有。祖深器之。謂有二祖 見少林氣象。

# 夾山揮劒

(華亭法嗣 會元五)夾山僧問撥塵見佛時如何。師云。直須揮劒。若不揮劒漁父捿巢。僧後問石霜。撥塵見佛時如何。霜云渠無國土甚處渠逢。僧回舉似師。師上堂舉了乃曰。門庭施設不如老僧。入理深談猶較石霜百步。

# 隱峰飛錫

(馬祖法嗣 傳燈八)五臺山隱峯禪師。姓鄧氏(時稱鄧隱峯)。唐元和中 荐登五臺。路出淮西屬。吳元濟阻兵違拒王命。官軍與賊交鋒未 決勝負。師云吾當去解其患。乃擲錫空中飛身而過。兩軍將士仰 觀。事符預夢鬪心頓息。

### 洞山寒暑

(傳燈八)僧問洞山寒暑到來如何回避。山云何不向無寒暑處回避。僧云如何是無寒暑處。山云。寒時寒殺闍梨。熱時熱殺闍梨。

### 谷山聲色

(傳燈八)谷山問透溪和尚。聲色純真如何是道。溪云亂道作麼。谷山却從東邊過西邊立。溪云若不恁麼即禍事也。谷山却過東邊。溪乃下禪床。方行兩步被谷山捉住云。聲色純真事作麼生。溪便掌谷山。谷山云十年後要箇人下茶也無在。溪云要谷山老漢什麼。谷山呵呵大笑三聲。

## 元祐迴牒

(黃龍南法嗣 僧寶傳下)雲居元祐禪師住玉澗寺時。徐王聞其名奏賜紫方袍。師作偈辭之曰。為僧六十鬂先素。無補空門媿出家。願乞封迴禮部牒。免辜盧老衲袈裟。

# 鹿門辭勑

## 華亭藏身

(藥山法嗣 會元五)見前船子得鱗處。

# 雲門聞頞

#### (雪峰法嗣)。

### 北禪烹牛

(福嚴良雅嗣會元十五)潭州北禪賢和尚除夜小參云。年窮歲暮無可與諸人分歲。且烹一頭露地白牛。炊黍米飯。煑野菜羹。向榾柮火唱村田。何故。免見倚它門戶傍它墻。剛被時人喚作郎。下座歸方丈。少頃倚遇上坐(即法昌也)入方丈云。和尚門外有公人長。賢曰作什麼。遇曰和尚納皮角。賢拈頭帽擲在地上。遇便去拾。賢下禪床捉住云。捉賊捉賊。遇將頭帽褁向賢頭上云天寒且還和尚。賢呵呵大笑。遇便出去。

### 三角喝賊

(為山祐法嗣 傳燈十八)蘄州三角山法遇庵主。因荒亂魁師入山。執 刃而問和尚有甚財寶。師曰僧家之寶非君所宜。魁曰是何寶。師 振聲一喝。魁不悟。以刀加之。

## 保寧摑口

(楊岐法嗣 普燈四)和補曰。保寧仁勇禪師再受保寧請。上堂拍掌三下。摑口搖手三下。便下座。

## 洪英掐膝

(黃龍南法嗣 林間錄上)翠巖真點胸好問僧。文殊是七佛之師。因甚麼出女子定不得。罔明從下方來。因甚出得女子定。莫有對者。獨英邵武方其問時以手掐其膝而去。真笑曰賣匙箸客未在。

# 恭語不灰

(黃龍南法嗣 見宗門武庫拾遺)黃龍恭首座出世住禪林。訪法昌遇和 尚。遇問曰見說你為黃龍燒香是否。曰不敢。遇云。龍生龍子。 須是解興雲吐霧始得。恭曰隨家豐儉。遇曰你未拈香早鈍置黃龍 了也。恭曰且莫多口。遇曰你且道黃龍實頭處作麼生。恭提起坐 具。遇喚行者討坐具來。行者提在手中。遇便打曰你三十年後也 道見老僧來。恭後住衡之華光。乃有坦率之風。罹有司。民其 衣。華光既遭回祿。而恭語錄於灰燼中字畫無損。餘紙悉盡。信 般若之明驗矣。

#### 玄言上石

(梁山緣觀嗣僧寶傳中)野州大陽山警玄禪師。遊方初到梁山。問如何是無相道場。山指觀音曰這箇是。吳處士畫師擬進語。山急索曰。這箇是有相底。那箇是無相底。師遂有省便禮拜。山曰何不道取一句。師云道即不辭恐上紙筆。山笑曰此語上碑去在。

## 滿號銀山

# 秀名鐵壁

(天衣懷法嗣 僧寶下)法雲圓通法秀禪師。叢林號為秀鐵面。

## 龍牙禪板

(悟本法嗣 傳燈十七)湖南龍牙山居道禪師。在翠微時問云如何是祖師意。微云與我過禪板來。師便過禪板與微。微接得便打。師云。打即任打。要且無祖師意。又問臨濟如何是祖師意。濟曰與我過蒲團來。師乃過蒲團與濟。濟接得便打。師云。打即任打。要且無祖師意。後有僧問。和尚行脚時問二尊宿祖師意。未審二尊宿道眼明也未。師云。明即明也。要且無祖師意。東禪齊云。

眾中道。佛法即有只是無祖師意。若恁麼會有何交涉。別作麼生 會無祖師意底道理。

### 長慶蒲團

(雪峰法嗣 會元七)福州長慶惠稜禪師。歷參禪苑。後參靈雲。問如何是佛法大意。雲云驢事未去馬事到來。師如是往來雪峯玄沙十二年間。坐破七箇蒲團不明此事。一日捲簾忽然大悟。乃有頌曰。也大差矣。也大差矣。捲起簾來見天下。有人問我解何宗。拈起拂子劈口打。峯舉謂玄沙曰此子徹去也。沙曰。未可。此是意識著述。更須勘過始得。至晚眾僧上來問訊。峯謂師云。備頭陀未肯汝在。汝實有正悟。對眾舉來。師又有頌云。萬象之中獨露身。唯人自肯乃方親。昔時謬向途中覔。今日看來火裡氷。峯乃顧汝曰不可更是意識著述。師問峯云。從上諸聖傳受一路。請師重示。峯良久。設禮而退。峯乃微笑。師入方丈參。峯曰是甚麼。師云今日天晴好普請。自此醻問未甞爽於玄旨。

## 盤山肉案

(馬祖法嗣 會元三)盤山一日於街市見人在肉肆買肉云精底割一斤來。屠兒放下刀叉手云。長史那箇不是精底。山聞之忽然大悟。 告馬祖。祖又印可之。

# 蜆子臺盤

(良价法嗣 傳燈十七)京兆府蜆子和尚。不知何許人也。事迹頗異。居無定所。自印心於洞山。混俗閩川。不畜道具不循律儀。冬夏唯披一衲。逐日江岸採掇蝦蜆以充其腹。暮即宿東山白馬庿紙錢中。居民目為蜆子和尚。華嚴靜禪師聞之。欲決真假。先潛入紙錢中。深夜師歸。嚴把住曰。如何是祖師西來意。師遽答云神前酒臺盤。嚴放手曰不虛與我同根生。嚴後赴莊宗詔入長安。師亦

先至。每日歌唱自拍。或乃佯狂。深雪去來俱無蹤跡。厥後不知 所終。

#### 巴陵銀椀

(雲門偃法嗣 傳燈廿二)新開巴陵禪師。僧問如何是提婆宗。師云銀 椀裡盛雪。

## 雲巖寶冠

(馬祖法嗣 會元三)和補曰。池州魯祖寶雲禪師。僧問如何是諸佛。師云頭上有冠者不是。曰如何即是。師曰頭上無寶冠。

### 荊門犢鼻

(北塔忠廣法嗣 會元十五)荊門軍玉泉承皓禪師。游方參北塔發明心要。得大自在三昧。製犢鼻裩書歷代祖師名字。乃曰唯有文殊普賢較些子。且書於帶上。故叢林目為皓布裩。元豐間首眾於襄陽谷隱。有卿僧亦効之。師見而詬曰。汝具何道理敢以為戲事耶。嘔血無及耳。尋於鹿門如所言而逝。

## 踈山布單

(良价法嗣 會元十三) 踈山聞福州大溈安和尚示眾曰。有句無句如藤倚樹。師特入嶺。到彼值為泥壁便問。承聞和尚道有句無句如藤倚樹是否。為曰是。師曰。忽遇樹倒藤枯。句歸何處。為放下泥盤呵呵大笑歸方丈。師云。某甲三千里賣却布單。特為此事而來。和尚何得相弄。為喚侍者取三百錢與這上座去。遂囑曰。向後有獨眼龍為子点破在。為山次日上堂。師出問。法身之理。理絕玄微。不奪是非之境猶是法身邊事。如何是向上事。為舉起拂子。師云此猶是法身邊事。為曰如何是法身向上事。師奪拂子摺

折擲向地上。便歸眾。為曰龍蛇易辨衲子難瞞。後聞務州明招謙和尚出世。徑往禮拜。招問甚處來。師云閩中來。招曰曾到大為否。師曰到。招曰有何言句。師舉前話。招曰為山可謂頭正尾正。祇是不遇知音。師亦不省。復問忽遇樹倒藤枯句歸何處。招曰却使為山笑轉新。師於言下大悟乃曰。為山元來笑裡有刀。遙望禮拜悔過。

### 芭蕉拄杖

(南塔光涌法嗣) 郢州芭蕉山惠清禪師。上堂拈拄杖示眾曰。你有拄杖子。我與你拄杖子。你無拄杖子。奪却你拄杖子。靠拄杖下座。

## 資福剎竿

(如寶法嗣)吉州資福真邃禪師(第二世住)謂眾云。隔江見資福。剎竿便迴去。脚跟也好與三十棒。況過江來。時有僧才出。師曰不堪共語。問如何是古佛心。師曰山河大地。

## 禄清紅莧

(圓智法嗣 傳燈十五) 禄清和尚。僧問不落道吾機請師道。師云。庭 前紅莧樹。生葉不生花。良久云會麼。僧云不會。師云。正是道 吾機。因什麼不會。僧禮拜。師便打云。須是老僧打你始得。

## 惠稜牡丹

(雪峯法嗣 會元八)地藏與長慶保福入州見牡丹。障子保福云好一朵牡丹花。長慶云莫眼花。地藏曰可惜許一朵花。

# 南泉翫月

(會元三)南泉翫月次。趙州問幾時得似這箇時節。泉云王老師二十 年前亦曾恁麼來。

### 保福遊山

(雪峯法嗣 會元七)長慶稜和尚與保福遊山。保福問。古人道妙峯山頂。莫即遮簡便是也無。慶曰是即是。可惜許。

### 寶林冷笑

#### 韶陽熱謾

(僧寶傳上)雲門以拄杖擊繩床曰。適來許多葛藤。貶向什麼處去 也。靈利底見。不靈利底著我熱謾。

#### 乾峯一路

(良价法嗣 會元十三)乾峯僧問十方薄伽梵一路涅槃門。未審路頭在甚麼處。峯拈拄杖劃一劃云在這裡。僧請益雲門。門拈起扇子云。扇子[跳-兆+孛]跳上三十三天[祝/土]著帝釋鼻孔。東海鯉魚打一棒兩似盆傾。

# 兜率三關

(真淨文法嗣 會元十七) 兜率從悅禪師設三關以問學者。一日撥草參玄只圖見性。即今上人性在什麼處。二曰識得自性方脫生死。眼光落地時作麼生脫。三曰脫得生死知去處。四大分離向什麼處去。

# 谷泉逐遇

(汾陽昭法嗣 會元十二)南岳芭蕉庵大道谷泉禪師。因倚遇上坐來參。遇(後住法昌寺名也)問庵主在麼。師曰誰。曰行脚僧。師曰作甚麼。曰禮拜庵主。師曰恰值庵主不在。曰你聻。師曰。向道不在。說甚麼你我。拽捧趂出。遇次日再來。師又趂出。遇一日又來問庵主在麼。師曰誰。曰行脚僧。揭簾便入。師欄胸桶住曰。我這裡狼虎縱橫。尿屎鬼子三回兩度來討甚麼。曰人言庵主親見汾陽來。師解衣抖擻曰。你道我見汾陽。有多少奇特。曰如何是庵中主。師曰入門須辨取。曰莫祇這便是麼。師曰賺却幾多人。曰前言何在。師曰。聽事不真。喚鐘作甕。曰。萬法泯時全體現。君臣合處正中邪去也。師曰。驢漢不會便休。乱統什麼。曰未審客來將何祇待。師曰雲門餬餅趙州茶。曰恁麼則謝師供養去也。師叱曰。我這裡大種也未有。早言謝供養。

#### 圓照戲端

(天衣懷法嗣 僧寶傳)圓照禪師元祐。初自京師惠林寺退歸姑蘇。見端師子於甘露曰汝非端師子乎。曰是。師戲之曰。村裡師子耳。端應聲曰。村裏師子村裏弄。眉尾與眼一齊動。開却口。肚裏直。籠統不愛人取奉。直饒弄到帝王宮。也是一場乾打閧。師粹美不悟其譏也。

# 誌公難邈

(會元二)寶誌禪師。初金陵東陽民朱氏之婦。上巳日聞兒啼鷹巢中。梯樹得之。舉以為子。七歲依鍾山大沙門僧檢出家。專修禪觀。宋太始二年髮而徒跣。著錦袍。往來皖山劒水之下。以剪尺拂子柱杖頭負文而行。天鑑二年梁武帝詔問。弟子煩惑未除何以治之。答曰十二。帝問其旨如何。答曰。在書字時節。刻漏中益不曉。帝甞詔畫工張僧繇寫師像。僧繇下筆輙不自定。師遂以指

剺面門。分披出十一面觀音。妙相殊麗或慈或威。僧繇竟不能 寫。

### 六祖難塑

(傳燈五)六祖因蜀僧名方辨來謁祖云善揑塑。祖正色曰試塑看。方辨不領旨。乃塑祖真可高七寸。曲盡其妙。祖觀之曰。汝善塑性。不善佛性。酬以衣物。僧禮謝而去。

## 章敬撥空

(馬祖法嗣 傳燈七)京兆府章敬寺懷惲禪師。或問禪師。所傳心地法門。為是真如心妄想心非真非妄心。為是三乘教外別傳底心。師云汝見目前虗空麼。曰信知常在目前人自不見。師曰汝莫認影像。曰和尚作麼生。師以手撥空三下。曰作麼生即是。師曰汝向後會去在。

# 雲門抽顧

(人天眼目)雲門每顧見僧即曰鑒咦。而錄之者曰顧鑒咦。德山密禪師刪去顧字但曰鑒咦。叢林目以為抽顧頌。北塔祚禪師作偈曰。雲門顧鑒笑嘻嘻。擬議遭渠顧鑒咦。任是張良多智巧。到頭於是也難施。

## 悟本稱奇

(雲岩晟法嗣 會元十三)瑞州洞山良价悟本禪師。參為山問云。頃聞南陽忠國師有無情說法話。某甲未究其微。為曰闍黎莫記得麼。師云記得。為曰汝試舉一編看。師遂舉僧問如何是古佛心。國師曰墻壁瓦礫。曰豈不是無情。國師曰是。僧云還解說法否。國師云常說熾然說無間歇。僧云某甲為甚麼不聞。國師云。汝自不

聞。不可妨他聞者也。僧曰未審甚麼人得聞。國師曰諸聖得聞。 僧云和尚還聞否。國師云我不聞。僧云和尚既不聞。爭知無情解 說法。國師曰。賴我不聞。我若聞即齊於諸聖。汝即不聞我說法 也。僧曰恁麼則眾生無分去也。國師云。我為眾生說。不為諸聖 說。僧云眾生聞後如何。國師云即非眾生。僧云無情說法據何典 教。國師云。灼然言不該典。非君子之所談。汝豈不見華嚴經云 剎說眾生說三世一切說。師舉了溈曰。我這裏亦有。祇是罕遇其 人。師云某甲未明乞師指示。溈竪起拂子曰會麼。師云不會。請 和尚說。溈曰父母所生口終不為子說。師曰還有與師同時慕道者 否。溈曰。此去澧陵攸縣。石室相連。有雲岩道人。若能撥草瞻 風。必為子之所重。師云未審此人如何。為云。他曾問老僧。學 欲奉師去時如何。老僧對佗道。直須絕滲漏始得。他道。還得不 違師旨也無。老僧道。第一不得道老僧在狺裏。師遂辭歸溈山。 徑造雲岩。舉前因緣了便問無情說法甚麼人得聞。岩云無情得 聞。師云和尚聞否。岩曰我若聞汝即不聞吾說法也。師云某甲為 其麼不聞。岩竪起拂子云環聞麼。師云不聞。岩云。我說法汝尚 不聞。豈況無情說法平。師云無情說法該何典教。岩曰。豈不見 彌陀經云水鳥樹林悉皆念佛念法。於此有省。乃述偈曰。也太奇 兮也太奇。無情說法不思議。若將耳聽終難會。眼處聞時方得 知。

# 大禪呌悟

(歸宗常法嗣 會元四)五臺山大禪佛智通禪師。在歸宗常和尚會下。 (禪宗有二大禪佛。一名景通。嗣仰山。一日智通。嗣歸宗常)忽一夜叫云我 大悟也。眾駭之。次日歸宗上堂集眾云。昨夜大悟出來。禪佛出 曰某甲。宗云汝見箇什麼道理言大悟。禪佛曰師初元來女人作。 宗默而異之。

# 義存歸庵

(會元七)雪峯義存禪師住庵時。有兩僧禮拜。峯見來。以手托庵門 放身出云是什麼。僧亦云是什麼。峯低頭歸庵。

## 老觀閉戶

(黃檗法嗣 傳燈十二)福州鳥岩山靈觀禪師(時稱老觀)。尋常扃戶。人罕見之。唯一信士每至食時送供方開。一日雪峯伺便扣門。師開門。峯驀胸搊住曰是凡是聖。師唾曰這野狐精。便推出閉却門。峯曰也祇要識老兄。

### 尚座觀魚

(禪林類聚)深明二上坐同行見捕魚。見一魚透出網。深云俊哉大似 箇衲僧相似。明曰爭似當時不入他網。深云你猶欠悟在。明行三 十里方省。

# 師伯見兔

(雲岩晟法嗣)潭州禪山師伯僧密禪師與洞山行次。忽見白兔走過。師曰俊哉。洞曰作麼生。師云大似白衣拜相。洞曰老老大大作這簡說話。師曰你作麼生。洞曰。積代簪纓暫時落魄。

# 明教薑杏

(洞山聰法嗣 禪林類聚九)明教嵩禪師。初自洞山遊康山。托迹開先 法席。主者以其住少年銳文字。命掌書記。笑曰我豈為汝一盃薑 杏湯耶。因去之。(林間錄)

## 馬祖鹽醋

馬祖闡化於江西。南嶽讓問眾曰道一為眾說法否。眾曰<mark>已</mark>為眾說 法。讓曰總未見人持箇消息來。眾無對。因遣一僧去。囑曰。待 伊上堂時<mark>但</mark>問作麼生。伊道底言語記將來。僧去一如讓旨。回謂 讓曰。馬祖云。自從胡乱後。三十年不曾少鹽醬。讓然之。

#### 竹林麻鞋

### 木平草屨

### 地藏種田

(玄沙法嗣 會元八)福州地藏桂琛禪師。因插鋤次見僧便問什麼處來。僧云南方來。師云南方佛法如何。僧曰商量浩浩地。師云。 爭似我這裏種田博飯喫。僧云爭奈三界何。師云汝喚什麼作三界。僧無語。

### 懶瓚煨芋

(四祖法嗣)唐南岳山明瓚禪師者。未知氏族生緣。初遊方詣嵩山普 寂盛行禪法師往從焉。然則默證寂之心。契人牢推量。尋於衡岳 閑居。眾僧營作我則晏如。縱被詆詞殊無愧耻。時目之懶瓚也。 唐德宗聞其名。遣使詔之。使者至其室宣言。天子有詔尊者當起 謝恩。師方撥牛糞火尋煨芋而食。寒涕垂頤未甞答。使者笑曰且 勸尊者拭涕。師曰我豈有工夫為俗人拭涕耶。竟不起。使回奏。 德宗甚欽嘆之。

# 天盖浴室

## 侍者巡鋪

(會元四)趙州因與文遠侍者行。乃指一片地曰這裏好造箇巡鋪。文 遠便去路傍立曰把將公驗來。師遂與一摑。遠曰公驗分明過。

## 老諗四門

(專者一)趙州上堂。正人說邪法。邪法悉皆正。邪人說正法。正法悉皆邪。諸方難見易識。我這裡易見難識。問如何是趙州。師曰東門西門南門北門。

### 師備三句

(僧寶傳四)福州玄沙宗一大師。法名師備。本州閩縣人也。姓謝 氏。疾大法難舉罕遇上根。學者依語生解隨照失宗。乃示綱宗三 句曰。第一句且自承當。現成具足。盡十方世界更無他故。祇是 仁者更教誰見誰聞。都來是汝心王所為。全成不動智。只欠自承 當。喚作開方便門。使汝信有一分真常流注亘古亘今。未有不是 未有不非者。然此句只成平等法。何以故。但是以言遣言以理逐 理。平常性相接物利牛耳。目於宗旨猶是明前不明後。號為一味 平實。分證法身之量。未有出格之句。死在句下未有自由分。若 知出格量。不被心魔所使入到平中。便轉換落落地。言通大道。 不墮平懷之見。是謂第一句綱宗也。第二句迴因就果。不著平常 一如之理。方便喚作轉位投機。牛殺自在縱奪隨官。出牛入死廣 利一切。姠脫色欲愛見之境。方便喚作頓超三界之佛性。此名二 理双明二義齊照。不被二邊之所動。妙用現前。是謂第二句綱宗 也。第三句知有大智。性相之本通其過量之見。明陰洞陽廓周沙 界。一真體性。大用現前。應化無方。全用全不用。全生全不 生。方便喚作慈定之門。是謂第三句綱宗也。

# 彥從不會

(元安法嗣 會元六)澧州洛浦元安禪師。一日謂門弟子曰。吾旦夕行矣。有問問諸人。若對得分付鉢袋子。曰若道這箇是。即是頭上安頭。若道不是。即斬頭覔活。堂中第一座對曰。青山不舉足。日下不挑燈。安曰。去。汝扶吾宗不起。有彥從上坐曰。去此二途請和尚不問。安曰。未在更道。彥從曰。彥從道不盡。安曰我

不管汝道不盡。曰彥從無侍者。祇對和尚。安乃歸方丈中。夜喚 彥從至曰。汝今日祇老僧甚有道理。據汝合體得先師意旨。先師 道。目前無法。意在目前。不是目前法。非耳目所到。且道那句 是賓那句是主。彥從茫然不知答。安曰苦苦。三更時眾請安代 答。安曰。慈舟不泛滄波上。劍峽徒勞放木鵝。泊然而化。

#### 法遠不去

(為山法遠也)葉縣省和尚嚴冷枯淡。衲子敬畏之。浮山遠與天衣懷在眾時特往參扣。正值雪寒。省訶罵驅逐。以至將水潑。旦過衣服皆濕。其他僧皆怒而去。唯遠懷併疊敷具整衣復坐於旦過中。省到訶曰。你更不去。我打你。遠近前云。某二人數千里特來參和尚禪。豈以一扚水潑之便去。若打殺也不去。省笑曰。你兩箇要參禪。却去掛塔。

### 道吾舞笏

(會元四)和補曰。衮州關南道吾和尚。僧問如何是祖師西來意。師以簡(笏也)揖曰喏。○雲頂山德敷禪師頌古今大意曰。道吾舞笏同人會。石鞏彎弓作者諳。(傳灯廿九)

# 秘魔擎杈

(靈湍法嗣 傳燈十)宋傳曰。名常遇。姓陰。范陽人。出家於燕北安國寺。來居五臺山之秘魔岩。即文殊降龍之所。因以為名焉。常持一木叉。每見僧來禮拜即叉却僧頸云。那箇魔魅教你去出家。那箇魔魅教你行脚。道得也叉下死。道不得也叉下死。速道。學者少有酬對。唯晉州霍山景通(即大禪佛也)。才到便越入懷中坐。師於霍山背撫三下。山便走出云。三千里外賺我來。

# 雲岩摸枕

(藥山儼法嗣)道吾問雲岩。大悲千手眼。那箇是正眼。岩曰如人夜間背手摸枕子。吾曰我會也。岩曰作麼生會。吾曰遍身是手眼。岩曰道也太煞道。祇道得八成。吾曰師兄作麼生。岩曰通身是手眼。

### 南泉指花

(傳燈八)陸亘大夫與南泉語話次。夫曰。肇法師道天地與我同根。 萬物與我一體也。甚奇怪。南泉指庭前牡丹花召大夫云。時人見 此一株花。如夢相似。

#### 曹山白酒

(良价法嗣 傳燈十七)曹山清銳問。某甲孤貧乞師拯濟。師曰銳闍梨 近前來。銳近前。師云。泉州白家酒三盞。曰。猶道未霑唇。玄 覺曰。什麼處是。與他酒喫。

### 真際清茶

(傳燈+)趙州問僧曾到此間否。僧云曾到。州云喫茶去。又問僧曾 到此間否。僧云不曾到。州云喫茶去。院主問。曾到且從。不曾 到如何喫茶去。州乃喚院主。主應諾。州云喫茶去。

# 懸泉皂角

(岩頭法嗣 會元八)黃龍山海機超惠禪師。初參岩頭問如何是祖師西來意。頭曰你還救糍麼。惠曰解。頭曰且救糍去。後到玄泉問如何是祖師西來意。泉拈起一莖皂角曰會麼。惠曰不會。泉放下皂角作洗衣勢。惠便禮拜曰信知佛法無別。泉曰你見甚麼道理。惠曰某甲曾問岩頭。頭曰你还解救糍麼。救糍也祇是解粘。和尚提起皂角亦是解粘。所以道無別。泉呵呵大笑。惠遂有省。

### 洞山苧麻

### 祐禪拈柿

(傳燈十一)仰山隨為山遊。山到盤陀石上坐。仰侍立次。忽鴉銜一紅柿落在面前。為拾與仰。仰接得洗了度與為。為曰子甚處得來。仰曰此是和尚道德所感。為云汝也不得無分。即分半與仰。玄沙云。大小為山被仰山一坐。至今起不得。

### 從展度瓜

(雪峯法嗣 會元七)保福簽瓜次。大原孚至。師云道得與汝瓜喫。孚 曰獨將來。師度與一片。孚接得便出。

### 導師金鎖

(會元三)導師云。法本不相碍。三際亦復然。無為無事人。猶是金 鎖難。

### 象骨銕枷

(會元十五)雲門謁雪峯。峯方堆桅坐為眾說法。門犯眾出熟視曰。項上三百斤銕枷何不脫却。峯曰因甚到與麼。門以手自拭其目趁出。峯心異之。明日陛座曰。南山有鼈鼻蛇。諸人出入好看。門以拄杖攛出。又自驚懷。自是輩流改觀。象骨即雪峯之別山。以形似而稱。

# 祖心叱狗

(黃龍南法嗣 僧寶傳下)隆興府黃龍寶覺初心禪師。與轉運判官夏倚公立。至論肇論會萬物為自己者及情與無情共一體時。有狗臥香卓下。師以壓尺擊狗。又擊香卓曰。狗有情即去。香卓無情自

住。情與無情如何得成一體。公立不能對。師云。纔入思惟便成剩法。何曾會萬物為己哉。

### 靈祐餵鵶

(會元九)為山餧鵶生飯。回頭見仰山曰。今日為伊上堂一上。仰曰某甲隨倒得聞。為曰聞底事作麼生。仰曰鵶作鵶鳴鵲作鵲噪。為曰爭柰聲色何。仰曰和尚適來道甚麼。為曰我祇道為伊上堂一上。仰曰為甚麼喚作聲色。為曰雖然如此驗過也無妨。仰云大事因緣又作麼生驗。為竪起拳。仰曰終是指東畫西。為曰子適來問甚麼。仰曰問和尚大事因緣。為曰為甚麼喚作指東畫西。仰曰。為著聲色故。某甲所以問過。為曰並未曉了此事。為曰寂子聲色老僧東西。

### 元珪放戒

(惠安國師法嗣 會元二)嵩嶽元珪禪師謁安國師頓悟玄旨。遂卜居岳之龐塢。一日有異人峩冠袴褶而至。從者極多。輕步徐舒。你謁大師。大師覩其容自奇偉非常。廼諭之曰。善來仁者。胡為而至。彼曰師寧識我耶。師云。吾觀佛與眾生等。吾一目之豈分別耶。曰。我此岳神也。能生死於人。師安得一目我哉。師曰。吾不生。汝焉能死吾。吾視身與空等。視吾與汝等。汝能壞空與汝乎。苟能壞空及壞汝。吾則不生不滅。汝尚不能如是。又焉能生死吾耶。神稽首曰。我亦聰明正直於餘神。詎知師有廣大智辨乎。顧授以正戒令我度世。師曰。汝既乞戒。即既戒也。所以者何。戒外無戒。又何戒哉。神曰。此理也我聞茫昧。止求師戒我身為門弟子。師即為張座秉爐正几。與授五戒酒肉婬殺盜等語。師曰。如上佛戒而無心拘執。以有心為物而無心想身。如是則先天地生不為精。後天地死不為老。廼至無我無汝孰為戒之語。神曰。我神通亞佛。師云汝神通十句。五能五不能。佛則十句。七

能三不能。神竦然避席跪啟曰。可得聞乎。師云汝能戾上帝東天 行而西七曜平。日不能。師云汝能奪地祇融五岳而結四海平。日 不能。師曰是謂五不能也。佛能空一切相成萬法智而不能即滅定 業。佛能知群有性窮億劫事而不能化導無緣。能度無量有情而不 能盡眾生界。是謂三不能也。定業亦不罕久。無緣亦謂一明。眾 生界本無增減。亘古無一人能主有法。有法無主是謂無法。無法 無主是謂無心。如我解佛亦無神通也。但能以無心通達一切法 爾。神曰我誠淺昧未聞空義。師所授戒我當奉行。今願報德展我 小神通。而使已發心初發心未發心不信心必信心五等人因我神蹤 知有佛有神。有能有不能。有自然非自然者。師云無為是無為 是。神曰。佛亦使神護法。師寧隳叛佛耶。願如意垂誨。師不得 己而言曰。東岩寺之障莾然無樹。北岫有之而背。非屏擁。汝能 移北樹於東嶺乎。神曰已聞命矣。然昏夜間必有喧動。願師無 駭。作禮而退。師門送。嵐靄烟霞紛紜間錯。幢幡環珮凌空出沒 焉。其夕果有暴風迅雷犇雲振電。棟宇搖蕩宿鳥聲喧。師謂眾**曰** 無怪。神與我約矣。詰旦和霽。則北岩松栝盡移東嶺森然行植。

# 竈墮翻邪

(會元二)嵩嶽破竈墮和尚。不稱名氏。言行叵測。隱居嵩嶽。山塢有廟甚靈。庿中唯安一竈。遠近祭不輟。牟殺物命甚多。師一日領侍僧入廟。以杖敲三下咄云。汝本泥瓦合成。聖從何來。靈從何起。又打三下。竈廼傾破。須臾有青衣峩冠設拜師前。師曰汝是何人。云我本此庿神。久受業報。今日蒙師說無生法。得脫此處。特來致謝。師云是汝本有之理。非吾強言。神再拜而沒。侍僧云。某甲久在和尚左右未蒙指示。竈神有何所得遂得昇濟。師云。我別無道理為他。只向他道。汝本泥瓦合成。聖從何來。靈從何起。侍僧默然。師云會麼。云不會。本有之性為甚不會。侍僧禮拜。師曰破也墮也。(安國師號為破竈墮)。

### 玄沙指虎

玄沙一日普請往海坑斫柴。見一虎。僧云和尚虎。師曰是汝虎。 歸院後僧問。適來見虎云是汝未審。尊意如何。師曰。娑婆世界 有四重障。若人透得。許汝出陰界。○東禪齊云。上座古人見了 道。我身心如大地虗空。如今还透得麼。

### 歸宗斬蛇

(馬祖法嗣 傳燈七)廬山歸宗寺智常禪師。有座主來參。值師鋤草 次。忽見一条蛇。師以鋤便钁。主云。久嚮歸宗。到來只見箇麤 行沙門。師云你麤我麤。主云如何是細。師作斬勢。主云恁麼則 依而行之。師云依而行之則且置。你什麼處見我斬蛇。主無語。

### 古德火抄

(會元九)巴州魯祖山寶雲禪師。尋常見僧來便面壁。南泉聞云。我尋常向僧道。向佛未出世時會取。尚不得一箇半箇。他恁麼地驢年去。○玄覺云。為復唱和。語不肯語。保福問長慶。只如魯祖節文在什麼處。被南泉恁麼道。長慶云。退己讓於人。萬中無一箇。羅山云。陳老師當時若見。背上與五火抄。何故如此。為伊解放不解放。○玄沙云。我當時若見也與五火抄。○雲居錫云。羅山玄沙總恁麼道。為復一般別有道理。若擇得出。許上坐佛法有去處。○玄覺云。且道玄沙五火抄。打伊著不著。

### 靈樹風車

(傳燈十一)韶州靈樹如敏禪師。僧問如何是西來意。師云童子莫傜 兒。僧云乞指示。師云汝從虔州來。問是什麼得恁麼難會。師云 火官頭上風車子。

### 禪苑蒙求卷之上

### 禪苑蒙求卷之中

### 能仁雙趺

(傳燈一)梵云釋迦。此言能仁。涅槃經爾時迦葉與諸弟子在耆闍崛山入于正定。於正受中忽然心驚舉身戰懷。從定中出。見諸山地皆大振動。即知如來已入涅槃。於是將諸弟子尋路疾行。悲哀速往正滿七日。至拘尸那城右遶寶棺七匝。盈目流淚說偈讚嘆。其偈云。世尊我今大苦痛。情乱昏悶迷濁心。我今為禮世尊頂。為復哀禮如來肩。為復敬禮大聖手。為復悲禮如來腰。為復敬禮如來臍。為復深心禮佛足。何因不見佛涅槃。唯願示我敬禮處。世尊大悲即現千輻輪相出於棺外回示迦葉。從千輻輪放千光明。徧照十方一切世界。然後还自入棺。封閉如故。

### 達磨隻履

(傳燈三)初祖自付法傳衣之後凡九載。示有涅槃。葬於<mark>熊</mark>耳山吳坂。後三年有魏使宋雲奉使西域。還見祖於葱嶺。手携隻履語宋雲曰。汝主已厭代。我歸西國去。雲初不解。既歸帝果崩。遂聞奏後魏孝莊帝。帝乃令發塔。但見一履遂。奉勑取於少林寺供。自開元十二年被竊去臺華嚴寺中。後亦失所在。

### 盧能賣薪

(傳燈五)惠能大師俗姓盧氏。三歲喪父。其母守志鞠養。及長家尤 貧[大/?/女]。師樵采以給。一日鬻薪於市中。聞客讀金剛經至 應無所住而生其心。悚然有省。直抵黃梅。東山五祖見而器之。

### 懶融負米

(四祖法嗣 會元二)牛頭山法融禪師者。潤州延陵人也。姓韋氏。年十九學通經史。尋閱大部般若。曉達真空。忽一日歎曰。儒道世

典非究竟法。般若正觀出世舟航。遂隱茅山。投師落髮後入牛頭 山幽棲寺北岩之石室。有百鳥临花之異。唐貞觀中四祖遙觀氣 象。知彼山有奇異之人。乃躬自尋訪。問寺僧此間有道人否。曰 出家兒那箇不是道人。祖曰阿那箇是道人。僧無對。別僧曰。此 去山中十里許有一懶融。見人不起亦不合掌。莫是道人麽。祖遂 入山。見師端坐自若曾無所顧。祖問在此作甚麼。師曰觀心。祖 曰觀是何人心是何物。師無對。便起作禮曰大德高樓何所。祖曰 **省**道不決所止或東或西。師曰還識道信禪師否。祖曰何以問他。 師曰嚮德滋久冀一禮謁。祖曰道信禪師貧道是也。師曰因何降 此。祖曰特來相訪莫更有宴息之處否。師指後面曰別有小蕃。遂 引祖至庵前。遶蕃唯見虎狼之類。祖乃舉兩手作怖勢。師曰猶有 這箇在。祖曰這箇是甚麼。師無語。少選祖却於宴坐石上書一佛 字。師視之竦然。祖曰猶有這箇在。未曉乃稽首請說真要。祖 曰。夫百千法門同歸方寸。河沙妙德總在心源。一切戒門定門慧 門神通變化悉自具足不離汝心。一切煩惱業障本來空寂。一切因 果皆如夢幻。無三界可出無菩提可求。人與非人性相平等。大道 **虐曠絕思絕慮。如是之法汝今已得更無關少。與佛何殊。更無別** 法。汝但任心自在。莫作觀行亦莫澄心。莫起貪嗔莫懷愁慮。蕩 蕩無礙任意縱橫。不作諸善不作諸惡。行住坐臥觸目遇緣。總是 佛之妙用。快樂無憂。故名為佛。師曰。心既具足。何者是佛何 者是心。祖曰非心不問佛。問佛非不心。師既不許作觀行。於境 起時心如何對治。祖曰。境緣無好醜。好醜起於心。心若不強 名。妄情從何起。妄情既不起。真心任徧知。汝但隨心自在無復 對治。即名常住法身無有變異。吾受璨大師頓教法門。今付於 汝。汝今諦受吾言。只住此山。向後當有五人達者紹汝玄化。祖 付法訖遂返双峯終。老師自爾法席大盛。唐永徽中徒眾乏粮。師 往丹陽緣化去。去山八十里。躬負米一石八斗朝往暮還。供僧三 百。二時不闕三年。(會元二。璨大師者。三祖也)

### 黄蘗吐舌

(會元三)百丈大智再參馬祖。祖見來竪起拂子。丈云只觸此用離此用。祖以拂子掛舊處。良久云汝以後開兩片皮將何為人。丈亦竪起拂子。祖云只觸此用離此用。丈亦掛舊處。祖便振威一喝。丈大悟。直得三日耳聾。後黃蘗來參。舉此遂聞吐舌。

### 丹霞掩耳

(傳燈十四)鄧州丹霞天然禪師。初參石頭因緣相契。躬執爨役凡三年。忽一日石頭告眾曰。來日剗佛殿前草。至來日大眾與童行各備鍬钁剗草。唯師以盆盛水洗頭於和尚前胡跪。石頭見而笑之便與剃髮。方與說戒法師乃揜耳而去。後謁馬祖。入僧堂騎聖僧項。眾皆驚呼。祖見之曰。我子天然。下來。師下作禮曰謝賜名。

### 龍牙行拳

(悟本法嗣 傳燈廿七) 龍牙僧問十二時中如何著力。師曰如無手人欲 行拳始得。

# 俱胝竪指

(天龍法嗣 傳燈十一)務州金華山俱胝和尚。始以庵居。以尼實際激厲其志。方有慕大之心。俄然天龍至菴。因是具陳實際到菴之緣。扣之天龍竪一指示之。師即領悟。將示寂之秋謂眾曰。吾得天龍一指頭禪。一生用不盡。言訖奄化。

### 提婆赤幡

(碧巖二)第十五祖迦那提婆大士。初得法已。至巴連弗城。聞諸外道欲障佛法。許之既久。大十乃執長幡入彼眾中。其幡八尺竿長

丈二。於彼而立更不移步。外道曰汝何不前。曰汝何不後。外道 曰汝似賤者。曰汝似良人。外道曰汝解何法。曰汝百不解。外道 曰我欲得佛。曰我灼然得。外道曰汝不合得。曰。元道我得。汝 實不得。外道曰汝既不得云何言得。曰。汝有我故所以不得。我 無我故自當得佛。彼既辭屈乃問曰汝名何等。曰我名提婆。外道 素聞其名乃悔過致謝。梵曰提婆此云天。

### 玄沙白紙

(會元七)玄沙令僧馳書。僧上雪峯。峯上堂開緘見三幅白紙乃呈示大眾云會麼。良久云不見道君子千里同風。僧歸舉似玄沙。沙曰山頭老漢蹉過也不知。

### 茂源掩鼻

(性空法嗣 傳燈十五)天台平田普岸禪師甞訪歙州茂源和尚。源才起迎。岸近前把住云。開口即失閉口即喪。去此二途請師別道。源以手掩鼻。岸放開云一步較易兩步較難。源云著甚死急。岸云若不是師不免諸方撿點。

# 石霜咬齒

(傳燈五)石霜僧問如何是祖師西來意。師乃齩齒示之。僧不會。後 問九峯曰先師咬齒意旨如何。峯曰我寧可截舌不犯國諱。又問雲 盖。盖曰我與先師有甚麼冤讎。

### 汾陽六人

(會元十一)汾州太子院善照禪師。天下道俗慕仰不敢名同曰汾州。 并汾池苦寒。師罷夜參。有異比丘振錫而至謂師曰。會中有大士 六人。奈何不說法。言訖陞堂而去。師密記以偈曰。胡僧金錫 光。請法到汾陽。六人成大器。勸請為敷揚。

#### 洞山三子

(雲岩量晟嗣碧岩九)洞山曰。貪嗔癡。太無知。賴我今朝識得伊。行時便打。坐時便搥。分付心王子細推。無量劫來不解脫。問汝三人知不知。神鼎諲曰。古人與麼道。神鼎則不然。貪嗔癡。實無知。十二時中任從伊。行時即往。坐時即隨。分付心王擬何為。無量劫來元解脫。何須更問知不知。

#### 招慶煎茶

(道閑法嗣 傳燈廿二)王太傅入。招慶煎茶。時朗上坐與明招把茶銚 朗翻却茶銚。太傅見問上坐茶爐下是什麼。朗云捧爐神。太傅 云。既是捧爐神。為什麼飜却茶銚。朗云仕官千日失在一朝。太 傅拂袖便去。明招云。朗上坐。招慶飯了却去江外打野榸。朗云 和尚作麼生。招云非其人得其便。

# 雲岩拂地

(藥山儼法嗣 傳燈十四)雲岩掃地次。道吾曰太區區生。師云須知有不區區者。吾曰恁麼則有第二月也。師竪起掃帚曰是第幾月。吾便行。玄沙聞云。正是第二月。

# 禪鑑符讖

### 青州應記

(大陽玄法嗣)(下卷在青續太陽處)和補曰。僧寶傳第十七云。投子義青禪師。本社人。李氏子也。移住投子云云。初開山慈濟。有記

曰。吾塔若紅是吾再來。邦人偶修飾其塔作瑪瑙色。未幾青領院 事。

### 首山綱要

(風穴法嗣 僧寶傳三)汝州首山省念禪師。綱宗偈曰。咄哉拙郎君(汾陽注曰。素潔條然)。巧妙無人識(運機非面目)。打破鳳林關(蕩盡玲瓏性)。著靴水上立(塵泥自異)。咄哉巧女兒(汾陽曰。妙智理分融)。攛梭不解織(無間巧不立)。看他鬪鷄人(旁觀審騰距。爭功不自傷)。水牛也不識(全力能負。不露頭角)。

### 明安宗旨

(梁山靈觀嗣僧寶傳十三)明安曰。體妙失宗者滯在語路。句失宗旨。 機昧終始者謂當機暗昧。只在語中。宗旨不圓。句句須是有語中 無語。無語中有語。始得妙旨密圓也。

### 法華赴齋

(僧寶二+)法華志言大士者。莫知其所從來。初見之於景德寺七俱 胝院。梵相奇古直視不瞬。口啄袞袞不可識相。傳言誦法華經。 故以為名。至和三年仁宗始不豫國。嗣未立。天下寒心。上夜焚 香默禱曰。翌日化成殿具齋虔請法華大士俯臨無却。清旦上道衣 凝立以待。俄馳奏言法華自右腋門徑趨至寢殿。侍衛呵止不可。 上笑曰朕請而來也。有頃至輙升御榻跏趺而坐。受供訖將去。上 曰。朕以儲嗣未立。大臣咸以為言。侵尋晚暮嗣息有無。法華其 一決之。師索筆引帋連書曰。十三十三凡數十行。擲筆無他語。 皆莫測其意。其後英宗登極。乃蹼安懿王第十三子。方驗前言 也。

# 德普預祀

(夾山善會嗣僧寶傳廿九)禾山德普禪師。元祐五年十二月廿五日謂左右曰。諸方尊宿死。叢林必祭。吾以為徒虗設。吾若死。汝曹當先祭。乃令從今辦祭。眾以其老又好戲語。復云和尚幾時遷化。曰汝輩祭絕即行。於是幃寢堂坐。師其中置祭讀文跪揖上食。師飫飡自如。自門弟子下及莊力日次為之。至明年元日祭絕曰。明日雪晴乃行。至時晴忽雪。雪止。師安坐焚香而化。

#### 長沙猛虎

(南泉法嗣 傳燈十)湖南長沙景岑禪師與仰山翫月次。山曰。人人盡有者箇。只是用不得。師云恰是請汝用。山云汝作麼生用。師攔胸一蹋蹋倒。山起來云你直下似筒大虫。自此諸方号為岑大虫。

### 百丈野狐

(會元三)百丈禪師每上堂。有一老人隨眾聽法。一日眾退唯老人不去。師問汝是何人。老人曰。某非人也。於過去迦葉佛時曾住此山。因學人問大修行底人還落因果也無。某對曰不落因果。遂五百生墮野狐身。今請和尚代一轉語貴脫野狐身。師云汝問。老人曰大修行底人還落因果也無。師云不昧因果。老人於言下大悟。作禮曰。某已脫野狐身。住在山後。敢乞依亡僧法送。師令維那白椎告眾。食後送亡僧。大眾聚議。一眾皆安。涅槃堂又無病人。何故如是。食後師領眾至山後岩下。以杖挑出一死野狐。乃依法火葬。師至晚上堂舉前因緣。黃蘗便問。古人錯祇對一轉語。墮五百生野狐身。轉轉不錯合作箇甚麼。師曰近前來向汝道。蘗近前打師一掌。師拍手笑云。將謂胡鬚赤。更有赤鬚胡。為山舉問仰山。仰云黃蘗常用此機。為云。汝道天生得。從人得。仰曰。亦是稟受師承。亦是自性宗通。為曰如是如是,時為山在會下作典座。司馬頭陀舉野狐話問典座作麼生。座臧門扇三下。司馬曰大麤生。座曰佛法不是這箇道理。

#### 汾陽師子

(會元十一)汾州上堂謂眾曰。汾陽門下有西河師子當門踞坐。但有來者即便咬殺。有何方便入得汾陽門見得汾陽人。若見汾陽人者堪與祖佛為師。不見汾陽人盡是立地死漢。

### 江西馬駒

(會元三)馬大師。諱道一。生漢州什仿。姓馬氏。六祖謂南岳曰。 向後佛法從汝邊去。生一馬駒子蹈殺天下人。師道行江西。時人 稱之為馬祖。

### 紫胡獰狗

(南泉法嗣 會元四)衢州子湖岩利蹤禪師。一日上堂云。子湖有一隻狗。上取人頭。中取人心。下取人足。擬議即喪身失命也。僧問如何是子湖一隻狗。師曰嘷嘷。

### 三聖瞎驢

(臨濟法嗣 會元十一)臨濟臨遷化時據坐云。吾滅後不得滅却吾正法 眼藏。三聖出云爭敢滅却和尚正法眼藏。濟云已後有人問你向他 道什麼。三聖便喝。濟云誰知吾正法眼藏向這瞎驢邊滅却。言訖 端然示寂。

### 懶安白牯

(百丈海法嗣 傳燈九)福州長慶大安禪師。號懶安。郡之陳氏子。受業於黃蘗山習律乘。甞自念言我雖勤苦而未聞玄極之理。乃孤錫遊方。將往洪井路出上元。逢一老父謂師曰師往南昌當有所得。師即造百丈禮而問曰。學人欲來識佛。何者即是。曰大似騎牛覔牛。師曰識得後如何。丈曰如人騎牛至家。師曰未審始終如何保

任。丈曰如牧牛人執杖視之不令犯人苗稼。師自茲領旨更不馳求。同參祐禪師創居為山。師躬耕助道。及祐歸寂眾請接踵住持。上堂。汝諸人總來就安求覔甚麼。若欲作佛。汝自是佛。擔佛傍家走。如渴鹿趂陽燄相似。何時得相應去。汝欲作佛。但無許多顛倒攀緣妄想惡覺。垢淨眾生之心便是初心正覺佛。更向何處別討。所以安在為山。卅年來喫為山飯。屙為山屎。不學為山禪。祇看一頭水牯牛。若落路入草便把鼻孔拽轉來。纔犯人苗稼即鞭撻調伏。既久可憐生受人言詮。今變作箇露地白牛。常在面前。終日露逈逈地称不去。

#### 佛嶼花奴

(馬祖法嗣 傳燈八)溫州佛嶼和尚。僧問如何是異類。師敲椀云花奴 花奴喫飯來。

### 南山鼈鼻

(傳燈十六)見前象骨銕枷之處。

### 東海鯉魚

(雲門錄)見前乾峯一路之下。

# 國師塔樣

(六祖法嗣 會元二)西京光宅寺惠忠國師。以化緣將畢涅槃時至。乃辭代宗。代宗曰師滅後弟子將何所託。師曰告檀越造取一所無縫塔。曰就師請取塔樣。良久曰會麼。曰不會。師云貧道去後有侍者應真却知此事。師滅後代宗詔應真入內舉問前話。真良久曰聖上會麼。曰不會。述偈曰。湘之南。潭之北。中有黃金充一國。無影樹下合同船。瑠璃殿上無知識。

### 資福韈模

(如寶法嗣 禪林類聚十五)和補曰。鴿湖禪師初開堂日。資福令人送 韈模與師。師書火字封還。資福開封見。皺眉久不語。鹿苑和尚 書一圓相。福云拘尸那國親行此令。

#### 鹽官索扇

(馬祖法嗣 會元三)杭州鹽官鎮國海昌禪院齊安禪師。一日喚侍者與 我將犀牛扇子來。者云扇子已破。師曰扇子既破還我犀牛兒來。 者無對。

### 仰嶠呈珠

(傳燈九)東邑因仰山來參問云汝何處人。山云廣南人。邑云廣南有鎮海明珠是否。山云是。明邑云此珠作何形。山曰白月則現黑月則隱。邑曰汝將得來否。山云將得來。邑云何不呈似老僧。山云。昨到為山亦就惠寂索此珠。直得無言可對。無理可伸。邑云真師子兒作大師子吼。

### 長慶淘金

(雪峯法嗣 會元七)長慶僧問。眾生淘金。誰是得者。師曰有伎倆者。曰學人還得也無。師曰大遠在。

### 伏牛下書

伊闕伏牛山自在禪師與大寂送書與忠國師。國師問曰馬大師以何法示徒。對曰即心即佛。國師曰是甚麼語話。良久又問。此外更有甚麼言教。師曰非心非佛或云不是心不是佛不是物。國師云。馬大師即恁麼。不審和尚此間如何。國師曰。三点如流水。曲似刈禾鎌。師後隱于伏牛山。此二句心字也。

#### 惠然透網

(傳燈十二)鎮州三聖院惠然禪師問雪峯云。透網金鱗以何為食。峯云待你透出網來即向你道。師云一千五百人善知識話頭也不識。

### 希運捋鬚

(會元十一)見前黃蘗一掌之下。

### 傳明散眾

(船子法嗣 傳燈十五)夾山會禪師<mark>諡</mark>傳明大師。散眾之事見船子得鱗處。

### 慈受棄徒

(會元十六)東京惠林懷深慈受禪師。祝髮後四年訪道方外。依淨照於嘉禾資聖。照舉良遂見麻谷因緣問曰。如何是良遂知處。師即洞明。出住資福屨滿戶外。蔣山佛鑑懃禪師行化至退。師引巡寮至千人街坊。鑑問既是千人街坊為甚麼祇有一人。師云多虗不如少實。鑑云恁麼那。師赧然。偶朝廷以資福為神霄宮(道士宮也)。因棄往蔣山留西庵。陳請益鑑曰資福知是般事便休。師云某實未穩望和尚不外。鑑舉倩女離魂話反覆窮之。大豁疑礙。呈偈曰。祇是舊寺行履處。等閑舉著便誵訛。夜半一陣狂風起。吹落桃花知幾多。鑑拊几曰。這底豈不是活祖師意。未幾被旨住焦山。

# 三峰玉琯

(會元十一)臨濟行脚時到三峯平和尚處。平問甚處來。濟曰黃蘗來。平曰黃蘗有何言句。濟曰。金牛昨夜遭塗炭。直至如今不見蹤。平曰。金風吹玉管。那箇是知音。濟曰。直透萬重關。不住

青霄內。平曰子這一問太高生。濟曰。龍生金鳳子。衝破碧瑠璃。平曰且坐喫茶。

### 大哥金鋤

(青林虔嗣會元十三)襄州石門献蘊禪師。京兆人也。初問青林如何用 心得齊於諸聖。林仰面良久曰會麼。師曰不會。林曰去無子用心 處。師禮拜乃契悟。更不佗遊。遂作園頭。一日歸侍立次。林曰 子今日作甚麼來。師云種菜來。林曰徧界是佛身子向甚處來種。 師云金鉬不動土靈苗在處生。林欣然。來日入園喚蘊闍梨。師應 諾。林曰。剩栽無影樹。留與後人看。師曰若是無影樹豈受栽 耶。林曰。不受栽且止。你曾見他枝葉麼。師云不曾見。林曰既 不曾見爭知不受栽。師云祇為不曾見所以不受栽。林曰如是如 是。初住南岳蘭若。未幾遷夾山。道由潭州時楚王馬氏出城延 接。便問如何是祖師西來大意。師云。好大哥。御駕六龍千古 秀。玉街桃仗出金門。王大喜延入天冊府供養數日。方至夾山僧 問如何是西來意。師曰。玉璽不離天子手。金箱豈許外人知。問 不落機關請師便道。師曰。湛月環機無可比。君今曾問幾人來。 日即今問和尚。師云。好大哥。雲綻不須落九尾。怒君殘壽揀歸 絲。師以蠻夷作亂遂離夾山。至襄州創石門寺再振玄風。僧問月 牛雲際時如何。師曰三箇孫兒抱華皷。好大哥。莫來攔我毬門 路。師應機多云好大哥。時稱大哥和尚。

### 德山行棒

(傳燈十五)朗州德山宣鑒禪師。凡見僧入門便棒。○和補曰。傳燈第十五云。師云。尋常遇僧到參多以拄杖打。臨濟聞之遣侍者來參。德山若打汝。但接取拄杖當胸一拄。侍者到方禮拜乃打。侍者接得拄杖與一拄。師歸方丈。侍者迴舉似。臨濟云從來疑遮箇漢。

#### 臨濟下喝

(人天眼目)臨濟凡見僧入門便喝〇和補曰。人天眼目云。師謂僧曰。有時一喝如金剛王寶劒。有時一喝如踞地師子。有時一喝如探竿影草。有時一喝不作一喝用。汝作麼生會。僧擬議。師便喝。

### 趙州布衫

(傳燈+)趙州僧問萬法歸一一歸何處。師云我在青州作一領布衫重七斤。

### 普化直裰

(傳燈十)普化一日於街市中就人乞直裰。人皆與之。師俱不要。臨濟令院主買棺一具。師歸來。濟云與汝做得箇直裰了也。師便自擔去繞街市叫云。臨濟與我做直裰了也。我往東門遷化去。市人競隨看之。師云我今日未來日往南門遷化去。如是三日人皆不信。至第四日無人隨看。獨出城外自入棺內倩路行人釘之。即時傳布。市人競往。開棺乃見全身脫去。祇聞空中鈴響隱隱而去。

# 佛日茶籃

(會元十三)杭州佛日本空禪師。行脚時到夾山。夾山一日普請次。 維那命師送茶。師云某為佛法來不為送茶來。那云和尚令請上 座。師云和尚即得。師乃將茶去作務處。見夾山遂撼茶椀作聲。 山不顧。師云。釅茶三五椀。意在钁頭邊。山云。缾有傾茶勢。 籃中幾箇漚。師云缾有傾茶勢籃中無一漚。便傾茶。大眾俱以目 視之。師云大眾鶴望乞師一言。山云。路逢死蛇莫打殺。無底籃 子盛將來。師云。手執夜明符。幾箇知天曉。山召大眾。已有人 也。歸去來。乃住普請。

### 道者酒榼

(林間錄下)宗道者不知何許人。往來舒蘄間多留於投子。性嗜酒無日不醉。村民愛敬之每飽以醇醪。居一日方入浴。聞有尋宗者。度其必送榼至。課而出得酒徑去。人皆大笑而宗傲然不作。甞散衣下山。有逆而問者如何是道者家風。對云袈裟褁草鞋。意旨如何。日赤脚下相城。陳退夫初赴省愇過宗。戲問曰。瓘此行欲作狀元得否。宗熟視曰無時即得。莫測其言也。而退夫果以第三名上第時彥作魁。方悟無時之語。宗見雪竇而超放自如。言法華之流也。

### 香林一燈

(雲門法嗣 傳燈廿二)益州青城香林院澄遠禪師。僧問如何是室內一 盞燈。師云三人證龜成鼈。

### 賢女三物

(會元一)七賢聖女姉妹同遊屍陀林。一姉指屍曰。屍在這裏人在甚處。諸姉諦觀悉皆悟道。感帝釋雨花贊歎曰。諸姉有何所須我能給施。女曰。我家四事七珍具足唯要三般物。一無根樹一株。二無陰陽地一片。三呌不應谷一所。帝釋曰。一切所須我悉有之。若此三物我實無之。遂同往白佛。佛言。我諸弟子不解此義。唯諸菩薩乃解此義。

### 石頭碌磚

(青原法嗣 傳燈十四)南岳石頭希遷禪師於唐天寶荐之衡山南寺。寺之東有石狀如臺乃結菴其上。時號石頭和尚。僧問如何是禪師。 云碌塼。問如何是道。師云木頭。

#### 雲門屎橛

(雲門錄)僧問雲門如何是佛。師云乾屎橛。

### 二僧卷簾

(傳燈廿四)法眼因僧齋前上參。師以手指簾。時有二僧同去卷簾。 師云一得一失。

### 三老翫月

(會元三)馬祖與百丈西堂南泉翫月次。祖曰正當與麼時如何。堂曰正好修行。丈曰正好供養。泉拂袖便行。祖曰。經入藏。禪歸海。唯有南泉獨超物外。

#### 惠滿二針

(傳燈三)相州隆化寺惠滿禪師。志存儉約唯畜二針。冬則乞補夏則 捨之。自云。一生心無怯怖。身無螽虱。睡而不夢。常行乞食。 住無再宿。所至伽藍破紫製履。

### 古德三韈

(會元三)和補曰。藥山惟儼禪師。一日馬祖問子近日見處作麼生。師曰。皮膚脫落盡。唯一真實存。祖曰。子之所得可謂協於心體布於四肢。既然如是。將三條篾束取肚皮隨處住去。

# 演師禮字

五祖法演禪師在受業寺逐字禮蓮經。一夕遇屎字。欲唱禮遽疑。 乃白諸老宿曰。如何屎字亦稱為法寶。某禮至此疑不自解。老宿 曰。據汝所問可以南詢。汝正是宗門中根器也。祖遂南遊。

### 行者唾佛

(會元六)有一行者隨法師入佛殿。行者向佛而唾。法師曰。行者少去就何以唾佛。行者曰將無佛處來與某甲。無對。

### 東坡解帶

(東林弟子會元十六)南康軍雲居山了元佛印禪師。一日與學徒入室次。適東坡居士到面前。師云。此間無坐榻。居士來此作甚麼。士曰暫借佛印四大為坐榻。師云。山僧有一問。居士若道得即請坐。道不得即輸腰下玉帶子。士欣然曰便請。師云居士適來道暫借山僧四大為坐榻。祇如山僧四大本空五陰非有。居士向甚麼處坐。士不能答。遂留玉帶。師却贈以雲山衲衣。士乃作偈曰。百千燈作一燈光。盡是恒沙妙法王。是故東坡不敢惜。借君四大作禪床。病骨難堪玉帶圍。鈍根仍落箭鋒機。會當乞食歌姬院。奪得雲山舊衲衣。此帶閱人如傳舍。流傳到我亦悠哉。錦袍錯落猶相稱。乞與佯狂老萬回。

# 裴休納笏

(黃蘗弟子禪林類聚十七)石霜諸禪師。裴相國來。師拈起裴笏問。在 天子手中為珪。在老僧手中且道喚作甚麼。裴無對。師乃留下 笏。

### 舜老民衣

(洞山聰法嗣 僧寶傳中)雲居舜老夫住棲賢。郡將貪墨。師不忍以常住物結情固位。尋有讚於郡將。民其衣。乃寓太平庵。仁廟聞其道行。復以僧服寵銀鉢盂。再領棲賢。入院有偈曰。無端被讚枉遭迍。半載有餘作俗人。今日再歸三峽寺。幾多道好幾多嗔。

### 芙蓉束髮

(投子青法嗣 僧寶傳中)和補曰。芙蓉道揩禪師。大觀元年開封尹李孝壽奏楷道行卓冠叢林。宜有以褒顯。即賜紫伽梨。號定照禪師(云云)。後遭罪著縫掖束髮。〇楷焚香謝恩罷。上表辭之曰。伏蒙聖慈。特差彰善閤祗候譚[袖-由+真]賜臣定照禪師號及紫衣牒一道。臣感戴睿恩。已即時焚香升座仰祝聖壽。訖伏念臣行業迂疎道力綿薄。常發誓願不受利名。堅持此意積有歲年。庶幾如此傳道後來。使人專意佛法。令雖蒙吳恩。若遂忝買則臣自違素願。何以教人。豈能仰稱陛下所以命臣住持之意。所有前件恩牒不敢祗受。伏聖慈察臣微悃。非敢飾詞特賜俞允。臣沒齒行道。上報天恩。下下聞之以付李孝壽躬往諭朝旌善之意。而楷確然不回。開封尹具以聞。上怒以付有司。有司知楷忠誠而適犯天威。問曰長老枯悴有疾乎。楷曰平日有疾今實無。又曰言有疾即於免罪譴。楷曰豈敢僥倖而求脫罪譴乎。吏太息於受罸著縫掖編管溜州都成。道俗見者流。

### 思大吞佛

(北齊惠文弟子會元二)寶誌令人傳語與思大曰。何不下山教化眾生。 目視雲漢作甚麼。師曰三世諸佛被我一口吞盡。有何眾生可度。

# 大士講經

(傳燈廿七)梁武帝請傅大士講金剛經。大士纔陞座以尺揮案一下便下座。武帝愕然。志公問陛下還會麼。帝云不會。志公云大士講經章。

### 老盧幡動

(會元七)六祖自傳衣之後。至儀鳳初。屆南海遇印宗法師於法性寺講涅槃經。祖寓止廊廡間。因風揚剎竿旛動。聞二僧對論。一云幡動。一云風動。往復數回曾未契證。祖云可容俗士預高論不。僧曰試為說看。祖云。不是風動。不是幡動。仁者心動。僧於言下大悟。印宗竊聆此語。竦然異之。

#### 僧伽鈴鳴

(會元十一)伽耶舍多初見十七祖僧伽難提時。持一寶鑑趨迎於前。 難提問云汝持圓鑑意欲何為。舍多童子乃以偈答曰。諸佛大圓 鑑。內外無瑕翳。兩人同得見。心眼皆相似。父母以其與難提應 對有異。遂使之出家。難提受之携還精舍。他日風撼其殿之銅鈴 鐺然發聲。復問曰。鈴鳴乎。風鳴耶。答曰非風非鈴我心鳴爾。

# 麻谷振錫

(馬祖法嗣 傳燈五)麻谷持錫到章敬。遶禪床三匝。振錫一下卓然而立。敬云是是。麻谷又到南泉。遶禪床三匝。振錫一下卓然而立。泉云不是不是。麻谷云。當時章敬道是。和尚為什麼道不是。泉云。章敬即是。是你不是。此是風力所轉。終成敗壞。

# 普化搖鈴

(傳燈十)鎮州普化和尚者不知何許人也。師事盤山。密受真訣而佯狂。出言無度。暨盤山順世乃於此地行化。或城中或塚間。振一鐸曰。明頭來明頭打。暗頭來暗頭打。四方八面來旋風打。虗空來連架打。一日臨濟令僧捉住曰。總不恁麼來時如何。師拓開云。來日大悲院裡有齋。僧回舉似濟。濟曰我從來疑著這漢。凡見人無高下皆振鐸一聲。時號普化和尚。或將鐸就人耳邊振之。或拊其背。有回顧者即展手曰。乞我一錢。師甞於闤誾間搖鐸唱

云。覔箇去處不可得。時道吾遇之。把住問曰。汝擬去甚處。師曰汝從甚麼處。吾無語。師製手便去。

### 隱山晦迹

(馬祖法嗣 傳燈八)潭州龍山禪師。亦名隱山。洞山价禪師初遊方。 與密伯師者偕行。經長沙龍山之下。見溪流菜葉。价回瞻峯巒深 透謂密曰箇中必有隱者。乃並溪而進十許里。有老僧癯甚以手加 額呼曰。此間無路。汝輩何自而至。价曰無路且置庵主自何而 入。曰我不曾雲水。价曰庵主住山幾計時。曰春秋不涉。价曰庵 主先住耶。曰不知。价曰為什麼不知。曰我不曾人天來。价曰得 何道理便爾住山。曰。我見泥牛鬪入海。直至而今無消息。价即 班密之下而拜之問如何是主中賓。曰青山覆白雲。又問如何是主 中主。曰長年不出戶。又問主賓相去幾何。曰長江水上波。又問 賓主相見有何言說。曰清風拂白月。价再拜求依止。老僧笑云。 三間茆屋從來住。一道神光萬境閑。莫作是非來辨我。浮生穿鑿 不相關。於是自焚其庵深入層峯。

# 洞山除名

(量晟法嗣 傳燈十五)洞山將圓寂謂眾云。吾閑名世誰為吾除得。眾皆無對。時沙彌出曰。請和尚法號。師曰吾閑名已謝。

### 盧陵米價

(會元五) 青原僧問如何是佛法大意。師云盧陵米作什麼價。

### 偃溪水聲

(會元七)玄沙因鏡清來參問學人乍入叢林乞師指箇入處。沙云還聞 偃溪水聲麼。清云聞。沙云從者裏入。清忽大悟。

#### 大士側坐

双林傳云。善惠大士受武帝請於重雲殿講三惠般若。王公貴人或見大士坐不正。問曰何不正坐。答曰正人無正性。側人無側心。

### 道者横行

(德山遠法嗣 會元十五)廬山開先善暹禪師。臨江軍人也。操行清苦。徧游師席。以明悟為志。參德山。見山上堂顧視大眾曰。師子嚬呻。象王回顧。師忽有省。入室陳所解。山曰。子作麼生會。師回顧曰。後園驢喫草。山然之。後至雪豆。豆與語。喜其超邁。目曰海上橫行暹道者。遂命分座。四方英衲敬異之。

#### 智岩懸囊

(牛頭融法嗣 會元二)牛頭山智岩禪師者。曲河人也。姓華氏。弱冠智勇過人。身長七尺六寸。隋大業中為郎將。常以弓挂漉濾水囊隨行。所至汲用。累從大將往討。頻立戰功。唐武德中年四十。遂乞出家。

# 惠忠掛鐺

(牛頭智威嗣會元二)惠忠禪師。平生一衲一鐺。常有供僧穀兩廩。三 虎為之守。靈異甚夥。度人亦甚眾。

### 佛日豆爆

(雲居膺法嗣 傳燈二十)佛日禪師參夾山。山問什麼處來。師曰雲居來。山曰即今在什麼處。師云在夾山頂上。山曰老僧行年在坎五鬼臨身。師上階禮拜。山問闍梨與什麼人同行。師云木上坐。山曰何不來相看。師云和尚看他有分。山曰在什麼處。師云在堂中。山相共下堂。師乃取拄杖擲山前曰。莫從天台得來否。師云

非五岳之所生。山曰莫從須彌山得來否。師云月宮亦不逢。山曰 恁麼即從人得也。師曰自己尚是冤家從人得堪作什麼。山曰冷灰 裏有一粒豆爆。喚維那來。明窓下安排著。

### 典座蟲生

(傳燈十五)石霜諸禪師初造大為。願藉名役作勤勞杵臼間甚久。祐見之簸處曰。檀信物不可拋撒。曰不敢。祐俯拾得一粒曰此非拋撒者耶。師擬對之。祐曰勿輕此一粒。百千粒從此粒生。曰即如是此粒從何生乎。祐為大笑。明日陞座曰。大眾。米裡有蟲。

#### 惠可了了

(傳燈三)初祖初居少林寺九年。為惠可說法祇教曰。外息諸緣。內心無喘。心如墻壁。可以入道。師種種說心性理道未契。祖祇遮其非。不為說無念心體。師云我已息諸緣。祖曰莫不成斷滅去否。師云不成斷滅。祖云何以驗之去不斷滅。師曰了了常知故言之不可及。祖云此是諸佛所傳心體更勿疑也。

# 瑞岩惺惺

台州瑞岩彥禪師。一生常坐。喚主人公。復自應諾。乃云惺惺著。向後莫被人欺瞞。後有僧到玄沙舉似。沙云。一等是精靈也甚奇怪。沙復云何不且在彼中。僧云已遷化了。沙云而今喚應否。僧無對。沙云蒼天蒼天。

# 慈道罐破

### 文悅盆傾

(大墨守芝嗣僧寶傳下)雲峯文悅禪師坐後架架下。東破桶盆自架而 墮。忽開悟。頓見芝從前用處。走搭伽梨上寢堂。芝迎笑云。維 那且喜大事了畢。師再拜汗下。不及叶一詞而去。服勤八年。

官人千眾

惠安單丁

清凉十願

(華嚴第四之祖)和補曰。清凉國師澄觀。字大休。會稽人。姓夏侯氏。即以十事自勵曰。休不損沙門之表。心不違如來之制。坐不背法界之經。性不染情礙之境。足不履尼寺之塵。脇不觸居士之榻。目不視非義之綵。舌不味過午之餚。手不釋圓明之珠。宿不離衣鉢之側(云云)。見六學僧傳。

### 達磨四行

(傳燈三十)達磨大師略辨大乘入道四行。夫入道多途。要而言之不出二種。一是理入。二是行入。理入者調藉教悟宗。深信含生同一真性。但為客塵妄想所覆。不能顯了。若也捨妄歸真。凝住壁觀。無自無他。凡聖等一。堅住不移。更不隨於文教。此即與理冥符。無有分別。寂然無為。名之理入。行入者謂四行。其餘諸行悉入此中。何等四耶。一報冤行。二隨緣行。三無所求行。四稱法之行。云何報冤行。謂修道行人若受苦時。當自念言。我從往昔無數劫中。棄本從末流浪諸有。多起冤憎違害無限。今雖無犯。是我宿殃惡業果熟。非天非人所能見知。甘心忍受都無冤訴。經云。逢苦不受。何以故。識達故。此心生時與理相應。体冤進道。故說言報冤行。二隨緣行者。眾生無我並緣業所傳。苦樂齊受皆從緣生。若得勝報榮譽等事。是我過去宿因所感。今方得之緣盡還無。何喜之有。得失從緣。心無增減。真風不動冥順於道。是故說言隨緣行也。三無所求行者。世人長迷。處處貪著。名之為求。智者悟真理將俗反。安心無為形隨運轉。萬有斯

空無所願樂。功德黑暗常相隨逐。三界久居猶如火宅。有身皆苦誰得而安。了達此處。故舍諸有息想無求。經云有求皆苦無求乃樂。判知無求真為道行。故言無所求行也。四稱法行者。性淨之理目之為法。此理眾相斯空。無染無著無此無彼。經云法無眾生離眾生垢故。法無有我離我垢故。智者若能信解此理。應當稱法而行。法體無慳。於身命財行檀捨施。心無恡惜。達解三空不倚不著。但為去垢。稱化眾生而不取相。此為自行復能利他。亦能莊嚴菩提之道。檀施既爾餘五亦然。為除妄想修行六度而無所行。是為稱法行。

#### 長髭功德

(傳燈十四)長髫曠禪師初參石頭。頭問甚麼處來。曰大庾嶺頭來。 曰嶺頭一鋪功德成就也未。曰成就了只欠點眼。曰莫點眼否。曰 便請。石頭垂下一足。師便禮拜。曰見什麼道理禮拜。曰如紅爐 一点雪。

### 黃梅佛性

(傳燈十三)五祖大滿禪師因有一居士姓盧名惠能。自蘄州來參。師 云汝自何來。曰嶺南。師曰欲須何事。曰唯求作佛。師云。嶺南 人無佛性。若為得佛。曰。人有南北。佛性豈然。師知是異人。 廼呵曰著槽廠去。能禮足而退。便入於杵臼之間服勞。

### 善財採藥

(會元二)文殊令善財採藥云。是藥採將來。善財拈起一枝草度與文殊。文殊接得示眾云。此藥亦能殺人亦能活人。

# 大慈識病

(百丈法嗣 會元四)杭州大慈寰中禪師。示眾云。山僧不解答話。只 是識病。時有僧出。師便歸方丈。

### 馬祖展足

(傳燈八)鄧隱峯一日推車次。馬祖展脚在路上坐。峯云請師收足。祖云已展不縮。峯云已進不退。廼推車碾損祖脚。祖歸法堂執斧子云。嫡來碾損老僧脚底出來。峯便出於祖前引頸。祖廼置斧。

### 大覺引頸

(禪林類聚十七)和補曰。魏府大覺禪師。僧問學人仗鏌鎁劒擬取師 頭時如何。師便引頸。僧云斬。便打。

#### 露祐陽瓶

(會元九)百丈海禪師因司馬頭陀自湖南來謂丈曰。頃在湖南尋得一山。名大為。是一千五百人善知識所居之處。丈曰老僧住得否。陀曰非和尚所居。丈曰何也。陀曰。和尚是骨人。彼是肉山。居徒不盈千。丈曰吾眾中莫有人住得否。陀曰待歷觀之。時華林覺為第一座。丈令侍者請至。問曰此人如何。陀請謦欬一聲行數步。陀曰不可。丈又令喚靈祐禪師。師時為典座。陀一見乃曰。此正是為山主人也。丈是夜召師入室囑曰。吾化緣在此。為山勝境汝當居之。嗣續吾宗廣度後學。而華林聞之曰。某甲恭居上首。典座何得住持。丈曰。若能對眾下得一語出格。當與住持。即指淨瓶問曰。不得喚作淨瓶。汝喚作什麼。林曰不可喚作木揆也。丈乃問師。師踢倒淨瓶便出去。丈笑曰。第一座輸却山子也。師遂往焉。是山峭絕敻無人煙。猿猱為伍橡栗充食。經于五七載。絕無來者。師自念言。我本住持為利益於人。既絕往還自善何濟。即捨庵而欲他往。行至山口見蛇虎狼豹交横在路。師云。汝等諸獸不用攔吾行路。吾若於此山有緣。汝等各自散去。

吾若無緣。汝等不用動。吾從路過一任喫。言訖蟲虎四散去。師乃回庵。未及一載。安上座(即懶安也)同數僧從百丈來輔佐於師。安曰。某與和尚作典座。待僧及五百人。不論時節即不造粥。便放某甲下。自後山下居民稍稍知之。率眾共營梵字。連師李景讓奏号同慶寺。相國裴公休嘗咨玄奧。絲是天下禪學輻輳焉。

#### 寂子撲鏡

(仰山名惠寂。傳燈十一)仰山因溈山送一面鏡來。接得上堂云。且道是溈山鏡仰山鏡。若道是溈山。又在仰山手裡。若道是仰山底。又是溈山送來。道得即不打破。道不得即打破。三問。眾無對。遂撲破。

### 悟本貜頭

(曇晟之法嗣 會元十三)洞山與密師佰鉏茶園。師擲下钁頭曰我今日 一点氣力也無。密曰若無氣力爭解恁麼道。師曰汝將謂有氣力底 是。

# 烏臼杓柄

(馬祖法嗣 會元三)烏臼和尚問僧近離甚處。曰定州。師云定州悟道何似這裡。曰不別。師云若不別更轉彼中去。便打。僧曰。棒頭有眼。不得草草打人。師云今日打著一箇也。打三下。僧便出去。師云。屈棒元來有人喫在。曰爭奈杓柄在和尚手裏。師云。汝若要。山僧回與汝。僧近前。奪棒打師三下。師曰屈棒屈棒。曰有人喫在。師曰草草打著箇漢。僧禮拜。師云却與麼去也。僧大笑而出。師曰消得恁麼。

# 良禪破關

(傳燈十七) 良禪客問欽山一鏃破三關時如何。山曰放出關中主看。 良云恁麼則知過必改。山云更待何時。良云好箭放著所在。便 出。山云且來闍梨。良回首。山把住云。一鏃破三關即且止。試 與欽山發箭看。良擬議。山打七棒云。且聽這漢疑三十年。

### 女子出定

(會元一)諸佛要集經。文殊尸利欲見佛集。不能得到。諸佛各還本處。文殊尸利到諸佛集處。有一女人近彼佛坐。入三昧。文殊尸利入禮佛足已。白佛言。云何此女人得近佛坐而我不得。佛告文殊尸梨。汝覺此女人令從三昧起。汝自問之。文殊尸梨即彈指覺之而不可覺。以大聲喚亦不可覺。投手牽亦不可覺。又以禪足動三千大千世界猶亦不覺。文殊尸利白佛言。我不令覺。是時佛放大光明照下方世界。是中有一菩薩名棄諸盖。即時從下方來到佛所。頭面禮足一面而立。佛告棄諸盖菩薩。汝覺此女人。即時彈指。此女從三昧起。文殊尸利白佛。以何因緣我動三千大千世界不能令此女起。棄諸盖菩薩一彈指便從三昧起。佛告文殊尸利。汝因此女初發阿耨多羅三藐三菩提。是女人因棄諸盖菩薩發阿耨多羅三藐三菩提。以是故汝不能令覺。頌家謂綱明菩薩。乃傳燈錄所載。未詳按何經論。撿藏乘不見所出。(祖庭事苑文名也)

# 曇照呌苦

(南泉法嗣 會元四)荊南白馬曇照禪師常云快活快活。及臨終叫苦苦閻羅老子來取我也。院主問曰。和尚當時被節度使拋向水中神色不動。如今何得恁麼地。師舉枕子云。汝道當時是如今是。院主無對。

# 亡僧索命

(聯燈五)鹽官會下有一主事僧將死。鬼使來取。僧告曰。某甲身為主事未暇修行。乞容七日得否。使曰待為白王。若許即七日後來。不然須臾便至。言訖去。至七日後方來。覔其僧不見。後有人舉問一僧若來時如何擬抵他。洞山代云。被他覔得也。

### 大容林蟬

### 古德爛杏

(禪林類聚十七)僧問白兆和尚如何是萬行。兆云。今年桃核也無。 說什麼爛杏。

### 翠岩把梢

(慈明法嗣 林間錄下)和補曰。福州海善侍者。慈明高弟。當時龍象數。道吾真楊岐會然皆推服之。甞至金鑾真點胸(云云)。開法於翠岩。甞曰。天下佛法如一隻船。大寧道寬師兄坐頭。南褊頭在其中。可真把梢。去東也由我。去西也由我。善公尋還七閩(云云)。

# 風穴據令

# 石鞏趂鹿

(會元三)石鞏昔為戈者。因逐群鹿從馬祖庵前過。問祖曰和尚見鹿過不。祖匿曰汝是何人。曰獵者。祖曰汝解射。曰解射。祖曰汝一箭射幾箇。曰一箭射一箇。祖曰汝不解射。曰和尚莫解射不。祖曰解射。曰一箭射幾箇。曰一箭射一群。曰彼此是命何用射他一群。祖曰。汝既知如是。何不自射。曰。若教某甲自射。直是無下手處。祖曰者漢曠却無明煩惱今日頓息。師即毀弓箭。截髮投祖出家。

### 南泉斬猫

(傳燈八)南泉一日東西兩堂爭猫兒。師見提起云。道得即不斬。眾無對。師斬猫兒為兩段。

### 祇林揮劒

(永泰湍法嗣)湖南祇林和尚每叱文殊普賢皆為精魅。手持木劒自謂降魔才有僧參禮便云魔來也魔來也以劍亂揮歸方丈。如是十二年後置劍無言。僧問十二年前為甚麼降魔。師云賊不打貧兒家。十二年後為甚麼不降魔。師曰賊不打貧兒家。

### 藥嶠抽刀

(石頭法嗣 會元五)藥山與雲岩遊山腰間。刀響。岩問甚麼物作聲。 師抽刀驀口作斫勢。

### 實際頂笠

(馬祖法嗣)務州金華俱胝禪師。初住菴有尼名實際到菴。戴笠子執 錫遶師三匝云。道得即拈下笠子。三問師皆無對。尼便去。師 云。日勢稍晚。且留一宿。尼曰道得即宿。師又無對。尼去。

### 惠圓腰包

惠圓上坐。開封酸棗于氏子。世業農。少依邑之建福寺德光為師。性椎魯。然勤渠祖道堅坐不臥。居數歲得度。出游廬山至東林寺。每以己事請問。朋輩見其負陋舉止乖踈。皆戲侮之。一日行殿庭中。忽足顛而仆。了然開悟。作偈俾行者書於壁曰。這一交。這一交。萬兩黃金也合消。頭上笠。腰下包。清風明月杖頭挑。即日離東林。眾傳至照覺。覺大喜曰。衲子參究若此。善不可加。令人迹其所往。竟無知者。(照覺。東林寺長老)

### 上座鼻孔

皷山問孚上座。父母未生前鼻孔在甚麼處。孚云師兄先道。山云 只今生也鼻孔在甚麼處。孚不肯。山云你作麼生。孚云將手中扇 來。山以扇度與之。再問。孚點置之。山遂打一拳。

### 翠岩眉毛

(雪峯存法嗣 會元八)翠岩夏末示眾云。一夏已來為兄弟說話。看翠 岩眉毛在麼。

### 杉山拈尺

(禪林類聚十七)杉山禪師一日與龐居士坐次。師拈起尺子云居士還見麼。士云見。師云見箇什麼。士杉山。師云不得道著。云爭得不道。師拋下尺子。居士云有頭無尾得憎。師云不是者老子。今日還道不及什麼處。師云有頭無尾處。士云強中覔弱即得。弱中覔強即無。師把住云。這老漢就中無活處無活處。

# 義存斫槽

(會元七)洞山一日問雪峯作甚麼來。峯曰斫槽來。山曰幾斧斫成。 峯曰一斧斫成。山曰。猶是這邊事。那邊事作麼生。峯休去。汾 陽代云。某甲且囷也。

### 座主鬼窟

(傳燈十六)鹽官因有講僧來參。師問云坐主蘊何事業。對云講華嚴經。師云有幾種法界。對云廣說則重重無盡。略說則有四種法界。師竪起拂子云遮箇是第幾種法界。坐主沈吟徐思其對。師云。思而知慮而解。是鬼家活計日下孤燈。果然失照。果然失照。

#### 夾嶺鳳巢

(龍潭信法嗣 傳燈十六)澧州樂普山元安禪師至夾山庵于冢巔夾山訝之以書抵安。誡使者曰。此僧得書不發明日當來。發之不來也。安得書果置之不答。使者具以告夾山。夾山曰旦暮必至矣。俄報安至。夾山望見呵曰。鷄棲鳳巢非其同類。出去。安乃問曰。自遠趨風請師一接。夾山曰。目前無闍梨此間無老僧。安曰錯。夾山曰住住。且莫草草忿忿。雲月是同。溪山各異。截斷天下舌頭則不無。闍梨爭救無舌人解語乎。安茫然不知答。夾山以杖擊之。安因茲服膺數歲。

#### 泐潭苦瓜

(龍潭信法嗣 傳燈十五)洪州泐潭寶峯和尚。有僧新到。師謂曰。其中事即易。不落其中事始終難道。僧曰。某甲在途時便知有此一問。師曰更與二十年行脚也不較多。曰。莫不契和尚意麼。師云苦瓜那堪待客。

### 香林甜桃

### 義玄拄钁

(傳燈十一)臨濟普請鋤地次。見黃蘗來拄钁而立。蘗云這漢困那。 師云钁也未舉困箇什麼。蘗便打。師接住棒一送送倒。蘗喚。維 那維那扶起我。維那近前扶云。和尚爭容得這風顛漢無禮。蘗纔 起打維那。師钁地云。諸方火葬。我這裡一時活埋。

# 惠寂插鍬

(傳燈十一) 為山忽問仰山甚麼處來。仰曰田中來。為曰田中多少人。仰插鍬而立。為曰今日南山大有人刈茆。仰舉鍬而去。

### 靈源真告

(黃龍祖心法嗣 普燈六)黃龍佛壽禪師。名惟清。字覺天。號靈源 直下第四十八世孫惟清。雖從本覺應緣出生。而了緣即空。初無 自性。氏旌親里莫得而詳。但以正因一念為所宗承是廁釋迦之遠 孫。其号靈源叟。據自了因所了妙性無名字中示稱謂耳。爾臨濟 無位真人。傅大士之心王類矣。亦正法眼藏涅槃妙心。唯證乃知 餘莫能測者歟。所以六祖問讓和尚什麼處來。曰嵩山來。祖曰什 麼物恁麼來。日說似一物即不中。祖曰還假修證否。曰修證即不 無污染即不得。祖曰。即此不污染是諸佛之所護念。汝既如是吾 亦如是。茲盖獨摽清淨法身以遵教外別傳之宗。而揀云報化非真 佛。亦非說法者。然非無報化大功大用。謂若解通報化而不頓見 法身。則滯污染緣乖護念旨。理必警省耳。夫少室道行光騰後 裔。則有雲門偃奮雄音絕唱於國中。臨濟玄振大用大機於天下。 皆得正傳。世咸宗奉。惟清望臨濟九世孫也。今宗教衰喪。其未 盡絕滅者唯二家微派斑斑有焉。然名多媿實。顧適當危奇。而朝 露身緣勢迫晞墜因力病。釋俗從真。敘如上事以授二三子。吾委 直後當用依稟觀究。即不違先聖法門。而自見深益。慎勿隨末法 所尚。乞空文於有位。求為銘誌。張飾說以浼吾。至囑至囑。因 自所敘曰。無生常住真歸告。且繫之以銘。銘曰。無涯湛海瞥起 一漚。亘乎百年曷浮曷休。廣莫清漢歘生片雲。有無起滅隱顯何 分。了茲二者即見實相。十世古今始終現量。吾銘此旨昭告汝 曹。泥多佛大。水長船高。

## 玄泰山謠

(石霜諸法嗣 傳燈十六)泰南衲所居蘭若在衡山之東。號七寶臺。誓不立門徒。四方後進依附皆用交友之禮。甞以衡山多被山民斬木燒[入/米/田]。為害滋甚。乃作畬山謠。遠邇傳播達于九重。有

詔禁止。故嶽中蘭若無復延燎。師之力也。畬山謠。畬山兒。無所知。年年斫斷青山帽。就中最好衡嶽色。杉松利斧摧貞枝。靈禽野鶴無因依。白雲廻避青煙飛。猿猱路絕岩崖出。芝术失根茆草肥。年年斫罷仍栽鋤。千秋終是難復初。又道今年種不多。來年更斫當陽坡。國家壽嶽當如此。不知此理如之何。

### 紹銑設舘

(北禪賢法嗣 僧寶中)潭州奧化紹銑禪師。時南禪師道價方增。荊湖 衲子犇趍入江南者。出長沙百里無託宿所。多為盜劫掠。路因不 通。師半五十為舘。請僧主之以接納。使得宿食而去。諸方高其 為人。

### 福國戕橋

## 六祖負金

(傳燈五)江西志徽禪師者。江西人也。姓張氏。名行昌。少任俠。 自南北分化。二宗主雖亡彼我。而徒侶競起愛憎。時北宗門人自 立秀師為第六祖。而忌能大師傳衣為天下所聞。然祖是菩薩。預 知其事。即置金十兩於方丈。時行昌受北宗門人之囑。懷刃入祖 室將欲加害。祖舒頸而就。行昌揮刃者三都無所損。祖曰。正劒 不邪邪劍不正。只負汝金不負汝命。行昌驚仆久而方蘇。求哀悔 過即願出家。祖遂與金云。汝且去。恐徒眾飜害於汝。汝可他日 易形而來。吾當攝受。行昌稟旨宵遁終捉僧出家具戒精進。一日 憶祖之言。遠來禮勤。問答機緣相契。祖曰汝今徹也。宜名志 徹。師禮謝而去。

## 神光償債

(會元一)二祖者。武牢人也。姓姬氏。父寂。未有子時甞自念言。 我家崇善豈令無子。禱之既久。一夕咸異光照室。其母因而懷 姙。及長遂以照室之瑞名之曰光。自幼志氣不群。博涉詩書。尤 精玄理。而不事家產好遊山水。後覽佛書超然自得。即抵洛陽龍 門香山。依室靜禪師出家。受具於永穆寺。浮游講肆徧學大小乘 義。年三十二却扳香山。終日宴坐又經八載。於寂默中條見一神 人謂曰。將欲受果何滯此耶。大道匪遙汝南矣。祖知神助因改名 神光。翌日覺頭痛如刺其師欲治之。空中有聲曰。此乃換骨非常 痛也。祖遂以見神事白于師。師視其頂骨即如五峯秀出矣。乃曰 汝相吉祥當有所證。神令汝南者。斯則少林達磨大士。必汝之師 也。祖受教诰干少室。達磨遂因與易名曰惠可。傳授之。後於筦 城縣匡救寺之三門談無上道。聽者林會。時辨和法師於其寺講涅 槃經。其徒聞師闡法稍稍引去。和不勝其憤。乃興謗于邑。寄翟 仲侃。侃惑其說。加師以非法債。師以怡然委順。識真者謂之償 債。○皓月供奉問長沙岑云。了即業障本來空。未了應須償宿 **倩。**師子尊者二祖大師為甚麼却償債。岑云。大德不識本來空。 如何是本來空。云業障是。如何是業障是。云本來空是。供奉無 語。長沙乃示偈云。假有元非有。假滅亦非無。涅槃償債義。一 性更無殊。

# 洛浦投師

(傳燈十六)見前夾嶺鳳巢之處〇和補曰。會元第六云。師游歷罷。 直往夾山卓庵。經年不訪夾山。山乃修書令僧馳往。師接得便坐 却。再展手索。僧無對。師便打曰。歸去舉似和上。僧回舉似。 山曰這僧若開書三日內必來。若不開書斯人救不救也。師果三日 後到。見夾山不禮拜。乃當面叉手而立。山曰。鷄栖鳳巢非其同 類。出去。自遠趨風請師一接。山曰。目前無闍梨。此間無老 僧。師便喝。山曰。住住。且莫草草忿忿。雲月是同。溪山各 異。

### 沙彌求戒

(傳燈十四)高沙彌初參藥山。山問甚麼處來。日南嶽來。山云何處去。日江陵受戒去。山云受戒圖箇甚麼。日圖免生死。日。有一人不受戒亦免生死。汝還知否。日恁麼則佛戒何用。山曰猶掛唇齒在。便召維那云。者跛脚沙彌不任僧務。安排向後庵著。山謂道吾雲岩曰。適來一箇沙彌却有來由。道吾曰也須勘過始得。山乃再問諦云。見說長安甚閙。曰我國晏然。山曰汝徒看經得請益得。曰總不與麼。山曰大有人不與麼不得。曰。不道他無。只是不肯承當。

## 蔣山三障

(慈明圓法嗣 傳燈廿三)舒王初丁大母夫人憂。讀經山中。與蔣山贊元禪師游。如昆弟。問祖師意旨。師不答。王益扣之。師曰。公般若有障三。有近道之質一。更一兩生來恐純熟。王曰願聞其說。師云。公受氣剛大。世緣深。以剛大氣遭深世緣。必以身任天下之重。懷經濟之志。用舍不能必。則心未平。以未平之心持經世之志。何時能一念萬年哉一。又多怒二。而學問尚理於道為所知愚三。此其三也。特視名利如脫髮。有擔薄如頭陀。此為近道。且當以教乘滋茂之可也。王再拜受教。

# 華藏四导

## 鎮州蘿蔔

(會元四)僧問趙州。承聞和尚親見南泉是否。州曰鎮州出大蘿蔔頭。

## 普化生菜

(傳燈+) 普化一日在僧堂前喫生菜。臨濟見云大似一頭驢。普化便 作驢鳴。濟云這賊。普化云賊賊。便出去。

### 永嘉一宿

(會元二)溫州玄覺禪師詣曹溪。初到振錫携瓶遶祖三匝卓然而立。祖曰。夫沙門者具三千威儀八萬細行。大德自何方而來。生大我慢。師云。生死事大。無常迅速。祖曰。何不體取無生。了無速乎。云。體即無生。了本無速。祖曰如是如是。于時大眾愕然。師方具威儀參禮。須臾告辭。祖曰返太速乎。師云本自非動豈有速耶。祖曰汝甚得無生之意。師曰無生豈有意耶。祖曰無意誰當分別。師云分別亦非意。祖歎曰。善哉善哉。少留一宿。時謂之一宿覺。翌日回永嘉。

## 雲盖半載

(石霜諸法嗣 會元六)潭州雲盖山志元圓淨禪師。遊方時問雲居曰。志元不奈何時如何。居曰祇為闍梨功力不到。師不禮拜。直造石霜亦如前問。霜云。非但闍梨。老僧亦不奈何。師云和尚為甚麼不奈何。霜曰。老僧若奈何。拈過汝不奈何。師便禮拜。僧問石霜。萬戶俱閉即不問。萬戶俱開時如何。霜云堂中事作麼生。僧無對。經半年方始下一點語曰。無人接得渠師去。乃禮拜乞為舉。霜不肯。師乃抱霜上方丈曰。和尚若不道。打和尚去在。霜曰得在。師頻禮拜。霜曰無人識得渠。師於言下頓省。

## 王岳四玄

# 溈仰三昧

(人天眼目)朗州古堤和尚。仰山到參。堤曰。去。汝無佛性。山叉手近前三步應諾。堤笑曰。子甚麼處得此三昧來。山曰。我從耽源處得名。為山處得地。堤曰莫是為山的子麼。山曰。世諦即不無。佛法即不敢。山却問和尚從甚處得此三昧。堤曰我從章敬處得此三昧。山歎曰不可思議。來者難為湊伯。○義海 仰山坐次。有僧來作禮。山不顧。其僧乃問師識字否。山曰隨分。僧右旋一匝曰是甚麼字。山於地上書十字酬之。僧又左旋一匝曰是甚麼字。山改十字作○字。僧乃劃此[○@卍]相以兩手拓如修羅掌日月勢。曰是甚麼字。山乃劃此卍相對之。僧乃作婁至德勢。山曰。如是如是。此是諸佛之所護念。汝亦如是。吾亦如是。善自護持。其僧禮謝騰空而去。時有一道者見。經五日後遂問山。山曰汝還見否。道者曰某甲見出門騰空而去。山曰。此是西天羅漢。故來探吾道。道者曰某雖覩此三昧不辨其理。山曰吾以義為汝解釋。此是八種三昧。是覺海變為義海。躰則同然。此義合有因有果即時異時總別不離隱身三昧也。

## 桐峯虎聲

(臨濟法嗣 傳燈)僧到桐峯主處便問。這裡忽逢大虫時又作麼生。 庵主作虎聲。僧作怕勢。庵主呵呵大笑。僧云這老賊。庵主云爭 奈老僧何。僧便休去。

## 投子牛在

舒州投子山大同禪師。因一婆上山云家中失却牛請師一卜。師召婆。婆應諾。師云牛在。婆乃歡喜而去。

## 鏡清失利

(雪峰法嗣 會元七)越州鏡清寺道怤順德禪師。新到參。師拈起拂子。僧曰。久響鏡清。猶有這箇在。師曰鏡清今日失利。師問荷

玉甚處來。日天台來。師曰阿誰問汝天台。曰和尚何得龍頭虵 尾。師云鏡清今日失利。師看經次。僧問和尚看甚麼經。師云我 與古人鬪百草。師却問汝會麼。曰少年也曾恁麼來。師云如今作 麼生。僧舉拳。師云我輸汝也。問辨不得提不起時如何。師曰爭 得到這裏。曰恁麼則禮拜去也。師云鏡清今日失利。師見僧學書 廼問學甚麼書。曰請和尚鑑。師云一点未分三分著地。曰今日又 似遇人又似不遇人。師云鏡清今日失利。問新年頭还有佛法也 無。師曰有。曰如何是新年頭佛法。師云元正啟祚萬物咸新。曰 謝師答話。師曰鏡清今日失利。上堂。眾集定。師拋下拄杖曰。 大眾動著也二十棒。不動著也二十棒。時有僧出。拈得頭上戴出 去。師曰鏡清今日失利。

#### 趙州下載

(會元四)趙州上堂。兄弟若從南方來者即與下載。若從北方來者即與上載。所以道。近上人問道即失。近下人問道即得道。

## 歸宗插標

(禪林類聚十八)和補曰。歸宗常禪師因普請入園取菜。乃畫一圓相 囲却一株菜以標插之。語首座大眾云。輙不得動著每人下一轉語 來。是時一眾各呈見解。未嘗有契。師以棒趂云。這一隊漢無一 箇有智惠。喫欲我多少菜。不能與圓頭出氣。乃蹈倒標子拽著菜 而歸。

## 興化擲拐

(會元四)興化到法堂令維那聲鐘集眾。師云還識老僧麼。眾無對。 師擲下柺子端然而逝。

# 清豁歸山

(泉州睡龍溥禪師嗣傳燈二十三)漳州保福院清豁禪師。將順世捨眾。欲 入山待滅。過苧谿石橋乃遺偈曰。世人休說路行難。鳥道羊腸咫 尺間。珍重苧溪溪畔水。汝歸滄海我歸山。即往貴湖卓庵。未幾 謂門人曰。吾滅後將遺躰施諸蟲蟻。勿置墳塔。言訖潛入湖頭 山。坐盤石儼然長往。弟子戒因入山尋見。稟遺命延留七日。竟 無蟲蟻之所侵食。遂就闍維。散於林野。今泉州開元寺淨土院影 堂存焉。

#### 性空沒海

(黃龍恐梧禪師嗣普燈十)蜀僧普首座。自號性空菴主。因欲泛海辭別緇素。而說偈言。坐脫立亡不若水葬。一省柴燒一免開擴。撒手便行不妨懌暢。誰是智音船子和尚。高風難繼。百千年一曲。漁歌少人唱。由是登漆盆張布帆舉手以謝四眾。乃吹銕笛至洪波中而自沒矣。三日後潮退於沙洲上跏趺而坐。神色不動。道友幾萬人迎歸青龍供養五日。荼毗舍利五色如珠無數。双鸖盤旋竟日。火盡而去。

# 黃龍三關

(會元十七)黃龍室中常問僧曰。人人盡有生緣。上座生緣在何處。 正當問答交鋒。却復伸手曰。我手何似佛手。又問諸方參請宗師 所得。却復垂脚曰我脚何似驢脚。三十餘年示此三問。學者莫有 契其旨。脫有酧者。師未甞可否。斂目危坐。人莫測其意。延之 又問其故。師云。已過關者掉臂徑往。安知有關吏。問可否此未 透關者也。叢林目之為黃龍三關。師自頌曰。生緣有語人皆識。 水母何曾離得鰕。但見日頭東畔上。誰能更喫趙州茶。我手佛手 兼舉。禪人直下薦取。不動干戈道出。當處超佛越祖。我脚驢脚 並行。步步蹈著無生。會得雲收月卷。方知此道縱橫。總頌曰。 生緣斷處伸驢脚。驢脚伸時佛手開。為報五湖參學者。三關一一透將來。

## 浮山九帶

(人天眼目)浮山遠既老。退休於會聖嵓。因閱斑固九流(儒流·道流·陰陽流·法流·名流·墨流·縱橫流·離流·農流)遂擬之作九帶。敘佛祖教義。博採先德機語。參同印證。其一曰佛正法眼帶。其二曰佛法藏帶。其三曰理實帶。其四曰事實帶。其五曰理事縱橫帶。其六曰屈曲帶。其七曰妙挾兼帶。其八曰金針双鏁帶。其九曰平懷常實帶。學者既已傳誦。

### 青州正座

舒州投子義青禪師。青社李氏。參浮山。嗣洞下宗。山遂書偈送 曰。須彌立虗空。日月輔而轉。群峯漸倚化。白雲方改變。少林 風起叢。曹溪洞簾卷。金鳳宿龍巢。宸苔豈車輾。令依圓通透禪 師。師至彼。無所參問。唯嗜睡而已。執事白通曰。堂中有僧日 睡。當行規法。通曰是誰。曰青上座。通曰。未可。待與按過。 通即曳杖入室。見師正睡乃擊床呵曰。我這裏無閑飯與上坐喫了 打眠。師云和尚教某何為。通曰何不參禪去。師云美食不中飽人 喫。通曰爭奈大有人不肯上座。師云待肯堪作甚麼。通曰上座曾 見甚麼人來。師云浮山。通曰恠得恁麼頑賴。遂握手相笑歸方 丈。由是道聲籍甚。初住白雲。次遷投子(寺名也)。

# 普明不拜

## 仁儉短偈

(傳燈四)洛京福先寺仁儉禪師。自嵩山罷問放曠郊廛。時謂之騰騰和尚。唐天冊間天后詔入內。至殿前仰視天后良久曰會麼。后曰

不會。師云老僧持不語戒。言訖而出。翌日晉短歌十九首。天后 覽而嘉之。

### 永嘉長歌

(會元二)永嘉大師作證道歌。泳潘天下。西竺謂之震旦聖者經。即曹溪末後之旨。

### 老龐及第

(碧巖五)龐居士曰。十方同聚會。箇箇學無為。此是選佛場。心空 及第歸。

### 慶諸登科

# 陳操驗僧

(傳燈十二)陳操尚書與僧齋次。忽拈起胡餅問僧曰。江西湖南還有這箇麼。僧曰尚書適來喫什麼。尚書曰敲鐘謝響。又一日齋僧次。躬行餅。僧展手欲接。尚書廼縮手。僧無語。尚書曰果然果然。異日問僧曰。有箇事與上座商量得麼。僧曰合取狗口。尚書自摑口曰操罪過。僧曰知過必改。尚書曰恁麼即乞上座口喫飯。又齋僧自行食次曰上坐施食。上坐曰三德六味。尚書曰錯。上座無對。

# 真際勘婆

(傳燈+)五臺山有一婆子接待。凡有僧問臺山路甚處去。婆子云驀直去。僧才行。婆云好箇師僧又與麼去。如是既久。游僧傳到趙州。州聞得乃云。待老僧為汝去勘破。州往彼便問。臺山路向甚處去。婆云驀直去。州才行。婆云好箇師僧又與麼去。州回陞座舉示大眾云。已為諸人勘破婆子了也。

#### 道十背坐

(傳燈廿七)昔有道流在佛殿前背佛而坐。僧曰道士莫背佛。道流曰。大德。本教中道。佛身充滿於法界。向甚麼處坐得。僧無對。法眼代云。識得汝。

### 踈山倒屙

(傳燈+七)香嚴禪師因僧問不慕諸聖不重己靈時如何。嚴曰萬機休罷千聖不携。踈山在眾作嘔聲曰是何言歟。嚴問阿誰。眾曰師叔。嚴曰不諾老僧那。師出云是。嚴曰汝莫道得。曰道得。嚴曰汝試道看。曰。若教某甲道。須還師資禮始得。嚴乃下座禮拜。躡前問。師云。何不道肯重不得全。嚴曰饒汝恁麼。也須三十年倒屙。設住山無柴燒。近水無水喫。分明記取。後住踈山果如嚴記。至二十七年病愈。自云香嚴師兄記我三十年倒屙。今少三年。每食畢以手抉而叶之。以應前記。

## 義存漆桶

(會元七)投子指庵前一片石謂雪峯曰。三世諸佛總在裏許。峯曰須知有不在裡許者。子曰不快漆桶。投子與雪峯遊龍眠。有兩路。問那箇是龍眠路。子以杖指之。峯云東去西去。子曰不快漆桶。問一槌便就時如何。子曰不是性燥漢。曰不假一槌時如何。子曰不快漆桶。問此間還有人參也無。子將钁頭拋向峯面前。峯曰恁麼則當處掘去也。子曰不快漆桶。雪峯上堂。盡大地撮來如粟米

粒大。拋向面前。漆桶不會。打皷普請看。長慶問雲門曰。雪峯 與麼道還有出頭不得處麼。門曰有。曰作麼生。門曰不可總作野 狐精見解。又曰狼籍不少。

#### 師備飯籮

和補曰。禪林類聚云。玄沙備禪師因雪峯垂語云。飯籮邊坐餓死漢。臨河渴死漢。師云。飯籮裡坐餓死漢。水裡沒頭浸渴死漢。

### 安國折筯

(玄沙法嗣 傳燈廿一)福州安國院惠球寂照禪師(亦日中塔)上堂。我此間粥飯因緣。各兄弟舉唱終是不常。欲得省要。却是山河大地與汝發明。其道現常亦能究竟。若從文殊門入者。一切無為。土木瓦礫助汝發機。若從觀音門入者。一切音響。蝦蟇蚯蚓助汝發機。若從普賢門入者。不動步而到。以此三門方便示汝。如將一隻折著攪大海水。令彼魚龍知水為命。會麼。若無智眼而審諦之。任汝百般巧妙不為究竟。

# 鹿門破鍋

# 雲岩出糞

(會元五)藥山問雲岩作什麼。岩云擔屎。山曰那箇聻。岩曰在。師曰汝來去為誰。曰替他東西。岩曰何不教並行。曰和尚莫謗他。岩曰不合恁麼道。曰如何是道。岩曰還曾擔麼。

## 寂子擔禾

(傳燈十一) 為山問仰山何處來。仰云田中來。為曰禾好刈也未。仰云好刈也。為曰。作青見。作黃見。作不青不黃見。仰云和尚背

後是什麼。為曰子還見麼。仰拈起禾穗云和尚何曾問這箇。為曰此是鵝王擇乳。

### 雲門花欄

(雲門錄)僧問雲門如何是清淨法身。門云花藥欄。

#### 陸亘瓶鵝

(傳燈+)陸亘大夫問南泉曰。古人瓶中養一鵝。鵝漸漸長大。出瓶不得。如今不得毀瓶。不得損鵝。和尚作麼生出得。泉召曰大夫。陸應諾。泉曰出也。從此開解即禮謝。

#### 石室蹈碓

(碧岩三)六祖初謁五祖於黃梅。法乳相投。遂負石於腰以供簸春之務。後僧問臨濟云。石室行者蹈碓為什麼忘移却脚。濟曰沒溺深坑。(石室曰善道)

# 天目撞羅

(雲門優法嗣 會元十五)和補曰。奉先深禪師。因同明和尚到淮河。 見人牽網。有魚從網透出。師曰。明兄俊哉。一似箇衲僧相似。 明曰。雖然如是。爭如當時不撞入網羅好。師曰。明兄你欠悟 在。明至中夜方省。

# 雪竇按劒

(會元十五)明州雪豆重顯明覺大師。上堂。僧問如何吹毛劒。師云苦。曰還許學人用也無。師噓一噓乃曰。大眾前共相酬唱。也須是箇漢始得。若也未有奔流度刃底眼。不勞拈出。所以道。如大火聚近著即燎却面門。亦如按大阿寶劒。衝前即喪身失命。師

云。大阿橫按祖堂寒。千里應須息萬端。莫待冷光輕閃爍。復日看看。便下座。

## 韶山亞戈

(夾山法嗣 會元六)洛京韶山寰普禪師。遵布衲訪師。在山下相見。 | 鐏問韶山路向甚麼處去。師以手指曰嗚那青青黯黯處去。遵近前 把住曰。久響韶山莫便是否。師云。是即是。闍梨有甚麼事。遵 曰擬伸一問師還答否。韶山曰。看君不是金牙作。爭解彎弓射尉 遲。遵曰。鳳凰直入煙霄去。誰怕林間野雀兒。師云。當軒畫皷 從君擊。試展家風似老僧。遵曰。一句逈超千聖外。松蘿不與月 輪齊。師云。饒君直出威音外。猶較韶山半月程。遵曰過在甚 處。師曰倜儻之辭時人知有。遵曰恁麼則直玉泥中異不撥萬機 蓙。師云魯般門下徒施巧妙。遵曰。學人即恁麼。未審師意如 何。師曰玉女夜拋梭織於西舍。遵曰莫便是和尚家風也無。師曰 耕夫製玉漏不是行家作。遵曰。此猶是文言。如何是和尚家風。 師云橫身當宇宙誰是出頭人。遵無語。師遂同皈山。纔人事了。 師召折前曰。闍梨有衝天之氣。老僧有入地之謀。闍梨横吞巨 海。老僧背負須彌。闍梨按劍上來。老僧掗鎗相待。向上一路速 道竦道。遵曰明鏡當臺請師一鑑。師云不鑑。遵曰為甚不鑑。師 云水淺無魚徒勞下釣。遵無對。師便打。

# 古靈揩背

(百丈法嗣 會元四)福州古靈神讚禪師。因受業。師問汝離吾在外得何事業。讚曰並無事業。遂遣執役。一日因澡浴命讚去垢。讚廼 拊背。好箇佛堂。只是佛不聖。其師回首視之。讚曰雖然不聖却 解放光。

# 從諗洗脚

(會元十一)趙州行脚時參臨濟。遇濟洗脚次。州便問如何是祖師西來意。濟曰恰值老僧洗脚。州近前作聽勢。濟云更要第二杓惡水潑在。州便下去。

### 青林死蛇

(洞山价法嗣 會元十三)青林虔禪師問。千差路別如何頓曉。師曰。 足下背驪珠。空怨長天月。問學人徑往時如何。師曰。死蛇當大路。勸子莫當頭。曰當頭者如何。師云喪子命根。曰不當頭者如何。師云亦無回避處。曰正當恁麼時如何。師云失却也。曰向甚麼處去。師曰草深無覔處。曰和尚也須隄防始得。師拊掌曰一等是簡毒氣。

### 泐潭活雀

(九峯度法嗣 傳燈十七)洪州泐潭明禪師。僧問確摶磨磨不得忘却此 意如何。師云猛虎口裡活省兒。

## 玄沙三病

(會元七)玄沙有時垂語曰。諸方老宿盡道接物利生。且問汝。只如盲聾瘂三種病人。汝作麼生接。若拈槌竪拂。他眼且不見。共他說話。耳又不聞。曰復瘂若接不得。佛法盡無靈驗。時有僧出曰。三種病人和尚還許商量否。師云許汝作麼生商量。其僧珍重出。師曰不是不是。

## 天平兩錯

(清溪山主洪進法嗣 傳燈)天平和尚行脚時參西院。常云。莫道會佛 法。覔箇舉話人也無。一日西院遙見召云從漪。平舉頭。西院曰 錯。平行三兩步。西院曰錯。平近前西。院云。適來這兩錯。是西院錯。是上坐錯。平云從漪。西院曰錯。平休去。

### 滏水蓮池

#### 趙州略约

(傳燈+)僧問趙州。久響趙州石橋。到來只見略行。州曰汝只見略 行不見石橋。僧云如何是石橋。州曰渡驢渡馬。

#### 大陽錢財

(會元十三)郢州大陽惠堅禪師。僧問如何是玄旨。師曰壁上挂錢 財。

## 清平杓索

(會元五)清平和尚。僧問如何是大乘。師云井索。曰如何是小乘。師云錢貫。問如何是有漏。師曰笊篱。曰如何是無漏。師曰木 杓。

# 白犬銜書

(會元三)和補曰。見下之註。

## 青猿洗鉢

(會元二)千歲寶掌和尚。中印度人也。周威烈十二年丁卯降神受質。左手握拳。七歲祝髮乃展。因名寶掌。魏晉間東遊此土。入蜀禮普賢。留大慈。常不食。日誦般若等經千餘卷。有詠之者日。勞勞玉齒寒似迸岩泉急。有時中夜坐堦前。神鬼泣。一日謂眾曰。吾有願住世千歲。今年六百二十有六。故以千歲稱之。次

遊五臺。徙居祝融峯之華嚴。黃梅之双峯。廬山之東林。尋抵建 鄴。會達磨入梁。師就扣其旨開悟。武帝高其臘。延入內庭。未 幾如吳。有偈曰。梁城遇道師。參禪了心地。飄零二浙遊。更盡 佳山水。順流東下。由千頃至天竺。往鄮峯登太白。穿鴈蕩盤磚 於翠峯七十二庵。同赤城憩雲門法華諸暨漁浦赤符大岩等處。返 飛來。接之石竇。有行盡支那四百州。此中徧稱道人遊之句。貞 觀十五年也。後居浦江之寶嚴與。朗禪師友善。每通問遣白犬馳 往。朗亦以青猿為使今。故題朗壁曰。白犬銜書至。青猿洗鉢 回。師所經處後皆成寶坊。顯慶二年正旦手塑一像。至九日像 成。問其徒惠雲曰此肖誰。雲曰與和尚無異。即澡浴易衣趺坐謂 雲曰。吾住世已一千七十二年。今將謝世。聽吾偈曰。本來無生 死。今亦示生死。我得去往心。他生復來此。頃時囑曰。吾滅後 六十年。有僧來取吾骨。勿拒。言訖而逝入。滅五十四年有刺浮 長老自雲門至塔所禮曰。冀塔洞開。少選塔戶果啟。其骨連環若 黃金。浮即持往秦望山建窣堵波奉藏。以周威烈丁卯至唐高宗顯 慶丁巳。考之實一千七十二年。抵此土歲歷四百餘。僧史皆失 載。開元中惠雲門人宗一者甞勒石識之。

# 飲光坐禪

梵曰迦葉波。此言飲光。姓也。或云身光殊特。能飲諸天及日月等光皆悉不見。故曰飲光。黃龍南譏泉大道怛率。戲酧以偈曰。飲光論劫坐禪。布袋經年落魄。疥狗不願生天。却笑雲中白鶴。〇和補曰。涅槃經云。爾時世尊欲涅槃時。迦葉不在眾會。佛告諸大弟子。迦葉來時可令宣揚正法眼藏。爾時迦葉在耆闍崛山畢鉢羅窟。覩勝光明即入三昧。以淨天眼觀見世尊於凞連河側入般涅槃。乃告其徒曰。如來涅槃也。何其駛哉。即至双樹間悲戀號泣。

## 布袋落魄

(會元二)和補曰。飲光論劫坐禪。布袋經年落魄。疥狗不願生天。却笑雲中白鶴。○明州奉化縣布袋和尚。自稱契此。形裁腲脮蹙額皤腹。出語無定。寢臥隨處。常以杖荷一布囊并破廗。凡供身之具盡貯囊中。入廛肆聚落見物則乞。○佛祖統紀云。布袋背上有目。水戲之時人知之。

#### 推倒回頭

(僧寶傳中)和補曰。下註兼之。

### 趯翻不托

端師子者。吳興人也。始見弄師子者。發明心要。則以綵帛像其皮。時時著之。因以為號。住西余山。有狂僧號回頭和尚。以左道皷動流俗。士大夫亦安其妄。方對丹陽守呂公肉食。端徑至指曰。正當與麼時如何是佛。回頭不能遽對。端捶其頭。推倒乃行。○又有夭人號不托。掘秀州城外地有佛像。建塔其上。傾城信敬。端見揕住曰。如何是佛。不托擬議。端趯之而去。章丞相子厚請舛座使俞秀老撰疏敘其事曰。推倒回頭。趯翻不托。

# 道者休休

鏡清在帳中坐。有僧問訊。師撥帳開曰當斷不斷反招其亂。僧曰既是當斷為什麼不斷。師云我若盡法直恐無民。曰不怕無民請師盡法。師云維那拽出此僧著。又曰。休休。我在南方識伊和尚來。〇錢王欲廣府中禪會。命居天龍寺。始見師乃曰真道人也。致禮勤厚。由是吳越盛於玄學。其後又創龍冊寺。延請居焉。〇高安白水本仁禪師謂鏡清曰。時寒道者清。曰不敢。仁曰還有臥單也無。曰設有亦無展底工夫。仁曰直饒道者滴水氷生亦不干他事。曰滴水氷生事不相涉。仁曰是。曰此人意作麼生。仁曰此人不落意。曰不落意此人響。仁曰高山頂上無可與道者哷啄也。

## 塔主莫莫

(雲門法嗣 會元十五)薦福承古禪師。因遊廬山登歐峯。愛宏覺塔院 閑寂求居之。清規凜然。過者肅恭。時叢林號古塔主。僧問如何 是佛。主云莫莫。又問如何是祖師西來意。主曰莫莫。

### 大守病痊

(傳燈廿七) 閭丘。台州守也。因丘臥病不起。或人勸云可見高僧。因見豐干於鴈蕩。干呪水與丘。飲之病了愈。

### 君王臂落

(傳燈二)罽賓國王問師子尊者曰。師得蘊空不。者曰已得。曰離生死不。者曰已離。曰既離生死可施我頭。者曰非我有何恡於頭。 王揮劒斷者頭。白乳湧高數尺。王臂自墮。

## 次公點眼

## 駙馬索藥

(石門聰弟子會元十二) 駙馬都尉李遵勗居士。臨終時膈胃躁熱。有尼道堅謂曰。眾生見劫盡大火所燒時。都尉切宜照管主人公。公曰大師與我煎一服藥來。堅無語。公曰這師姑藥也不會煎得。

禪苑蒙求卷之中

### 禪苑蒙求卷之下

### 隱峯倒化

(馬祖法嗣 傳燈錄八)鄧隱峯將示滅。先問眾云。諸方遷化。坐去臥去吾賞見之。還有立化也無。眾云有。師問還有倒立而化者無。眾云未有。師乃倒立而化。亭亭然其衣順體。時眾議舁就茶毗。吃然不動。遠近瞻視驚歎無已。師有妹為尼。時亦在彼。乃俯近而咄曰。老兄疇昔不循法律。死更熒惑於人。於是以手推之。僨然而踣。遂就闍維。

### 領眾坐亡

石霜諸歿時。九峰道虔禪師作侍者。眾請堂中第一座嗣諸住持。 方議次。虔犯眾曰。未可。須明先師意旨乃可耳。眾曰先師何 意。虔曰只如道古庿香爐一條白練如何會。第一座曰。是明一色 邊事。虔曰果不會先師意。於是第一座者起炷香誓曰。我若會先 師意。香煙滅則我脫去。不然煙滅不能脫。言卒而脫去。虔拊其 背曰。坐脫立亡不無。首座會先師意即未也。

# 歸宗拽杖

(馬祖法嗣) 飯宗入園取菜次。師畫圓相圍却一株。語眾曰。輙不得動著遮箇。眾不敢動。少頃師復來。見菜猶在。便以棒趂眾。

## 普化踢床

(盤山寶積法嗣 會元十一)臨濟同普化赴施主家齋次。濟問。毛吞巨海。芥納須彌。為是神通妙用。本體如然。化蹈倒飯床。濟云太麤生。化云。這裏是什麼所在。說麤說細。濟來日又同化赴齋。問今日供養何似昨日。化依前蹈倒飯床。濟云。得即得。太麤生。化云。瞎驢。佛法說什麼麤細。濟乃吐舌。

#### 雪峰渦嶺

(會元七)雪峯辭洞山。山曰子甚處去。師曰皈嶺中去。山曰當時從甚麼路去。師云從飛猿嶺出。山曰今回向甚麼路去。師曰從飛猿嶺去。山曰。有一人不從飛猿嶺去。子還識麼。曰不識。山曰為甚麼不識。師云他無面目。山曰子既不識爭知無面目。師無對。師甞有頌曰。人生倏忽暫須臾。浮世那能得久居。出嶺始年三十二。入閩早是四旬餘。他非不用頻頻舉。己過應須旋旋除。為報滿朝朱紫道。閻王不怕佩金魚。

### 洛浦還鄉

(夾山法嗣 會元六)僧問洛浦。學人擬歸鄉時如何。師云家破人亡子歸何處。曰恁麼則不歸去也。師云。庭前殘雪日輪消。室內游塵遣誰掃。乃有偈云。決志歸鄉去。乘船渡五湖。舉篙星月隱。停棹日輪孤。解纜離邪岸。張帆出正途。到來家蕩盡。免作屋中愚。

# 法遠繡毬

(葉縣歸省法嗣 會元十二)僧問浮山。師唱誰家曲。宗風嗣阿誰。師 曰八十翁翁輥繡毬。僧云。與麼則一句逈然開祖冑。三玄戈甲振 叢林。師曰李陵元是漢朝臣。

## 文邃香囊

(洞山价法嗣 傳燈七)僧問徑山如何是和尚家風。師云錦帳銀香囊風吹滿路香。

# 鵝湖比較

信州鵝湖大義禪師李翱甞問大悲。用千手眼作麼。師曰今上用公作麼。唐憲宗甞詔入內於麟德殿論議。有一法師問如何是四諦。師曰聖上一帝三帝何在。

### 佛日抑揚

#### 崇壽登子

(桂琛法嗣 普燈廿一)法眼初住臨川崇壽院。師指登子曰識得登子周 匝有餘。雲門云識得登子天地懸殊。

### 守芝石幢

(汾陽昭法嗣 會元十二)瑞州大愚山守芝禪師。陞座。僧問如何是城裡佛。師曰十字街頭石幢子。

# 羅山麨飯

(石頭法嗣 會元七)明招到招慶。有度上座問。羅山尋常道。諸方盡是麨飯。惟有羅山是白飯。上座從羅山來却展手示白飯請些子。招打兩掌。度云。將謂是白飯。元來只是麨飯。招云癡人棒下打不死。度至夜間舉似諸禪客次。招近前云不審。度云今日便是這箇上座下兩掌。有瑫上座云。不用下掌就裏許作麼生。招云就裏許也道道。瑫無對。招云。是你諸人一時縛作一束。倒卓向尿闥下。來日相見。珍重。

# 白雲蒿湯

## 慈明詐病

(會元十二)慈明禪師有詔賜官舟南歸。中途謂侍者曰。我忽得風痺疾。視之口吻已喎斜。侍者以足頓地曰。當奈何平生呵佛罵祖。

今乃爾。師云無憂為汝正之。以手整之如故曰。而今而後不鈍置 汝。

### 法華佯狂

(會元二)言法華。獨語笑。多行市里。蹇裳而趍。或舉手畫空。佇立良久。從屠沽游。啖無所擇。道俗共目為狂僧。

### 方會雪屋

(會元十九)揚岐方會禪師。初住楊岐。老屋敗椽。僅蔽風雨。適臨 冬暮雪霰滿床。居不遑處。衲子投誠願充修造。師却之曰。我佛 有言。時當滅却。高峯深谷遷變不常。安得圓滿如意。自求稱 足。汝等出家學道。做手脚未穩已是四五十歲。詎有閑工夫事豐 屋耶。竟不從。翌日上堂曰。楊歧乍住屋壁踈。滿床盡撒雪珍 珠。縮却項。暗嗟噓。翻憶古人樹下居。

# 倚遇煙房

(北禪智賢法嗣 僧寶傳中)法昌倚遇禪師。方韜藏西山。雲蓋守智禪師聞其飽參。詣之。至双嶺寺。寺屋多僧少。草棘滿庭山雪未消。智見一室邃僻。試揚簾。聞叱詬曰。誰故出我煙蓋。師方附濕薪火藉煙為暖耳。智反走。師呼曰來汝何所來。對曰大寧。又問三門夜來倒知否。智愕曰不知。師云吳中石佛大有人不曾得見。智不敢犯其詞。知其為遇也。乃敷坐具願親炙之。師使往謁真点胸。

# 平終虎嚙

大陽平侍者。預明安之室有年。雖得其旨。惟以生滅為己任。擠 陷同列忌出其右者。瑯琊廣照公安圓鑒居眾時。汾陽禪師令其探 明安宗旨在。大陽因平密授明安甞云。興洞上一宗非遠即覺也。二師云有平侍者在。明安以手指胸云。平此處不佳。又揑拇指叉中示之云。平向去當死於此耳。暨明安遷寂。遺囑云。瘞全身。十年無難。當為大陽山打供。入塔時門人恐平將不利於師。遂作李和文都尉所施黃白器物書於塔銘。而實無也。平後住大陽。忽云先師靈塔風水不利。取而焚之。山中老宿切諫平。平曰於我有妨。遂發塔。顏貌如生。薪盡儼然。悉皆驚異。平乃钁破其腦。益油薪。俄成灰爐。眾以其事聞于官。坐平課謀塔中物。不孝。還俗。平自稱黃秀才。謁瑯琊。瑯琊云。昔日平侍者。今朝黃秀才。我在大陽時見儞做處遂不納。又謁公安。公安亦不顧。平流浪無所。依後於丫叉路口。遭大虫食之。竟不免大陽丫叉之記。悲哉。

## 僧被蛇傷

雲居悟和尚在龍門時。有僧被虵傷。佛眼問曰。既是龍門為什麼被蛇咬。悟即應曰果然現大人相。後傳此語到昭覺。圓悟云龍門有此僧耶。東山法道未寂寥爾。(一本作被犬傷)〇和補曰。禪林類聚十五云。昔有僧持鉢到一長者家。偶為犬傷。長者因問。龍被一縷金翅。不吞被法服。為甚却被犬齩。

# 古紹雲門

(雲門法嗣 會元十五)古塔主初說法於芝山。嗣雲門。〇和補曰。薦福承古禪師。操行高潔。稟性虗明。參大光警玄禪師。乃曰祇是箇草裡漢。遂參福嚴稚和尚。又曰祇是箇脫洒衲僧。由是終日嘿然。深究先德洪規。一日覧雲門語忽然發語。自此韜藏不求名聞。棲止雲居弘覺禪師塔所。四方勞者奔湊。因稱古塔主也。

# 青續大陽

(大陽警玄法嗣 會元十四)投子青。七齡頴異。往妙相寺出家。試經 得度。習百法論。未幾歎曰。三祇塗遠自困何益。乃入洛聽華 嚴。義若貫珠。甞讀諸林菩薩偈。至即心自性。猛省曰。法離文 字寧可講乎。即棄游宗席。先是浮山圓鑒禪師。因至大陽。機語 與明安延公相契。延嘆曰吾老矣。洞上一宗遂竟無人耶。以平生 所著直裰皮履示之。猿曰當為持此衣履求人付之如何。延許之 曰。他日果得人。出吾偈為證。偈曰。楊廣山前草。憑君待價 焞。異苗翻茂處。深密固靈根。其尾云。得法者潛眾十年方可闡 揚。遠拜受辭去。後住浮山。既老退休於會聖岩。一夕夢畜青色 鷹為吉徵。屆旦師來。遠禮延之。令看外道問佛不問有言不問無 言因緣。經三載。一日問曰。汝記得話頭麼試舉看。師擬對。遠 掩其口。師了然開悟。遂禮拜。遠曰。汝妙悟玄機耶。師曰設有 也須叶却。時資侍者在旁曰。青華嚴。今日如病得汗。師回顧 曰。合取狗口。若更忉忉。我便即打。服勤又三年。遠出洞下宗 旨示之。悉皆妙契。付以大陽頂相皮履直裰曰。代吾續洞上之 風。吾住世非久。善自護持。無留此間。師遂辭出山。

# 多羅轉經

(禪林類聚一)第二十六祖不如蜜多受度得法。至東印土。為王演說法要。俾趣真乘。又謂王曰。此國當有聖人而繼於我。是時有婆羅門子。年二十許。幼失父母。不知名氏。或自言瓔珞。故人謂之瓔珞童子。遊行閭里丐求度日。若常不輕之類。人問汝何行急。即答云汝何行慢。我問何姓。乃云與汝同姓。莫知其故。後王與尊者同車而出。見瓔珞童子稽首於前。尊者曰汝憶往事否。曰我念遠劫中與師同居。師演摩訶般若。我轉甚深修多羅。今日之事盖契昔因。尊者又謂王曰。此童子非他。即大勢至菩薩是也。此聖之後出二人。一人化南印度。一人緣在震旦。四五年內却返此方。遂以昔因故名般若多羅。○般若多羅因東印度國王請

祖齋次。王乃問。諸人盡轉經。唯師為甚不轉。祖曰貧道出息不墮眾緣。入息不居蘊界。常轉如是經百千萬億卷。非但一卷兩卷。

### 俱胝誦呪

(天龍法嗣 會元八)俱胝只念三行呪。便得名超一切人。

## 神會義解

(會元二)西京荷澤神會禪師。年十四為沙彌。謁六祖。祖曰知識遠來大艱辛。將本來否。若有本則合識主。試說看。師曰。以無住為本。見即是主。祖曰遮沙彌爭合取次語。便以杖打。師於杖下思惟曰。大善知識歷劫難逢。今既得遇豈惜身命。自此給侍。他日祖告眾曰。吾有一物無頭無尾。無名無字。無背無面。諸人還識否。師乃出曰。是諸佛之本源。神會之佛性。祖曰。向汝道無名無字。便喚作本源佛性。師禮拜而退。祖曰。此子向後設有把茆蓋頭。也只成得箇知解宗徒。(法眼曰。古人授記人終不錯。如今立知解為宗。即荷澤也)

## 石頭真吼

(林間錄上)和補曰。曹溪大師將入滅。方敢全提此令者。至江西馬祖南岳石頭則火振輝之。故号石頭為真吼。馬祖為全提。

# 惟儼不為

(會元五)藥山謁石頭密領玄旨。一日山坐次。石頭觀之問曰。汝在 這裡作甚麼。曰一切不為。石頭曰恁麼即閑坐也。曰若閑坐即為 也。石頭曰汝道不為且不為簡什麼。曰千聖亦不識。以偈贊曰。 從來共住不知名。任運相將只麼行。自古上賢猶不識。造次凡流 豈可明。

### 從諗仍舊

(林間錄上)趙州曰。莫費力也。大好言語。何不仍舊去。世間法尚有門。法豈無門。自是不仍舊故。

#### 老讓開胸

(羅山道閑嗣傳燈廿三)江西北蘭讓禪師。湖塘亮長老問。伏承師兄畫得老師真。暫請瞻禮。師以兩手撥胸開示之。亮便禮拜。師云莫禮莫禮。亮云師兄錯也某甲不禮師兄。師云汝禮先師真。亮云因什麼教某甲莫禮。師云何曾錯。

### 道符縮手

(雪峰法嗣 會元七)鏡清有僧引童子到曰。此兒子常愛問僧佛法。請和尚驗看。師乃令点茶。童子點茶來。師啜訖。過盞托與童子童子近前接。師却縮手曰還道得麼。童子曰問將來。僧問和尚。此兒子見解如何。師云也只是一兩生持戒僧。

# 豐干饒舌

(傳燈廿七) 閭丘徹請豐干欲住持。干不從。丘云。若然。彼處可拜誰師乎。干曰彼有寒拾者則文殊普賢化身也。可拜彼。丘行天台興聖寺。拜寒拾。寒拾曰。因何拜我。丘云。豐干和尚曰。寒拾者文殊普賢化身也。行可拜彼。故來拜。寒拾笑曰。豐干饒舌。豐干饒舌。汝何不拜豐干。豈不知阿彌陀如來。

# 憩鶴多口

(韶山普法嗣 會元六)和補曰。一日僧參韶山。山問曰莫是多口白頭 困麼。曰不敢。師曰有多少口。曰通身是。師曰尋常向甚麼處 屙。曰向韶山句裡屙。師曰。有韶山口即得。無韶山口向甚麼處 屙。因無語。師便打。

### 雲岳殘羹

(臨濟法嗣 傳燈十二)雲山和尚有僧從西京來。師問還將得西京主人書來否。曰不敢妄通消息。師云作家師僧。天然有在曰殘羹餿飯誰喫。師云獨有闍梨不甘喫。其僧乃作吐勢。師喚侍者曰扶出這病僧著。僧便出去。

### 泐潭酸酒

(真淨文法嗣 會元十七)隆興府泐潭湛堂文準禪師。僧問如何是道。 師云蒼天蒼天。曰學人特伸請問。師曰。十字街頭吹尺八。村酸 冷酒兩三巡。

## 谷泉巴鼻

(汾陽法嗣)南岳芭蕉庵主。世呼為泉大道。以其歌頌間有大道為題。如六巴鼻頌曰。大道巴鼻。問著瞌睡。背負葫蘆。任歌逸戲。散聖巴鼻。逢場作戲。東湧西沒。南州北里。禪師巴鼻。有利無利。碧嶽崔嵬。龍行虎視。衲僧巴鼻。坐具尺二。休尋短長。風高雲起。座主巴鼻。懸河無滯。地湧金蓮。手擎如意。山童巴鼻。金將火試。客問山居。遠來不易。

## 真歇筯斗

(丹霞子淳嗣)。

## 惠可斷臂

(會元一)初祖因有僧神光來參。祖端坐。莫聞誨厲。立庭下。遲明積雪齊腰。祖憫而問曰。汝久立雪中當求何事。師悲淚曰。唯願慈悲聞甘露門。廣度群品。祖曰。諸佛無上妙道。曠劫精勤難行能行。豈以小德小智輕心慢心冀真乘哉。師聞已取利刀自斷左臂。置于祖前師。廼曰。諸佛法印可得聞乎。祖曰諸佛法印匪從人得。曰我心未安乞師安心。祖曰將心來與汝安心。曰覔心不可得。祖曰與汝安心竟。又記之曰。汝但外息諸緣。內心無喘。心如墻壁。可以入道。

### 神觀安頭

和補曰。真淨留贈香城淳長老頌曰。簾捲西山色。禪心共月華。 香城深處寺。靈觀上人家。絕頂壇猶在。盈頭乳已賒。而今淳道 者。經誦白蓮花。

## 王老水牯

(馬祖法嗣 傳燈八)南泉因僧問。和尚百年後向什麼處去。師云作一頭水牯牛去。僧云某甲隨和尚去得否。云汝若來衘取一枝草來。

# 中邑獼猴

(馬祖法嗣 傳燈六)朗州中邑洪思禪師。因仰山為新戒。時到謝戒師。見來於禪床上。拍手云和和。仰山即東邊立又西邊立又中心立。然後謝戒了。却退後立。師云什麼處得此三昧。山云曹溪脫印子學來。師云汝道曹溪用此三昧接什麼人。山云接一宿覺。却云和尚什麼處得此三昧。師曰馬大師處學得。問如何得見性。師云譬如有屋。屋有六窓。內有一獼猴。東邊喚山山。山山應如是。六窓俱應。仰山禮謝起云。蒙和尚譬喻。無不了知。更有一事。只如內獼猴闲睡。外獼猴欲與相見時如何。師下禪床執仰山

手作舞云。山山與汝相見了。譬如蟭螟虫在蚊子眼睫上作窠。向 十字街頭叫喚云。土矌人希。相逢者少。

### 茱萸釘橛

(南泉法嗣)鄂州茱萸山和尚。初住隨州護國院為第一世。金輪可觀和尚問。如何是道。師云莫向虗空裡釘橛。觀云虗空是橛。師乃 打之。觀捉住云。莫打某甲。已後錯打人在。師便休。

## 象骨輥毬

(會元七)玄沙謂雪峯曰。某甲如今大用去。和尚作麼生。師將三箇木毬一時拋出。沙作斫牌勢。師云你親在靈山方得如此。沙曰也是自家事。一日陞座。眾集定。師輥出木毬。玄沙遂捉來安舊處。師凡有僧來參。輥出示之。

#### 龍潭送餅

(天皇道悟法嗣 會元七)龍潭未出家時為餅鋪。住在天皇寺前。每日常供餅十枚上天皇。皇受了却一餅與之曰。惠汝以蔭子孫。潭云是某將來。何以返云惠汝。皇云是汝將來。復汝何咎。潭因有悟入。遂投出家。

## 投子沽油

(翠微無學嗣傳燈錄)投子悟翠微宗旨結茆而居。一日趙州至桐城縣。途中相遇乃逆而問曰。莫是投子山主麼。師云茶鹽錢乞一文。州無語。先到庵中坐。師携油瓶皈。州曰。久響投子。到來只見箇賣油翁。師云。汝只見賣油翁。亦不識投子。如何是投子。師云油油。

# 嚴陽飼虎

(趙州法嗣 傳燈十一)嚴陽尊者初參趙州。問一物不將來時如何。州 云放下着。者云。一物不將來。放下箇什麼。州曰與麼則擔取 去。者於言下大悟。後住山。有一虵一虎就手而食。

## 惠藏牧牛

(傳燈六)撫州石鞏惠藏禪師。一日在廚作務。馬祖曰作什麼生。曰 牧牛。祖曰作麼生牧。曰。一回入草去。驀鼻拽將回。祖曰子真 牧牛也。

#### 宣鑒出浴

(龍潭法嗣 傳燈六)守廓侍者問德山曰。從上諸聖向甚麼處去。山曰作麼作麼。廓曰。勑点飛龍馬。跛鼈出頭來。山便休去。來日浴出。廓過茶與山。山於背上拊一下曰。昨日公案作麼生。廓曰這老漢今日方始瞥地。山又休去。

## 師鼎登樓

(雪峯法嗣 傳燈十九)越州諸暨縣越山師鼎。號鑒真禪師。初參雪峯 而染指。後因閩王請於清風樓齋。坐久舉目。忽覩日光豁然頓 曉。而有偈曰。清風樓上赴官齋。此日平生眼豁開。方識普通年 遠事。不從葱嶺路將來。皈呈雪峯。峯然之。

## 雲庵奪席

(黃龍南法嗣 僧寶傳下)雲庵真淨克文禪師。年二二十五試所習。剃髮受具足戒。學經論無不臻妙。奪京洛講席。自為主客而發奧義者數矣。

# 淨照隨舟

(浮山遠法嗣 僧寶廿六)浮因淨照禪師。名道臻。字伯祥。一日行江 上顧舟默計曰。當隨所住。信吾緣也。問舟師曰載我船尾可乎。 舟師笑曰。師欲何之。我入汴船也。師云。吾行游京師。因載之 而北。

#### 國師三喚

(六祖法嗣 會元二)南陽惠忠國師。一日三喚。侍者三應。師曰將謂 吾孤負汝。却是汝孤負吾。

### 趙州一掐

(會元四)趙州尼問如何是密密意。州以手<mark>掐</mark>之。尼曰和尚猶有這箇在。州曰却是你有這箇在。

### 大隋蓋龜

(傳燈十一)益州大隋法真禪師。庵側有一龜。僧問一切眾生皮褁骨。這箇眾生為什麼骨褁皮。師拈鞋履盖龜背上。僧無語。

## 日丈野鴨

(會元三)見上卷百丈捲席處。○和補曰。百丈侍馬祖行次。見一群 埜鴨飛過。祖曰是甚麼。丈曰野鴨子。祖曰甚麼處去也。丈曰飛 過去。祖遂把鼻扭。百丈痛失聲。祖曰又道飛過去也。師於言下 有省。

# 曹嶠靈衣

(洞山价法嗣 會元十三)僧問曹山。靈衣不挂時如何。師曰曹山孝 滿。曰孝滿後如何。師曰曹山好顛酒。

#### 踈山壽塔

(會元十三) 踈山因有僧為師造壽塔畢白師。師曰將多少錢與匠人。 曰一切在和尚。師云為將三錢與匠人。為將兩錢與匠人。為將一錢與匠人。若道得與吾親造塔來。僧無語。後僧舉似大嶺庵閑和尚(即羅山也)。嶺曰。還有人道得麼。僧曰未有人道得。嶺曰汝皈與踈山道。若將三錢與匠人。和尚此生決定不得塔。若將兩錢與匠人。和尚與匠人共出一隻手。若將一錢與匠人。累他匠人眉鬚墮落。僧回如教而說。師具威儀望大嶺作禮。嘆曰。將謂無人。 大嶺有古佛放光射到此間。雖然如是。也是臘月蓮華。大嶺後聞此語曰。我恁麼道。早是龜毛長三尺。

### 百會不會

(會元七)洛京南院和尚。有儒者博覽古今。時呼為張百會。謁師。 師問莫是張百會麼。曰不敢。師以手於空畫一畫曰會麼。曰不 會。師曰。一尚不會。甚麼處得百會來。

# 法達不達

(六祖法嗣 傳燈五)洪州法達禪師者。洪州豐城人也。七歲出家。誦 法華經。進具之後來禮六祖。頭不至地。祖訶曰。禮不投地何如 不禮。汝心中必有一物。蘊習何事耶。師云念法華經已及三千 部。祖曰汝若念至萬部。不得其經意。不以為勝。則與吾偕行。 汝今負此事。即生亡功福無比。祖又曰汝名什麼。對曰名法達。 祖曰。汝名法達。何曾達法。復說偈曰。汝今名法達。勤誦未休 歇。空誦但循聲。明心號菩薩。汝今有緣故。吾今為汝說。但信 佛無言。蓮華從口發。師聞偈悔過曰。而今而後當謙恭一切。唯 願和尚大慈略說經中義理。祖曰。汝念此經以何為宗。師云。學 人愚鈍。從來但依文誦念。豈知宗趣。祖曰。汝試為吾念一編。 吾當為汝解說。師即高聲念經。至方便品。祖曰。止。此經元來 以因緣出世為宗。縱說多種譬喻亦無越於此。何者因緣。唯一大 事。一大事即佛知見也。汝慎勿錯解經意。見他道開示悟入自是 佛之知見。我輩無分。若作此解。乃是謗經毀佛也。彼既是佛。 己具知見。何用更開。汝今當信佛知見者。只汝自心。更無別 體。盖為一切眾生自蔽光明。貪受塵境。外緣內擾。甘受驅馳。 便勞他從三昧起。種種苦口勸令寢息。莫向外求與佛無二。故云 開佛知見。故但勞勞孰念謂為功課者。何異犛牛愛尾也。師云。 若然者俱得解義。不勞誦經耶。祖曰。經有何過。豈障汝念。只 為迷悟在人。損益由汝。聽吾偈曰。心迷法華轉。心悟轉法華。 誦久不明己。與義作讎家。無念念即正。有念念成邪。有無俱不 計。長御白牛車。師聞偈再啟曰。經云諸大聲聞乃至菩薩皆盡思 度量。尚不能測於佛智。今令凡夫但悟自心便名佛之知見。自非 上根未免疑謗。又經說三車大牛之車與白牛車如何區別。願和尚 再垂宣說。祖曰。經意分明。汝自迷背。諸三乘人不能測佛智 者。患在度量也。饒伊盡思共推。轉加懸遠。佛本為凡夫說。不 為佛說。此理若不肯信者。從他狠席。殊不知坐却白牛車。更於 門外覔三車。況經文明向汝道。無二亦無三。汝何不省三車是 假。為昔時故。一乘是實。為今時故。只教汝去假歸實。歸實之 後實亦無名。應知所有珍財盡屬於汝。由汝受用。更不作父想。 亦不作子想。亦無用想。是名持法華經。從劫至劫手不釋卷。從 書至夜無不念時也。師既蒙啟發。踊躍歡喜。以偈贊曰。經誦三 千部。曹溪一句亡。未明出世旨。寧歇累生狂。羊鹿牛權設。初 中後善揚。誰知火宅內。元是法中王。祖曰。汝今後方可名為念 經僧也。師從此領玄旨。亦不輟誦持。

## 揚岐八棒

## 臨濟四喝

(黃檗法嗣)臨濟謂僧曰。有時一喝如金剛王寶劍。有時一喝如踞地師子。有時一喝如探竿影草。有時一喝不作一喝用。汝作麼生會。僧擬議。師便喝。

### 匾頭被罵

(會元十七)黃龍惠南禪師。叢林目曰南匾頭。因趁詣慈明之室曰。惠南以闍短望道未見。此聞夜參。如迷行得指南之車。然唯大慈更施法施。使盡餘疑。慈明笑曰。書記已領徒游方。名聞叢林。借有疑不以襄陋鄙。棄坐而商略顧不可哉。呼侍者進榻且使坐。師固辭。哀懇愈切。慈明曰。書記學雲門禪。必善其旨。如曰放洞山三頓棒。洞山于時應打不應打。師云應打。慈明色壯而言。聞三頓棒聲便是喫棒。則汝自旦及暮聞鵶鳴鵲噪鐘魚鼓板之聲亦應喫棒。何時當已哉。師瞠而却。慈明云。吾始疑不堪汝師。今可也。即使拜師。拜起。慈明理前語曰。脫如汝會雲門意旨。則趙州嘗言。臺山婆子被我勘破。試指其可勘處。師面熱汗下不知答。趨出。明日詣之。又遭詬罵。師慙。見左右即曰。政以未解求決耳。罵豈慈悲法施之式。慈明笑曰。是罵耶。師於是默悟其旨。失聲曰。泐潭果是死語。献語曰。傑出叢林是趙州。老婆勘破沒來由。而今四海清如鏡。行人莫以路為讎。慈明以手點沒字顧師。師即易有之字。而心服其妙密。留月餘辭去。

# 水潦漕蹈

(傳燈八)水潦和尚參馬祖。禮拜起欲伸問。祖一蹈蹈倒。師忽然大悟。起來呵呵大笑云。也太奇。也太奇。百千三昧。無量妙義。 只向一毫端上識得根源去。便禮拜。

# 死心下火

(黃龍法嗣 會元十七)寶覺禪師將入滅。命門人黃太史庭堅主後事。 茶毗日隣峯為康炬火不續。黃顧師之得法上首死心新禪師曰。此 老師有待於吾兄也。新以喪拒。黃強之。新執炬召眾曰。不是餘 殃累及我。彌天罪過不容誅。而今兩脚捎空去。不作牛號定作 驢。以火炬打一圓相。祗向這裡雪屈。擲炬應手而爇。

#### 自禪掛塔

(五祖演法嗣)蘄州五祖表自禪師。嗣祖席。衲子四至不可遏。師榜 侍者門曰。東山有三句。若人道得掛塔。衲子皆披靡。一日有僧 携坐具徑造丈室謂師曰。某甲道不得。祗要掛塔。師大喜呼維那 於明窓下安排。

### 天然口啞

(石頭迁法嗣 會元三)龐居士一日見丹霞來。遂不語亦不起。霞廼拈起手中拂子。士便拈起鎚子。霞曰只恁麼別更有在。士曰此回見兄不似於前。霞云不妨減人聲價。士曰本來要折倒汝一上。霞曰恁麼則啞却天然口也。士曰汝啞却本分。猶累我啞却。霞乃擲却拂子去。士曰。然闍梨。然闍梨。霞不顧。士曰。不唯患啞。兼亦患聾。

# 大耳心通

(會元二)唐肅宗詔南陽惠忠國師試驗西天大耳三藏他心通。師到。 三藏作禮立左邊。師問曰汝得他心通耶。曰不敢。師曰汝道老僧 只今在何處。曰和尚是一國之師却去西川看競渡。又問汝道只今 又在何處。曰天津橋上看弄胡孫。又問汝道只今聻。三藏罔然。 師叱曰。者野狐精。他心通在何處。

## 文益書字

(桂琛法嗣 會元六)和補曰。昔有一老宿住菴。於門上書心字。於窓上書心字。於壁上書心字。法眼云。門上但書門字。窓上但書窓字。壁上但書壁字。玄覺云。門上不要書門字。窓上不要書窓字。壁上不要書壁字。何故。字義炳然。

### 曉聰栽松

(文殊應天真嗣五燈十五)洞山曉聰禪師。手植萬松於東嶺而誦金剛般若經。山中人名其嶺曰金剛。方植松而寶禪師至。時親自五祖來。師問上嶺一句作麼生。道寶曰氣急殺人。師拄钁呵曰。從何得此隨語生解阿師。見問上嶺便言氣急。佛法却成流布。寶請代語。師曰何不道氣喘殺人。逍遙問嶺在此金剛在什麼處。師指曰此一株松是老僧親栽。初比部郎中許公式出守南昌。過蓮華峯。聞祥公曰聰道者在江西。試尋訪之。此僧人天眼目也。許公既至。聞聰住山家風。作詩寄之曰。語言渾不滯。高躡祖師蹤。夜坐連雲石。畫栽帶雨松。鏡分金殿燭。山荅月樓鐘。有問西來意。靈堂對遠峰。

# 禾山義虎

(黃龍南法嗣 僧寶傳下)禾山普禪師初秀。出講席解唯識起信論。兩 川無敢難詰者。號義虎。

## 瑞岩臥龍

(岩頭法嗣 傳燈十七)台州瑞岩師彥禪師。謁夾山會和尚。會問什麼處來。曰臥龍來。會曰來時龍還起未。師乃顧視之。會曰灸瘡上更著艾燋。曰和尚苦如此作什麼。會便休。

# 翠岩唾地

(石霜法嗣 會元十七)蘄州開元子琦禪師謁翠岩真禪師問佛法大意。 唾地曰這一滴落在甚麼處。琦捫膺曰學人今日脾疼。師解顏。

### 寶壽釘空

(臨濟法嗣 傳燈十二)鎮州寶壽沼和尚。胡釘鉸來參。師問汝莫是胡 釘鉸。曰不敢。師曰還解釘得虗空否。曰請和尚打破。某甲與 釘。師以拄杖打之。胡曰和尚莫錯打某甲。師云向後有多口阿師 與點破在。

### 一城人瞎

(傳燈十二)寶壽開堂。三聖推出一僧在寶壽前。壽便打其僧。聖 云。長老若恁麼為人。瞎却鎮州一城人眼在。

## 三日耳聾

(會元三)見前黃蘗叶舌處。

# 東山餕餡

(五祖錄)和補曰。法演遊方十餘年。海上參尋見數人尊宿。乃到浮山圓鑑會下。直是開口不得。後到白雲門下。咬破一箇鐵餕<mark>餡</mark>。直得百味具足。且道饀子一句作麼生道。乃有偈。花發雞冠媚早稱。誰人能染紫絲頭。有時風動頻相倚。似向階前鬪不休。

## 揚岐栗蓬

(會元十九)楊岐問僧。栗棘蓬作麼生吞。金剛圈作麼生透。

# 惠南主法

(僧寶傳下)黃龍南曰。住持要在得眾。得眾要在見情。先師言。人情者為世之福田。盖理道所由生也。故時之否泰事損益必因人情。情有時通塞則否泰生。事有時厚薄則損益至。唯聖人能通天下之情。故易之別卦乾下坤上則曰泰。乾上坤下則曰否。其取象損上益下則曰益。損下益上則曰損。夫乾為天。坤為地。天在下而地在上。位故乖矣。而返謂之泰者。上下交故也。主在上而賓處下。義故順矣。而返謂之否者。上下不交故也。是以天地不交庶物不育。人情不交萬事不和。損益之義亦由是矣。夫在人上者能約己以裕下。下必悅而奉上矣。豈不謂之益乎。在上者蔑下而肆諸己。下必怨而叛上矣。豈不謂之損乎。故上下交則泰。不交則否。自損者人益。自益者人損。情之得失豈容易乎。先聖甞喻人為舟。情為水。水能載舟亦能覆舟。水順舟浮。違則沒矣。故住持得人情則興。失人情則廢。全得而全興。全失而全廢。故同善則福多。同惡則禍甚。善惡同類端如貫珠。興廢象行明若觀日。斯歷代之元龜也。

## 居訥扶宗

(延慶榮法嗣 會元十六)圓通居訥禪師。仁宗皇帝聞其名。皇祐初詔 住十方淨因禪院。師稱目疾不能奉詔。有旨令舉自代。遂舉僧懷 璉禪學精深在居訥之右。於是詔璉。璉至引對問佛法大意稱旨。 天下賢師知人。

洪濟師子

遼陽大虫

# 趙州探水

(傳燈+)趙州一日訪茱萸。將拄杖於法堂上東行西行。萸云作什麼。州云探水。萸云我這裡一滴也無。州將拄杖靠壁便出。

## 百丈夾火

(傳燈九)為山一日侍百丈次。丈問誰。山曰靈祐。丈曰汝撥爐中有火否。山撥之無火。丈躬自深撥得栗火。舉以似山云。你道無。者箇聻。山忽然契悟。遂禮拜。陳其所解。丈云。此迺暫時岐路耳。欲識佛性義。當觀時節因緣。時節若至。如迷忽悟如忘忽憶。方省己物不從他得。故祖師云。悟了同未悟。無心亦無法。只是無虐妄凡聖等心。本來心法元自具足。汝今既是。善自護持。次日同百丈入山作務。丈曰將得火來麼。山曰將得來。丈曰在甚處。山乃拈一枝柴吹兩吹度與百丈。丈曰如蟲禦木。

### 金峰行餅

(禪林類聚十八)金峰一日於僧堂內喫餬餅次。自拈一枚餅從上板頭。轉一匝。大眾見一時合掌。峰云。假使你十分擡起手。也祇得一半。至晚有僧請益云。今日行餅見僧合掌。和尚道假饒十分擡起手也祇得一半。請和尚全道。峯作拈餅勢復云。會麼。僧云不會。峯云。金峯也祇得一半。

# 布袋拈果

(傳燈廿七)布袋在通衢立。有僧云作什麼。布袋云等箇人。僧云來 也。布袋取一橘子與僧。僧纔接。布袋縮手云。你不是者箇人。

## 中邑鳴哪

中邑每見僧。拍手皷唇曰。哪鳴哪鳴。

## 青山骨剉

(黃蘗法嗣 傳燈十二)杭州羅漢院宗徽禪師。僧問如何是西來意。師 云骨剉也。師對機多用此語。時人因號骨剉和尚。

### 明招目眇

(羅山道閑法嗣 會元十三)務州明招謙和尚。眇一目。叢林號獨眼龍。

### 雲門脚跛

(會元五)雲門初參睦州。方扣門。州揕之曰道道。門驚不暇答。乃 推出曰。秦時[車\*度]轢鑽。隨掩其扉。損門右足。

### 四處謾人

(傳燈十九)漳州保福從展禪師四謾人。一問僧。殿裏是甚麼佛。僧 曰和尚定當看。師曰釋迦佛。僧云莫謾人好。師云却是你謾我。 二問僧。作甚麼業喫得與麼大。僧云和尚也不少。師作蹲勢。僧 云和尚莫謾人好。師云却是你謾我。三問僧。汝名甚麼。僧云咸 澤。師云忽遇枯涸看如何。僧云誰是枯涸者。師云我是。僧云和 尚莫謾人好。師云却是你謾我。四問浴主湯鍋濶多少。主云請師 量。師便作量勢。主云和尚莫謾人好。師云却是你謾我。

## 三翻懷儸

(傳燈)隋州護國院守澄淨果禪師。僧問鶴立枯松時如何。師云地下底一場懷耀。問會王沙汰時護法善神向甚麼處去。師云三門前兩箇一場懷耀。問滴水滴凍時如何。師云日出後一場懷耀。

## 韶陽九九

(雲門錄事苑三)僧問雲門如何是向上一竅。門云九九八十一。又僧問如何是最初一句。門云九九八十一。又僧問。以字不是。八字不成。未審是甚麼字。門云九九八十一。

## 文殊三三

杭州無著文喜禪師。初謁大慈山性空禪師。空曰子何不徧參平。 師直往五臺山華嚴寺至金剛窟禮謁。遇一老翁牽牛而行。激師入 **寺。翁呼均提。有童子應聲出迎。翁縱牛引師陞堂。堂字皆耀金** 色。翁踞床指繡[糸\*敦]命坐。翁曰折自何來。師云南方。翁曰 南方佛法如何住持。師云末法比丘少奉戒律。翁曰多少眾。師曰 或三百或五百。師却問此間佛法如何住持。翁曰龍蛇混雜凡聖同 居。師云多少眾。翁曰前三三後三三。翁呼童子致茶并進酥酪。 師納其味。心意豁然。翁拈起玻璃盞問曰。南方還有狺笛否。師 曰無。翁曰尋常將甚麼喫茶。師無對。師視日色稍晚。遂問翁擬 投一宿得否。翁曰。汝有執心在。不得宿。師曰某甲無執心。翁 曰汝曾受戒否。師曰受戒久矣。翁曰汝若無執心何用受戒。師辭 退。翁令童子相送。師問童子。前三三後三三是多少。童召大 德。師應諾。童曰是多少。師復問曰。此為何處。童曰此金剛窟 般若寺也。師悽然悟彼翁者即文殊也。不可再見。即稽首童子。 願乞一言為別。童說偈曰。面上無嗔供養具。口裏無嗔吐妙香。 心裏無嗔是珍寶。無垢無染是真常。言訖均提與寺俱隱。但見五 色雲中文殊乘金毛師子往來。忽有白雲自東方來覆不見。時有滄 州菩提寺僧修政等至。尚聞山石震吼之聲。師因駐錫五臺(見會元 

# 金牛飯桶

(馬祖法嗣 會元三)金牛和尚每至齋時。自將飯桶於僧堂前作舞。呵呵大笑云。菩薩子喫飯來。

## 靈照菜籃

(傳燈十四)丹霞訪龐居士。門前見女子靈照去洗菜。霞問居士在 否。照放下菜籃斂手而立。霞曰居士在否。照提起菜籃而去。霞 便回。居士從外歸。靈照舉似居士。居士云丹霞在否。照云已去 也。居士云赤土塗牛妳。

### 丹霞燒佛

(傳燈十四)丹霞甞到洛古惠林寺。值天寒取木佛燒之。院主呵之。 霞曰吾燒取舍利。主云木佛豈有舍利。霞曰若爾何責我乎。院主 後眉鬚墮落。

### 婆子焚庵

(會元六)昔有婆子供養一庵主經二十年。常令一二八女子送飯給 侍。一日令女子抱定曰正恁麼時如何。主曰。枯木倚寒岩。三冬 無暖氣。女子舉似婆。婆曰我二十年祇供養得箇俗漢。遂遣出。 燒却庵。

# 雲盖論義

(石霜諸法嗣 會元六)雲盖元禪師因潭州道正表聞馬王乞師論義。王請師上殿相見。茶罷師就王乞劒。師握劍問道正曰。你本教中道恍恍惚惚其中有物。是何物。杳杳冥冥其中有精。是何精。道得不斬。道不得即斬。道正茫然便禮拜懺悔。師謂王曰還識此人否。王曰識。師曰是誰。王曰道正。師曰。不是。道若正。合對得臣僧。此祇是箇無主孤魂。因茲道士更不紛紜。

## 德山小參

(傳燈+五)德山小參示眾云。今夜小參不答話。問話者三十棒。時有僧出禮拜。師便打。僧云某甲話也未問在。師云你是什麼處

人。僧云新羅人。師云。未跨船舷子。好與三十棒。

### 芙蓉妙唱

(投子青法嗣 人天眼目)芙蓉楷禪師妙唱不干舌頌曰。剎剎塵塵處處 談。不勞彈指善財參。空生也解通消息。花雨岩前鳥不啣。(空生 者須菩提也)

### 常察玄談

(九峯度法嗣 傳灯廿九)同安常察禪師十玄談。○心印○祖意○玄機 ○塵異○佛教○還鄉曲○破還鄉曲○轉位歸○回機○正位前。

## 二祖安心

在前惠可斷臂之處。

### 洞山見影

(雲岩晟法嗣 會元十三)洞山問雲岩。和尚百年後忽有人問還貌得師真。如何祇對。雲岩曰祖向伊道即遮箇是。師良久。雲岩曰承當遮箇事。大須審細。師猶涉疑。復因過水覩影。大悟前旨。因有一偈曰。切忌從他覔。迢迢與我疎。我今獨自往。處處得逢渠。渠今正是我。我今不是渠。應須恁麼會。方得契如如。

# 藥嶺榮枯

(石頭法嗣 會元五)藥山一日與道吾雲岩高沙彌遊山。見兩樹一榮一枯。山問曰榮者是枯者是。吾曰枯者是。山曰。酌然一切處。令教枯淡去。又問岩。岩曰榮者是。山曰。酌然一切處。令光明燦爛去。復問沙彌。彌曰枯者從佗枯。榮者從他榮。山回顧道吾雲岩曰。不是不是。

### 夾山人境

(華亭法嗣 會元五)僧問夾山如何是夾山境。山曰猿抱子歸青嶂後。 鳥銜花落碧岩前。

### 香嚴上樹

(為山法嗣 傳燈十一)香嚴一日上堂示眾。如人上樹。口嚙一樹枝。 脚不蹈枝。手不攀枝。忽有人問祖師西來意。若答他即喪身失 命。不答他又違他所問。時有虎頭上坐出云。樹上即不問。樹下 一句道將來。嚴呵呵大笑。

## 仰山出井

(傳燈十一)潭州石霜山性空禪師。因僧問如何是西來。空曰如人在千尺井中。不假一寸繩得出此人。即答汝西來意。僧云近日湖南鳴和尚出世亦為人東語西話。空喚沙彌拽出者死漢著(仰山沙彌也)。沙彌後舉問耽源如何出得井中人。源曰。咄。癡漢。誰在井中。仰山後問為山如何出得井中人。為山廼呼惠寂。寂應諾。為山田出也。及住仰山。甞舉前話謂眾曰。我於耽源處得體。為山處得地。

## 趙州接客

(南泉法嗣 會元)真定師王携諸子入院。趙州坐而問曰大王會麼。 王云不會。師云自少持齋身已老。見人無力下禪床。王尤嘉禮 重。翌日令客將傳語。師下禪床受之。少間侍者問云。和尚見大 王來不下禪床。今日將軍來為什麼却下禪床。師曰。非汝所知。 第一等人來禪床上接。中等人來下禪床接。末等人來三門外接。 師寄拂子與大王。若問何處得來。但道老僧平日用不盡者。

## 价老看病

(雲岩晟法嗣)洞山僧問。和尚遺和還有不病者也無。師曰有。僧曰 不病者還看和尚否。師曰老僧看他有分。曰和尚爭得看他。師曰 老僧看時即不見有病。

### 南泉油餈

(禪林類聚九)和補曰。南泉願禪師一日不赴堂。侍者請赴堂。師云 我今日在莊上喫油糍飽。者云和尚不曾出入。師云汝去問莊主。 者方出門。忽見莊主歸謝和尚(云云)。

### 韶陽胡餅

(雪峰法嗣 雲門錄)僧問雲門如何是超佛越祖之談。門云餬餅。

## 德山托鉢

(傳燈十五)雪峰在德山作飯頭。一日飯遲。德山擎鉢下法堂。雪峯廼曰。鐘未鳴皷未響老和尚托鉢向什麼處去。德山却歸方丈。岩頭在堂中聞得。拊掌曰。大小德山未會末後句。德山聞。舉令侍者喚頭上問。你不肯老僧耶。頭密啟其意。德山來日上堂。說話異於每常。頭到僧堂前撫掌大笑曰。且喜堂頭老漢會末後句。他後天下人不奈何。雖然如是。只得三年話。後三年果化。

## 象骨覆盆

(傳燈七)雪峯在洞山作飯頭淘米次。山問。淘沙去米。淘米去沙。師曰沙米一時去。山曰。大眾喫箇甚麼。師遂覆却米盆。山曰。據子因緣。合在德山。

# 婆子眷屬

(傳灯六)昔有一僧參米胡。路逢一婆住庵。僧問婆有眷屬否。曰有。僧曰在甚麼處。曰山河大地若草若木皆是我眷屬。僧曰婆莫作師姑來否。曰汝見我是甚麼。僧曰俗人。婆曰汝不可是僧。僧曰婆莫混濫佛法好。婆曰我不混濫佛法。僧曰汝恁麼豈不是混濫佛法。婆曰。你是男子。我是女人。豈曾混濫。

# 王老兒孫

(馬祖法嗣 傳燈八)黃蘗在南泉為首座。一日捧鉢於南泉位上坐。泉入堂見。乃問長老甚年中行道。蘗曰威音王佛已前。泉曰猶是王老師兒孫。蘗遂過第二位。

### 雲居送袴

(良价法嗣 會元三)洪州雲居道膺禪師。曾令侍者送袴與一住庵道者。道者曰自有娘生袴。竟不受。師再令侍者問。娘未生時著箇甚麼。道者無語。後遷化有舍利。持似於師。師曰直饒得八斛四斗。不如當時下得一轉語好。

# 道吾得裩

(藥山法嗣 傳燈十四)有施主施裩藥。山提起示眾曰。法身具四大 否。有人道得。與他一腰裩。潭州道吾山宗智禪師云。性地非 空。空非性地。此是地大。三大亦然。藥山不違前言乃與吾裩。

## 九峰頭尾

九峰禪師僧問如何是頭。師曰開眼不覺曉。僧曰如何是尾。師曰不坐萬年床。僧曰有頭無尾時如何。師云纔是不貴。僧曰有尾無頭時如何。師曰雖飽無力。僧曰直得頭尾相搆時如何。師曰兒孫得力室內不知。

### 洞山功勳

(雲岩法嗣 人天眼目)洞山功勳五位(向·奉·功·共功·功功)。僧問如何是向。洞山云喫飯時作麼生。僧問如何是奉。山云背時作麼生。僧問如何是功。山云放下鉏頭時作麼生。僧問如何是共功。山云不得色。僧問如何是功功。山云不共。

### 楊岐七事

### 元靜十門

(五祖演法嗣 普灯十一)南堂元靜禪師示眾曰。夫參學至要。不出最初句與末後句。透得過者平生參學事畢。其或未然與你作十門。各用印證自心。看得穩當也未。一須信有教外別傳。二須知有教外別傳。三須會有情說法與無情說法無二。四須見性如觀掌上了了分明一一田地隱密。五須具擇法眼。六須行鳥道玄路。七須文武兼濟。八須摧邪顯正。九須大機大用。十須向異類中行。此十門諸人還一一穩當也未。若只是閉門作活計。獨自要了身。却不在此限。若欲荷負正宗。紹隆聖種。須盡明此綱要十門。方坐得曲彔床。受得天下人禮拜。敢與佛祖為師。若不到恁麼田地。只一向虛顯。他時異日閻羅老子未敢放你在。有麼出來。大家證據。若無不用久立。

## 老安作用

(傳灯九)嵩岳惠安國師。因坦然懷讓二人來參。問曰如何是祖師西來意。安曰何不問自己意。曰如何是自己意。安曰當觀密作用。 曰如何是密作用。安以目開合示之。然於言下大悟。更不他適。 讓機緣不偶。辭往曹溪。滅時稱老安國師。

# 馬祖勞倦

(會元三)僧問馬大師。離四句絕百非。請師直指某甲西來意。大師云我今日勞倦不能為汝說。問取智藏去。問智藏。云何不問和尚。僧云。和尚敢來問。藏云我今日頭痛不為你說。問海兄去。僧問海兄。海云。我到者裏却不會。僧舉示馬大師。大師云。藏頭白。海頭黑。

### 鏡清雨聲

(雪峯法嗣 會元七)鏡清問僧。門外是什麼聲。僧曰雨滴聲。師云眾 生顛倒迷己逐物。僧云和尚作麼生。師云洎不迷己。意旨如何。 師云出身猶可易。脫體道應難。

### 龐公雪片

(馬祖弟子會元七)龐居士因辭藥山。山命十人禪客相送至門首。士 乃指空中雪云。好雪片片不落別處。時有全禪客云。落在什麼 處。居士送與一掌。全云居士也不得草草。士曰。恁麼稱禪客。 閻羅老子未放你在。全云居士作麼生。士又與一掌云。眼見如 盲。口說如啞。

# 雪竇靈臺

(智門祚法嗣 僧寶傳中)和補曰。師為道日損偈云。三分光陰二早過。靈臺一点不揩磨。貪生逐日區區去。喚不回頭爭奈何。

## 皷山聖箭

(雪峯法嗣 會元七)皷山赴大王請。雪峯門送。回至法堂乃曰。一隻 聖箭直射九重城裏去也。太原孚曰是伊未在。峯曰渠是徹底人。 孚曰若不信待某甲去勘過。遂趂至中路便問。師兄向甚麼處去。 山曰九重城裏去。孚曰忽遇三軍圍繞時如何。山曰他家自有通霄 路。孚曰恁麼則離宮失殿去也。山曰何處不稱尊。孚拂袖便回。 峯問如何。孚曰好隻聖箭中路折却了也。遂舉前話。峯乃曰好渠 語在。孚曰這老凍膿猶有鄉情在。

### 銕面退席

(興化法嗣 僧寶傳下)蔣山元禪師歿。舒王以禮致秀銕面嗣其席。秀 至山。王先候謁。而秀方理叢林事不時見。王以為慢己。遂不合 棄去。

### 克賓出院

(會元十一)興化謂克賓維那曰。汝不久為唱導之師。賓曰我不入這保社。化曰。你會了不入。不會了不入。賓曰總不與麼。化便打曰。克賓維那法戰不勝。罸錢鑽飯。次曰興化入堂白槌曰。克賓維那法戰不勝。罸錢五貫設鑽飯一堂。仍須出院。賓後出世住大行山。嗣興化。

## 池陽百問

(事苑第五普燈三)隨州大洪第一世報恩禪師。甞設百問以問學者。 其略曰。假使百千劫。所作業不忘。為甚麼一稱南無佛。罪滅河 沙劫。又作此相。〇曰。森羅萬象總在其中。具眼禪人請試甄 別。

## 佛陀三勸

(傳燈十四)鳳翔府法門寺佛陀和尚。常持一串數珠。念三種名號。 曰一釋迦。二元和。三佛陀。自餘是什麼椀躂丘一箇。過終而後 始。事迹異常。時人不可測。

# 天然剗草

(傳燈十四)如前丹霞掩耳之處。

## 提婆投針

(會元一)提婆菩薩自執師子國來求論難。造龍猛門。龍猛素知其名。遂滿鉢盛水令弟子持出示之。提婆見水默而投針。弟子將還。龍猛深嘉嘆曰。水之澄以方我德。彼來投針以窮其底。若斯人者可以論玄議道。

## 藥山長嘯

(石頭迁法嗣 傳燈十四)藥山一夜登山經行。忽雲開見月。大嘯一聲。應澧陽東九十里居民盡謂東家。明辰迭相推問。直至藥山徒眾曰。昨夜和尚山頂大嘯。李翱贈詩曰。選得幽居恔野情。終年無送亦無迎。有時直上孤峯頂。月下披雲嘯一聲。

### 般若狂吟

## 師備果子

(會元七)玄沙與韋監軍喫菓子。韋問如何是日用而不知。師拈起菓子曰喫。韋喫菓子了。再問之。師曰只者是日用而不知。

# 智勤林檎

(為山法嗣 傳灯十一)僧問靈雲如何是西來意。雲曰井底種林檎。

# 佛果漱口

# 婆子點心

 學曰。一毛吞海海性無虧。纖芥投鉢鉢利不動。學與無學唯我知焉。後聞南方禪席頗盛。師氣不平乃曰。出家兒千劫學佛威儀。萬劫學佛細行。不得成佛。南方魔子敢言直指人心見性成佛。我當摟其窟穴滅其種類。以報佛恩。遂擔青龍疏鈔出蜀。至澧陽。路上見一婆子賣油餅。因息肩買餅點心。婆指擔曰這箇是甚麼文字。師曰青龍疏鈔。婆曰講何經。師曰金剛經。婆云。我有一問。你若答得施與點心。若答不得且別處去。金剛經道。過去心不可得。現在心不可得。未來心不可得。未審上坐點那箇心。師無語。遂往龍潭。

### 蠱毒之鄉

(傳燈+七)僧問曹山。學人十二時中如何保任。山曰如經蠱毒之鄉。水不得霑著一滴。

### 荊棘之林

(會元十五)僧問藥山。學人擬歸鄉時如何。山曰汝父母徧身紅爛。 臥在荊棘中。汝歸何所。僧曰恁麼即不歸去也。山曰汝却須歸 去。汝若歸鄉。我示汝箇休糧方。僧曰便請。山曰。二時上堂。 不得咬破一粒米。

# 本寂滲漏

(河山法嗣 人天眼目)曹山三種滲漏。其詞曰。一見滲漏。謂機不離位。墮在毒海。二情滲漏。謂智常向背。見處偏枯。三語滲漏。謂體妙失宗。機暗終始。學者濁智流轉。不出此三種。

# 克符料揀

(臨濟法嗣 會元十一)臨濟初至河北住院。見普化克符二上座乃謂 曰。我欲於此建立黃檗宗旨。汝且成褫我。二人珍重下去。三日 後普化却上來問。和尚三日前說甚麼。濟便打。三日後克符上來 問。和尚前日打普化作什麼。濟亦打。至晚小參曰。有時奪人不 奪境。有時奪境不奪。人有時人境兩俱奪。有時人境俱不奪。有 僧問如何是奪人不奪境。臨濟之曰。煦日發生鋪地錦。孾兒垂髮 白如絲。如何是奪境不奪人。濟云。王令己行天下徧。將軍寒外 絕烟塵。如何是人境兩俱奪。濟曰。并汾絕信。獨處一方。如何 是人境俱不奪。濟云。王登寶殿。野老謳歌。克符頌。奪人不奪 境。緣自帶誵訛。擬欲求玄旨。思量反責麼。驪珠光燦爛。蟾桂 影婆娑。覿面無差互。還應滯網羅。奪境不奪人。尋言何處真。 問禪禪是妄。究理理非親。日照寒光澹。山遙翠色新。直饒玄會 得。也是眼中塵。人境兩俱奪。從來正令行。不論佛與祖。那說 聖凡情。擬犯吹毛劒。還如值木盲。進前求妙會。特地斬精靈。 人境俱不奪。思量意不徧。主賓言不異。問答理俱全。蹈破澄潭 月。穿開碧落天。不能明妙用。淪溺在無緣。

## 佛日體盆

## 國師水枕

祖庭事苑曰。未見出處。

## 祖心背觸

(會元十七)黃龍祖心室中常舉拳問僧曰。喚作拳頭則觸。不喚作拳頭則背。喚作甚麼。

# 道一長短

(南岳讓法嗣 傳燈六)有僧於馬祖前作四畫。上一畫長下三畫短。問曰。不得道一長三短。離此四句外。請和尚答。師乃畫一畫云。不得道長短。答汝了也。

### 石樓無耳

(石頭法嗣 會元五)汾州石樓和尚因僧問。未識本來性乞師方便指。 師云石樓無耳朵。僧云某甲自知非。師云老僧還有過。僧云和尚 過在甚麼處。師云過在汝非處。僧禮拜。師便打。

### 真溪具眼

(曹溪法嗣 會元十三)處州廣利容禪師。初住真溪有僧來參。師竪起拂子云。真溪老漢還具眼麼。僧云某甲不敢見和尚過。師云老僧死在闍梨手裡。僧以手指胸便出。師云闍梨見先師來。至晚師喫茶。僧拈起盞曰。者箇是諸佛出世邊事。作麼生是未出世邊事。師以手撥却盞云。到闍梨死在老僧手裏。僧云五里牌在郭門外。師云無故惑亂師僧。僧便起謝茶。師云特謝相訪。

## 可真點胸

(慈明法嗣 普灯三)翠岩可真禪師到慈明大師。慈明看便問曰如何是佛法大意。可真曰。無雲生嶺上。有月落波心。明曰頭白齒黃猶作這見解。可真垂淚求指示。明云你可問我。可真以前語問之。明曰。無雲生嶺上。有月落波心。即於其所頓明大法。住翠岩。世推為天下法窟。

## 昌禪擔板

# 德山招扇

(傳燈十六)襄州高亭簡禪師。初隔江見德山。遙合掌呼云。不審。 德山以手中扇再招之。簡忽開悟。乃橫趨而去。更不迴顧。後於 襄州開法。嗣德山。

## 迦葉剎竿

(會元一)阿難問迦葉云。師兄。世尊傳金襴袈裟外別傳何物。迦葉 召阿難。難應諾。葉云倒却門前剎竿著。

# 佛光錦帳

佛光無礙禪師。自蘇州永安赴詔住大相國寺惠林禪院。惠恭皇后 當於簾下見。登對罷乘空而去。自爾以太宮所進御膳供養。復令取禪師所食之餘還宮。又以地錦製法衣。自綴禪牌賜之。以表奉 法之誠。冬月賜紅錦帳子。乃至服飾器皿之類。光遂以宮中所賜 法衣回施法雲佛照禪師。法雲復寄與洪州寶峯湛堂和尚。書云。 地錦法衣與師弟行先師之道。湛堂示寂留山門。至今猶存。

## 祐國金襴

# 湑終海嶋

## 亮隱西山

(會元三)洪州西山亮座主。棄經論。因參馬祖。祖問曰見說座主大講得經論是否。亮曰不敢。祖曰將甚麼講。亮曰將心講。祖曰。心如工伎兒。意如和伎者。爭解講得。亮抗聲云。心既講不得。莫是虗空講得麼。祖曰却是虗空講得。師拂袖而出。祖乃召云座主。師回首。祖曰從生至老只是者箇。師豁然大悟。遂禮拜。祖曰者鈍根阿師禮作麼。亮歸告眾曰。某甲所講經論謂無人及得。今日被馬祖一問。平生工夫氷釋。已而乃隱西山更無消息。至今

西山中人往往見之。政和中有士人姓熊失其名。世為邦陽人。遊洪之諸山。道過翠岩。時長老思文即其鄉人。遣二力荷轎舁至空相所。經林壑隱翳。忽覩一僧自古神清。龐眉雪頂。編葉為衣。坐於磐石。如壁間畫佛圖澄像。心疑其異人。自惟亮公隱於西山。恐或是也。踧踖而問曰。莫是亮公不。僧以手向東指。熊隨手回。顧失僧所在。時小雨新霽。熊撫其坐處而石猶溫。回顧躊躇大息曰。夙緣不厚。遇猶不遇也。

### 大道松妖

(汾陽法嗣 僧寶傳下)泉大道住保真庵。蓋衡湘至險絕處。夜地坐祝融峯。下有大蟒盤繞之。泉解衣帶縛其腰。中夜不見。明日杖策編山尋之。衣帶纏枯松上。盖松妖也。

### 黄龍赤斑

(傳燈廿一)福州皷山智岳了宗大師至鄂州黃龍。問曰。久響黃龍。 到來只見赤斑蛇。黃龍曰。汝只見赤斑蛇。且不識黃龍。宗曰如何是黃龍。曰滔滔地。宗曰忽遇金翅鳥來又作麼生。曰性命難存。宗曰恁麼即被他吞却也。曰謝闍梨供養。

# 黄牛拒戒

(會元十)政黃牛者。錢塘人。住餘杭功臣山。幼孤為童子。有卓識。詞語皆出人意表。其師稱於人。有大檀越奇之。以度牒施之。跪捧謝而不受。其師問故。曰恩不可輕受。彼非知我者。特以師之言施百千於一童子。保其終身能施物不責報乎。如來世尊大願度生則有慈廕。今妙法蓮華經是。當折節誦持恩併歸一。於義為當。師自是益奇之。年八十果以其志為大僧。游方問道。三十年乃罷。

### 師子遇姦

(會元一)端師子。錢穆父赴官浙東。見之約明日飯。端黎明獨往。 避雨入道傍人家。幼婦出迎。俄其夫至詬逐。竟為羅卒所收。穆 父吏速客見之。問故曰。煩寄聲錢公。本來赴齋中塗。奸情事 發。請自飯。穆父聞之驚且笑。顧客曰。此僧胸中無一點疑事。

### 石頭路滑

(青原思法嗣 會元三)鄧隱峯辭馬祖。祖云什麼處去。峯云石頭去。祖云石頭路滑。峯云竿木隨身逢場作戲。遂到石頭。繞繩床三匝。振錫而立。云是何宗旨。頭云蒼天蒼天。峯無語。回舉似祖。祖云更去問他。待他有語。汝便噓二聲。峯去依前問。石頭廼噓兩聲。峯又無語。回舉似祖。祖云。向汝道石頭路滑。馬祖問丹霞從甚麼處來。霞曰石頭。祖曰石頭路滑還躂倒汝麼。霞曰若躂倒即不來也。

## 五祖機峻

(普燈十一)蘄州五祖法演禪師。自海會遷東山。太平佛鑑龍門佛眼三人詣山頭省覲。祖集耆舊主事備湯菓夜話。祖問佛鑑舒州熟否。對曰熟。祖曰太平熟否。對曰熟。祖曰諸莊共収稻多少。佛鑑籌慮間。祖正色厲聲曰。汝濫為一寺之主。事無巨細悉要究心。常住出計一眾所係。汝猶罔知。其他細務不言可見。山門執事知因識果。若師翁輔慈明祖師乎。汝不思常住物重如山乎。盖演祖尋常機辨峻據如是。

# 明招虎尾

(羅山道閑法嗣 會元十三)明招問疎山。虎生七子。第那箇無尾巴。 山云第七筒無尾巴。

### 老宿鼠糞

(傳燈廿七)昔有老宿。一夏並不為師僧說話。有僧自歎曰。我只與麼空過一夏。不敢望和尚說佛法。得聞正因兩字也。老宿聊聞日。闍梨莫[斯/言]速。若論正因。一字也無。道了乃扣齒曰。適來無端與麼道。隣壁有老宿聞得乃曰。好一釜羹。被兩顆鼠糞污却。

## 法演四戒

佛鑑和尚初受舒州太平請。禮辭五祖。祖曰。大凡住院。為已戒者有四。第一勢不可使盡。第二福不可受盡。第三規矩不可行盡。第四好語不可說盡。何故。好語說盡人必易之。規矩行盡人必繁之。福若受盡緣必孤。勢若使盡禍必至。鑑再拜。服膺而退。

### 守初三頓

(雲門法嗣 傳燈廿三)洞山守初詣雲門。門問近離何處。對曰查渡。 又問夏在何處。對曰湖南報慈。又問幾時離。對曰八月二十五。 門曰放汝三頓棒。山罔然。良久又申問曰。適來祇對不見有過。 乃蒙賜棒。實所不曉。門呵曰。飯袋子。江西湖南便爾商略。山 悟其旨曰。他日正當於無人煙處。不畜一粒米。飯十方僧。即日 辭去。

# 成禪一喝

(**\*\*\***(**\*\*\***)淨因成禪師同法真圓悟慈受并十大法師齋于太尉陳公良弼府第。時徽宗私幸觀其法會。善華嚴者對眾問諸禪師曰。吾佛設教自小乘至圓頓。掃除空有獨證真常。然後萬德莊嚴方名為佛。禪師一喝轉凡成聖。與諸經論似相違背。今一喝若能入五教是為

正說。若不能入是為邪說。諸禪師顧成。成曰。如法師所問。不 足三大禪師之酬。淨因小長老可以使法師無惑也。成召善。善應 諾。成曰。法師所謂佛之小乘教者乃有義也。大乘始教者乃空義 也。大乘終教者乃不有不空義也。大乘頓教者乃即有即空義也。 一乘圓教者乃不空而不有不有不空義也。如我一喝非惟能入五 教。至於百工伎藝諸子百家悉皆能入。成乃喝一喝。問善曰還聞 麼。善曰聞。成曰。汝既聞。則此一喝是有能入小乘教。成須臾 又召善曰。還聞麼。曰不聞。成曰汝既不聞。則適來一喝是無能 入始教。成又顧善曰。我初一喝。汝既道有。喝久聲消。汝復道 無。道無則元初實有。道有則于今實無。不有不無。能入終教。 成又曰。我有一喝之時。有非是有。因無故有。無一喝之時。無 非是無。因有故無。即有即無。能入頓教。成又曰。我此一喝不 作一喝用。有無不及。情解俱忘。道有之時纖塵不立。道無之時 横徧虐空。即此一喝。入百千萬億喝入此一喝。是能入圓教。善 不覺身起于座。再拜於成之前。成復為善曰。非惟一喝為然。乃 至語默動靜一切時一切處一切物一切事。契理契機。周遍無餘。 於是四眾歡喜。聞所未聞。龍顏大悅。

## 太宗十問

(會元六)太宗皇帝一日幸相國寺。見僧看經問曰是甚麼經。僧曰仁王經。 帝曰既是寡人經因甚却在卿手裡。僧無對(雪竇代曰。皇天無親。唯德是輔)。幸開寶塔問僧。卿是甚人。對曰塔主。 帝曰。朕之塔為甚麼卿作主。僧無對(雪竇代曰。合國咸知)。一日因僧朝見。帝問甚處來。對曰廬山臥雲庵。 帝曰。朕聞臥雲深處不朝天。為甚到此。僧無對(雪竇代曰。難逃至化)僧入對次奏曰。陛下還記得麼。帝曰甚處相見來。奏曰靈山一別直至如今。 帝曰卿以何為驗。僧無對(雪竇代云。貧道得得來)京寺回祿。藏經悉為煨燼。僧欲乞宣賜。 召問。昔日摩騰不燒。如今為甚却燒。僧無對(雪

實代云。陛下不忘付屬)。帝甞夢神人報曰。請 陛下發菩提心。因早朝宣問左右街。菩提心作麼生發。街無對(雪竇代云。實謂今古罕聞)。智寂大師進三界圖。帝問。朕在那一界中。寂無對(保寧勇代云。陛下何處不稱尊)。一日朝罷。 帝擎鉢問丞相王隨曰。既是大庾嶺頭提不起。為甚麼却在朕手裡。隨無對。

### 耽章寶鏡

(洞山法嗣 僧寶傳)曹山寶鏡三昧。其詞曰。如是之法。佛祖密付。 汝今得之。其善保護。銀盃盛雪。明月藏覽。類之弗齊。混則知 處。意不在言。來機亦卦。動成窠臼。差落顧佇。背觸俱非。如 大火聚。但形文彩。即屬染污。夜半正明。天曉不露。為物作 則。用拔諸苦。雖非有為。不是無語。如臨寶鏡。形影相視。汝 不是渠。渠正是汝。如世嬰兒。五相完具。不去不來。不起不 住。婆婆和和。有句無句。終必得物。語未正故。重离六父。徧 正回互。疊而為三。變盡成五。如荤(徒結反。具五味草也)草味。如 金剛杵。正中妙挾。敲唱双舉。誦宗誦塗。挾帶挾路。錯然則 吉。不可犯忤。天真而妙。不屬迷悟。因緣時節。寂然昭著。細 入無間。大絕方所。毫忽之差。不應律呂。今有頓漸。緣立宗 趣。宗趣分矣。即是規矩。宗通趣極。直常流注。外寂中搖。係 駒伏鼠。先聖悲之。為法檀度。隨其顛倒。以緇為素。顛倒相 滅。肯心自許。要合古轍。請觀前古。佛道垂成。十劫觀樹。如 虎之缺。如馬之馵。以有下劣。寶几珍御。以有驚異。黧奴白 牯。羿以巧力。射中百步。箭鋒相直。巧力何預。木人方歌。石 兒起舞。非情識到。寧容思慮。臣奉於君。子順於父。不順於母 不孝。不奉非輔。潛行密用。如愚。若魯但能相續。名主中主。

# 南衙題辭

## 新開鷄鴨

(巴陵新開顥鑒大師傳燈廿二)僧問巴陵祖意教意是同是別。陵曰。鷄 寒上樹。鴨寒下水。

### 石門鈎錐

(首山念法嗣 會元十一)石門蘊聰慈照禪師。上堂。十五日已前諸佛生。十五日已後諸佛滅。十五日已前諸佛生。你不得離我這裡。若離我這裡。我有鈎子鈎你。十五日已後諸佛滅。你不得住我這裡。若住我這裡。我有錐子錐你。且道正當十五日。用鈎即是。用錐即是。遂有偈曰。正當十五日。鈎錐一時息。更擬問如何。回頭日又出。

### 無餘喝道

### 萬卦題詩

### 蚊鑽鐵牛

(會元九)泉州招慶院道匡禪師。僧問如何是西來意。師曰蚊子上銕牛。溈山一日問雲岩。聞汝久在藥山是否。岩云是。山曰藥山大人相如何。岩云涅槃後有。山曰涅槃後有作麼生。岩云水灑不著。雲岩却問溈山。百丈大人相如何。山曰巍巍堂堂煒煒煌。聲前非聲色後非色。蚊子上鐵牛。無汝下觜處。

## 踞解秤槌

(會元十二)僧問大愚如何是佛。愚曰鋸解秤槌。

## 龐蘊是非

(傳燈八)龐居士問本溪和尚。丹霞打侍者意在何處。溪曰大老翁見 人長短在。十日為我與師同參方敢借問。溪曰。若恁麼。從頭舉 來。共你商量。士曰。大老翁。不可共你說人是非。溪曰念翁年 老。士曰罪過罪過。

### 清平豐儉

(翠微無學法嗣 傳燈十五)鄂州清平山令遵禪師。上堂曰。諸上坐。 夫出家人須會佛意始得。若會佛意不在僧俗男女貴賤。但隨家豐 儉安樂便得。諸上坐盡是久處叢林徧參尊宿。且作麼生會佛意。 試出來大家商量。莫空氣高。至後一事無成。一生空度。若未會 佛意。直饒頭上出水。足下出火。燒身鍊臂。聰惠多辨。聚徒一 千二千。說法如雲如雨。講得天華亂墜。只成箇邪說。爭競是 非。去佛法大遠。在諸人幸值色身安健。不值諸難。何妨近前。 著此工夫。體取佛意好。

### 大顛佛光

(石頭迁法嗣 事苑四)韓愈至潮州。聆大顛禪師之名。累邀之不至。 一日大顛特往謁之。愈曰。三請不來。不召何來。曰。三請不來 為侍郎。不召而來為佛光。愈曰如何是佛光。顛曰看看。

# 雪峰火焰

(會元七)玄沙因雪峯指火曰。三世諸佛在火焰裡轉大法輪。沙曰近 日王令稍嚴。峯曰作麼生。沙曰不許攙奪行市。雲門曰。火焰為 三世諸佛說法。三世諸佛立地聽。

# 大惠還僧

(圓悟勤法嗣 會元十九)臨安府徑山宗杲大惠普覺禪師道法之盛冠于一時。眾二千餘。皆諸方俊乂。侍郎張公九成亦從之游。灑然契悟。一日因議及朝政與師連禍。紹興辛酉五月毀衣牒。屏居衡

陽。乃裒先德機語。間與拈提。離為三帙。目曰正法眼藏。凡十年移居梅陽。又五年高宗皇帝特恩放還。明年春復僧伽梨。四方 虚席以邀。率不就。後奉朝命居育王。逾年有旨改徑山。道俗歆 慕如初。

### 寂音遭貶

(真淨文法嗣 僧寶傳十九)清源惠供覺範。號寂音尊者。崇寧元年反於長沙雲盖。是時陳公瓘瑩中謫嶺外。以偈見寄。且欲其為負華嚴經入嶺。偈曰。大士遊方興盡回。家山風月絕纖埃。杖頭多少閑田地。挑取華嚴入嶺來。師和之曰。因法相逢一笑開。俯看人世過飛埃。湖湘嶺外休分別。圓寂光中共往來。其後師坐與公遊而獲譴。

### 首山竹篦

(風穴沼法嗣 會元十一)首山拈竹篦問僧。喚作竹篦則觸。不喚作竹 篦則背。且道喚作甚麼。

## 玄冥木劒

禪苑蒙求卷之下(終)

### CBETA 贊助資訊

(https://www.cbeta.org/donation/index.php)

自 2001 年 2 月 1 日起, CBETA 帳務由「財團法人西蓮教育基金會」承辦, 並成立「財團法人西蓮教育基金會」— CBETA 專戶, 所有捐款至 CBETA 專戶皆為專款專用, 歡迎各界捐款贊助。

您的捐款本協會皆會開立收據, 此收據可在年度中申報個人或企業的綜合所得稅減免。 感恩諸位大德的善心善行, 以及您為佛典電子化所做的一切貢獻。

### 信用卡線上捐款

本線上捐款與聯合信用卡中心合作,資料傳送採用 SSL (Secure Socket Layer) 傳輸加密,讓您能夠安全安心地進行線上捐款動作。

## 前往捐款

## 信用卡 (單次 / 定期定額) 捐款

本授權書可提供單次捐款或定期定額捐款之用途。

請於下載並填妥捐款授權書後, 請傳真至 02-2383-0649, 並請來 電 02-2383-2182 確認。

或掛號寄至 10044 台灣台北市中正區延平南路 77 號 8 樓 R812 財團法人西蓮教育基金會收。

請在此下載 授權書 (MS Word 格式)

### 劃撥捐款

郵政劃撥帳號: 19538811

戶名: 財團法人西蓮教育基金會

欲指定特殊用途者, 請特別註明, 我們會專款專用。

## 線上信用卡 / PayPal 捐款

PayPal 是一個跨國線上付款機制的公司, CBETA 引用其服務, 提供網友能在線上使用信用卡或 PayPal 帳戶贊助 CBETA。

PayPal is an online system of a global payment solution. CBETA uses its service to provide the uses to donate by using the credit cards or PayPal account to support the CBETA project.

相關收據開立事宜,由於付款幣別為美元,我們除了會依您所贊助之美元金額開立收據外,另我們會依捐款當日公告匯率開立台幣收據,此收據為國內正式合法報稅憑證。

Since the donation made is in US currency, hence all the receipts will be issued in the US dollars consequently. However for the domestic donators, a Chinese official receipt will also be made according to the foreign exchange rate for the purpose of tax deduction.

## <u>線上信用卡 / PayPal 贊助</u>

# 支票捐款

# 支票抬頭請填寫「財團法人西蓮教育基金會」。

CBETA is part of Seeland Educational projects, any donation (ex-cheques, remittance, etc.,) please entitle to "The Seeland Education Foundation".